

○文部省告示第二百十八號

山口縣下關市大字關後地村ニ設置セル市立下關高等女學校ノ位置ヲ同縣豐浦郡生野村及下關市大字關後地村ニ變更ノ件認可セリ

明治四十年八月十三日

文部大臣 牧野伸顯

○文部省告示第二百十九號

沖繩縣立師範學校内ニ設置セル同縣立沖繩高等女學校ノ位置ヲ沖繩縣島尻郡具和志間切安里村ニ變更ノ件認可セリ

明治四十年八月十三日

文部大臣 牧野伸顯

○文部省告示第二百二十號

岡山縣兒島郡下津井町ニ設置セル私立正式警報信號標ハ破損修繕ノ爲來九月三十日迄掲卸ヲ中止ノ旨報告セリ

明治四十年八月十三日

文部大臣 牧野伸顯

○文部省告示第二百二十一號

水繩村立水繩文書館ヲ福岡縣浮羽郡水繩村立水繩高等小學校ニ附設ノ件認可セリ

明治四十年八月十四日

文部大臣 牧野伸顯

○文部省告示第二百二十二號

京都府京都市下京區ニ專門學校令ニ依リ私立高倉大學寮ヲ設置シ明治四十年九月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年八月十六日

文部大臣 牧野伸顯

○文部省告示第二百二十三號

私立松原村教育會立通俗圖書縱覽所ヲ福井縣敦賀郡松原村立松原高等小學校内ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ

明治四十年八月十九日

文部大臣 牧野伸顯

○文部省告示第二百二十四號

福岡縣三井郡山川村ニ農業學校規程乙種程度ニ依リ福岡縣三井郡立三井農學校ヲ設置シ明治四十年九月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年八月二十四日

文部大臣 牧野伸顯

○文部省告示第二百二十五號

山梨縣甲府市甲府城内天主堂ニ設置セル縣立正式警報信號標ハ改築落成ニ付本月二十五日ヨリ掲卸開始ノ旨報告セリ

明治四十年八月二十八日

文部大臣 牧野伸顯

○文部省告示第二百二十六號

長崎縣長崎市外浦町長崎縣廳構内ニ設置セル官立正式警報信號標ハ當分ノ内同市元船町一丁目港務部構内ニ移轉ノ旨報告セリ

明治四十年八月二十八日

文部大臣 牧野伸顯

○文部省告示第二百二十七號

東京府東京市京橋區ニ專門學校令ニ依リ私立立教學院立教大學ヲ設置シ明治四十年九月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年八月二十九日

文部大臣 牧野伸顯

○農商務省告示第八十三號

日本大博覽會事務局ハ當分ノ内農商務省内ニ之ヲ置ク

明治四十年八月二日

農商務大臣 松岡康毅

○農商務省告示第八十四號
森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

國	郡	町村	大字	字	地目	面積	所有者
豐後	大野	野津市	宮原	山ノ田	山林	〇・二〇八	同
同	同	同	宮尾	遠畑	大谷	同	同

○逓信省告示第四百四十五號
本月五日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス

現名稱	現在位置	改稱	移轉位置
函館榮町郵便局	北海道函館市榮町(函館市)	函館旭町郵便局	北海道函館市旭町(函館市)

○逓信省告示第四百四十六號
本月六日ヨリ左記郵便局ノ電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十九年六月逓信省令第二十五號電話規則ニ依リ加入申込書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

名稱	位置	名稱	位置
松本郵便局	松本市大字北深志	上田郵便局	長野縣小縣郡上田町

○逓信省告示第四百四十七號
明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號電話加入登記料電話加入名義書換料及電話使用料ニ關スル土地ノ種別中丙地「福島」ノ次ニ左記箇所ヲ追加ス

松本	上田	逓信大臣山縣伊三郎
----	----	-----------

○逓信省告示第四百四十八號
明治三十年八月十二日逓信省告示第三百五十七號電話加入區域中「福島」ノ次ニ左ノ通過加入ス

明治四十年八月一日 逓信大臣山縣伊三郎

局名	普通加入區域	特別加入區域
松本	松本市(大字)及同郡字上野原中村、長野縣東筑摩郡松本市大字出川町字豊田町、本郷村大字横田	松本市大字筑摩字堀内、同郡同林同筑摩同三才、長野縣東筑摩郡松本市大字出川町字出川、大字筑摩字豊田、同下小島、島立村字荒井、島内村字青島、内新橋、本郷村大字注田、字津田
上田	長野縣小縣郡上田町(大字)及同郡字上野原上山原、同郡字下野原	長野縣小縣郡上田町大字筑摩字上平、同上山原、同下山原、同下野原、同大字御所字三好町、同大字御所村大字上山字

○逓信省告示第四百四十九號
明治四十年三月逓信省告示第七十五號北海道鐵道管理局所管內各事務所所管區域及位置ノ件申左記ノ通ニ事務所ノ所管區域ヲ改メ落合帶廣間營業開始ノ日ヨリ實施ス

名稱	所管區域	名稱	所管區域
御路運輸事務所	御路綜合問答合停車場ヲ除ク	御路運輸事務所	御路綜合問答(同上)
御路運輸事務所	御路綜合問答(同上)	御路運輸事務所	御路綜合問答(同上)

○逓信省告示第四百五十號
八月五日ヨリ九州帝國鐵道管理局三角線網田三角間ニ赤瀬簡易停車場ヲ設キ旅客及附隨手小荷物ノ取扱ヲ開始ス旅客賃金及運程左ノ通

但該停車場ノ開閉期限ハ關係停車場ニ揭示スヘシ
明治四十年八月二日 逓信大臣山縣伊三郎

旅客賃金

自		網田		三角	
一等	〇・一三	〇・一〇	〇・一〇	〇・一〇	〇・一〇
二等	〇・一〇	〇・〇八	〇・〇八	〇・〇八	〇・〇八
三等	〇・〇五	〇・〇五	〇・〇五	〇・〇五	〇・〇五

赤間 二哩五

赤間

三角間

四哩四

○逓信省告示第四百五十一號

明治三十三年二月逓信省告示第六十四號諸外國への郵送禁制品目表墨西哥ノ頂中「ベシア、カリフオ
ルニア」次ニ「メバスコ」シアパラ追加ス

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百五十二號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

逓信大臣山縣伊三郎

米	佛	英	英
一セント	一フラン	一ポンド	一ポンド
二〇〇〇	三九〇・九〇	八八・九九〇	八八・九九〇
一圓ニ付	一圓ニ付	一圓ニ付	一圓ニ付
四十九・七五〇	二・五五五	一・一三五〇	一・一三五〇

米	佛	英	英
一セント	一フラン	一ポンド	一ポンド
二〇〇〇	三九〇・九〇	八八・九九〇	八八・九九〇
一圓ニ付	一圓ニ付	一圓ニ付	一圓ニ付
四十九・七五〇	二・五五五	一・一三五〇	一・一三五〇

(備考) 羅馬尼亞貨幣ル、及バニラ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ。*香港爲替中對公島及家波ニ適用スル
モノニハ銀貨換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ適用スルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○逓信省告示第四百五十三號

來九月一日ヨリ左記郵便受取所ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年八月六日

逓信大臣山縣伊三郎

名 稱 鎮江郵便受取所

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百五十四號

本月十日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十八年四月逓信省令第三十四
號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年八月七日

逓信大臣山縣伊三郎

名 稱 石動郵便局

丸字郵便局

長野縣小縣郡丸字村

明治四十年八月 告示 逓信省第四百五十三號 第四百五十四號

○逓信省告示第四百五十五號

本月十二日ヨリ左記郵便局ノ電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十九年六月逓信省令第二十五號電話規則ニ依リ加入申込書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ進テ之ヲ告示ス
 明治四十年八月七日
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百五十六號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號電話加入登記料電話加入名義書換料及電話使用料ニ關スル土地ノ種別中丙地「上田」ノ次ニ左記箇所ヲ追加ス
 明治四十年八月七日
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百五十七號

明治三十年十二月逓信省告示第三百五十七號電話加入區域中「上田」ノ次ニ左ノ逓追加ス
 明治四十年八月七日
 逓信大臣山縣伊三郎

山田	局名	管	區	城
山田	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同
	宇治山田市大字宮後	同	同	同

○逓信省告示第四百五十八號
 明治三十七年六月逓信省告示第三百十七號外國電報料金表中左ノ逓改正ス
 明治四十年八月八日
 逓信大臣山縣伊三郎

第一表 Asia (亞細亞地方)ノ部中左ノ逓改ム

Annam(安南) (兼根島海)	三〇五八
Bahire(バハヤ)	一八九六
Cochin China(暹羅安南)	一〇〇〇
Cochin China(暹羅安南)	二八二六
Jebebu(ヤベブ)	一七五八
Malacca(マラカ)	一三〇〇
Memang Diawan, in the State of Kinta (ママンギアワンキナ)	一三〇〇
Perak(ペラ)	一三〇〇
Selangor(セランガ)	一三〇〇
Siam(暹羅) (兼根島海)	一三〇〇
Singapore(シンガポール)	一三〇〇
Sungie Ujong(サンギウジョウ)	一三〇〇
Tongkin(トンキン) (兼根島海)	一三〇〇
同表 Oceania (大洋洲地方)ノ部中浦羅斯德線又ハ「キアクタ」線經過料金ヲ左ノ逓改ム	
Austrasia(澳洲太列西亞)	一三〇〇
New Caledonia(ニューカレドニア)	一三〇〇
New South Wales(新南威爾斯)	一三〇〇
New Zealand(紐西蘭)	一三〇〇
New Zealand (via Norfolk)	一三〇〇
Norfolk Island(ノーフォーク群島)	一三〇〇
Queensland(クイーンズランド)	一三〇〇
South Australia(南澳斯大列利亞)	一三〇〇
Tasmania(タスマニア)	一三〇〇
Victoria(維多利亞)	一三〇〇

West Australia(西澳新大列利亞)

Bali(巴厘)

Celebes(サヤヤ)

Dutch Borneo(蘭領サヤヤ)

Sava(薩瓦)

Lombok(ロンボク)

Madura(マドゥラ)

Sumatra(スマタラ)

Yeh(イヘ)

Panning Island(パンニング島) (澳洲及英國大)

Fiji Island(フィジー島) (南洋羣島)

Suva(スヴァ) (南洋羣島)

同表 Africa(亞非利加地方)ノ部 Egypt 3rd Region(埃及第三部)ノ次ニ左ノ但書ヲ加フ

但ニ Cosii(コスィ)ニ宛ル電報ハ Hillat Abbas(埃及第三部)ヨリ之ヲ配達ス該電報ニハ著信局名ヲ Cosii Hillat Abbas 記載シテ之ヲ二語ニ計算シ一通ニ付配達料金五十錢ヲ加課ス又 Lado(ラド)ニ宛ル電報ハ Gondokoro(埃及第三部)ヨリ之ヲ配達ス該電報ニハ著信局名ヲ Lado Gondokoro 記載シテ之ヲ二語ニ計算シ一通ニ付配達料金一圓七十二錢ヲ加課ス

○遞信省告示第四百五十九號
明治三十七年六月遞信省告示第三百七十七號外國電報料金表中左ノ通改正ス

明治四十年八月八日 遞信大臣山縣伊三郎

第四表中各地ノ下電報經過線路名「ガルヴェストン線」トアルヲ何レモ「新約克コロネ線」若ハ「ガルヴェストン線」ト改メ又 South America(南亞米利加地方)ノ部 Columbia(コロンビヤ)ノ項ヲ左ノ通改ス

Columbia(コロンビヤ)	4680	4680	4680	4680	4680	4680	4680
Baenaventura(バナベンチュラ)	4680	4680	4680	4680	4680	4680	4680
Other Places(其他各地)	4680	4680	4680	4680	4680	4680	4680
Republic of Panama(パナマ共和国)	4680	4680	4680	4680	4680	4680	4680
Colon(コロン)	4680	4680	4680	4680	4680	4680	4680
Panama(パナマ)	4680	4680	4680	4680	4680	4680	4680
Other Places(其他各地)	4680	4680	4680	4680	4680	4680	4680

同表末尾備考第二中「英領ギアナ及パナマ地峽」トアルヲ「及英領ギアナ」ト改メ
○遞信省告示第四百六十號
明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ施行ス
明治四十年八月九日

「長 横濱武蔵間」ノ次ニ
加入區域外 遞信大臣山縣伊三郎
電話料 一通話ノ電話呼出料
金九十五錢 金二十錢

○遞信省告示第四百六十一號
本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス
明治四十年八月九日 遞信大臣山縣伊三郎
岡崎郵便局 愛知縣岡田郡岡崎町大字傳馬 移轉位 同縣岡田郡岡崎町大字廣生

明治四十年八月 告示 遞信省第四百六十一號 第四百六十一號 一四六三

明治四十年八月 告示 逓信省第四百六十二號 第四百六十三號 第四百六十四號 第四百六十五號 第四百六十六號 一四六四

○逓信省告示第四百六十二號
本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス

明治四十年八月九日

現名 務

現在 位置

改稱

逓信大臣山縣伊三郎

移轉位置

○逓信省告示第四百六十三號
本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十年八月十日

現名 務

現在 位置

名 務

逓信大臣山縣伊三郎

足利郵便局

○逓信省告示第四百六十四號
明治三十六年三勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十年八月十日

現名 務

現在 位置

名 務

逓信大臣山縣伊三郎

宮崎縣宮崎郵便局

○逓信省告示第四百六十五號
本月十五日ヨリ左記郵便局ノ電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十九年六月逓信省令第二十五號電話規則ニ依リ加入申込書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十年八月十二日

現名 務

現在 位置

名 務

逓信大臣山縣伊三郎

水戸市大字上市南三ノ九

○逓信省告示第四百六十六號
明治三十九年六月逓信省告示第二十六十四號電話加入登記料、電話加入名義書換料及電話使用料ニ

明治四十年八月十二日

現名 務

現在 位置

名 務

逓信大臣山縣伊三郎

水戸市

關スル土地ノ種別中丙地「山田」ノ次ニ左記箇所ヲ追加ス

明治四十年八月十二日

現名 務

現在 位置

名 務

逓信大臣山縣伊三郎

水戸市

○逓信省告示第四百六十八號
郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十年八月十三日

現名 務

現在 位置

名 務

逓信大臣山縣伊三郎

水戸市

明治四十年八月 告示 逓信省第四百六十七號 第四百六十八號 一四六五

米	一ダライ	101000	一圓二付	即チ
	一セント	101000	四十九セント	七五〇
佛	一フランク	39090	一圓二付	シニ
			シニ	五十五
英	一シルリング	8990	一圓二付	即チ
	一ペンニー	10000	二五〇〇	
佛	一フランク	39090	一圓二付	シニ
			シニ	五十五
米	一ダライ	101000	一圓二付	即チ
	一セント	101000	四十九セント	七五〇

獨	貨	一マルタ	一圓二付ニツク三八三
附	貨	一フロリン	一圓二付ニツク三六
地	貨	一コロネ	一圓二付ニツク三六
洪	貨	一コロナ	一圓二付ニツク三六
* 香港洋銀	一ダラー	一圓二付九十セツト四三〇	
* 銀	一ダラー	一圓二付九十セツト四三〇	
	一セント	一圓二付九十セツト四三〇	

(備考) 羅馬尼貨幣ル一及パニノ換算割合ハ附貨換算割合ニ同シ。香港為替中對公島及澳波ニ對テモ
モノニハ銀紙換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ對テモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○逓信省告示第四百六十九號
清國浙江省莫干山(Mokanshan)電信局ニ於テ夏期中外國電報ヲ取扱フ旨上海大北電信會社ヨリ通
報アリタリ

明治四十年八月十三日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百七十號

明治三十七年六月逓信省告示第三百六十六號萬國電信條約附屬細目規則目第二十七條第四節(西班牙
ノ項)「一ベセター九」サンチーム」ヲ「一ベセター」一「サンチーム」ニ「運送」ノ項「四八」アト」ヲ
「三五」アト」ニ改ム

明治四十年八月十三日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百七十一號
本月十六日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス

明治四十年八月十三日

逓信大臣山縣伊三郎

現名稱	現在位置	改稱	移轉位置
篠目郵便局	山口縣阿武郡篠生 村大字篠目	篠生郵便局	山口縣阿武郡篠生 村大字生雲東分

○逓信省告示第四百七十二號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基テ請願ニ依リ本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十年八月十三日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百七十三號

本月二十日ヨリ東海道線灘小野濱間支線ニ小野濱荷物取扱所ヲ設置シ貸切扱大貨物ノ取扱ヲ開始
ス哩程左ノ通り

明治四十年八月十四日

逓信大臣山縣伊三郎

哩程

○逓信省告示第四百七十四號

明治三十九年九月逓信省告示第四百十六號外國電信取扱制限表中「亞米利加」ノ部ニ左ノ一項ヲ追加
ス

明治四十年八月十四日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百七十五號

明治三十七年六月逓信省告示第三百十七號外國電報料金表第一表 Africa(亞非利加地方)ノ部中左ノ
通改正ス

明治四十年八月十四日

逓信大臣山縣伊三郎

「Orango River Colony (Via Europe)」ノ項ノ次ニ左ノ通加フ

Oujda (オウジダ)

112110

112110

Portuguese East Africa (葡領東亞非利加)ノ項 District of Zambesi (ザンベジ區)中左ノ通改

Chiangai (チヤンガイ)

112110

112110

Mocimboa (モシムボア)

112110

112110

Chiangai (Via Europe)

112110

112110

Mocimboa (Via Europe)

112110

112110

○逓信省告示第四百七十六號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十年八月十六日

逓信大臣山縣伊三郎

名 稱 位 置

名 稱

位 置

檜山郵便局 京都府船井郡檜山村

立原郵便局

京都府天田郡上川口村

○逓信省告示第四百七十七號

明治三十九年九月逓信省告示第四百十六號外國電信取扱制限表亞米利加ノ部中第二項ヲ左ノ通改ス

明治四十年八月十六日

逓信大臣山縣伊三郎

北米合衆國(ニュー・ヨーク、ロンドン、シカゴ)及ポストンヲ除ク(ニ宛テ若ハ之ヲ經過スル電報ハ傳送上設

限、遅延又ハ不達ノ責ニ任セス)

○逓信省告示第四百七十八號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十八年四月逓信省令第三十四號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十年八月十七日

逓信大臣山縣伊三郎

名 稱 位 置

名 稱

位 置

伏木郵便局 富山縣射水郡伏木町

七尾郵便局

石川縣鹿島郡七尾町

○逓信省告示第四百七十九號

明治三十八年七月逓信省告示第四百二十五號本邦外國郵便爲替及電信爲替ヲ交換スル國名等ヲ示ス表第一郵便爲替「一直接交換國」甲 萬國聯合郵便爲替事務約定ニ依ルモノノ部附註ノ項蘭領東印度ニ於ケル外國郵便爲替取扱局中「グロームン、ツローワ」ヲ削リ「パンカルピナン」ノ次ニ「パン・パン(Pare-Panc)ヤンヌ(Colobes)ヲ、メンションリヤク」ノ次ニ「メル・ソーン(Troob-toeng)キ・ヤン(Sumatra)ヲ」加フ

明治四十年八月十七日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百八十號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依リ電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十年八月十七日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百八十一號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十八年四月逓信省令第三十四號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十年八月十九日

逓信大臣山縣伊三郎

名 稱 位 置

名 稱 位 置

名 稱 位 置

室蘭郵便局

北海道釧路支庁室蘭町

逓信大臣山縣伊三郎

名 稱 位 置

名 稱 位 置

名 稱 位 置

下館郵便局 茨城縣真壁郡下館町

結城郵便局

茨城縣結城郡結城町

古河郵便局 茨城縣猿島郡古河町

小山郵便局

栃木縣下都賀郡小山町

○逓信省告示第四百八十二號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ノ電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十九年六逓信省令第二十五號電話規則ニ依リ加入申込書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十年八月十九日

名稱 尾道郵便局 位置 尾道市大字土堂町

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百八十三號

明治三十九年六逓信省告示第二百六十四號電話加入登記料電話加入名義書換料及電話使用料ニ關スル土地ノ種別中丙地「水戸」ノ次ニ左記箇所ヲ追加ス

明治四十年八月十九日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百八十四號

明治三十年十二逓信省告示第三百五十七號電話加入區域中「水戸」ノ次ニ左ノ通過追加ス

明治四十年八月十九日

逓信大臣山縣伊三郎

局名	普通	加入	區域
尾道	尾道市大字土堂町	尾道市大字久保町	尾道市大字久保町
尾道	尾道市大字土堂町	尾道市大字久保町	尾道市大字久保町
尾道	尾道市大字土堂町	尾道市大字久保町	尾道市大字久保町
尾道	尾道市大字土堂町	尾道市大字久保町	尾道市大字久保町

○逓信省告示第四百八十五號

明治三十七年六逓信省告示第三百十七號外國電報料金表第二表China(清國地方)ノ部Manchuria(滿洲)ノ項中(Quinn)(ギリネ)ノ行ヲ削除ス

明治四十年八月十九日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百八十六號

本年八條約第二號日本帝國逓信省並大不列顛及愛爾蘭聯合王國郵政廳間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定ノ施行細則左ノ如シ

明治四十年八月十九日

逓信大臣山縣伊三郎

日本帝國逓信省並大不列顛及愛爾蘭聯合王國郵政廳間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定ノ施行細則

第一條

一、兩國間ニ於ケル閉塞郵便ニ依ル小包ノ交換ハ加那太ヲ經由シ又ハ蘇士ヲ經由シテ之ヲ施行スヘシ但シ五百法ヲ超過スル金額ヲ以テ價格表記ト爲シタル小包ハ蘇士ヲ經由シテ之ヲ發送スルコトヲ得ス

二、兩郵政廳ハ小包郵便交換局ヲ指定シ其ノ局名ヲ相互ニ通知スヘシ

第二條

一、兩郵政廳ハ同廳ノ保持スル定期海運ノ何レヲ小包ノ遞送ニ充用シ得ヘキカヲ相互ニ通知スヘシ

二、兩郵政廳ハ關係國ト豫メ協議ヲ遂ケタル後相互ニ左ノ諸件ヲ通知スヘシ

(甲)兩廳カ各自小包ノ遞送ニ對シ仲介ヲ爲シ得ル國名

(乙)其ノ疆域ニ入り又ハ其ノ業務ニ入ル場所ヨリ該小包ノ遞送ニ充テ得ヘキ線路

(丙)小包ヲ託スル郵政廳ニ於テ名宛地毎ニ是カ爲支拂フヘキ料金ノ總額

三、此ノ通知ニ依リ郵政廳ハ其ノ小包ノ遞送ニ充用スヘキ線路及差出人ヨリ徵收スヘキ郵便料ヲ定ムヘシ

第三條

日本帝國ニ於テ聯合王國ニ宛テ差出ス小包ハ長三尺五寸、長及横周ヲ合シ六尺ヲ超過スヘカラス又聯合王國ニ於テ日本帝國ニ宛テ差出ス小包ハ長英尺三呎六吋、長及横周ヲ合シ六呎ヲ超過スヘカラス

第四條

一、小包ハ名宛人ノ正確ナル名宛ヲ有スルニ非サレハ小包郵便ニ依ル遞送ノ爲之ヲ引受クヘカラス正貨、金製若ハ銀製ノ物品、珠玉其ノ他貴重品ヲ包有スル小包ノ名宛ハ小包ノ包裝ノ自體ニ記載スルヲ要ス
二、各小包ハ遞送ノ距離ニ應シ且其ノ包有品ヲ保護スルニ充分ナル様包裝スルヲ要ス包裝ハ加害ノ明瞭ナル痕跡ヲ留ムルニ非サレハ其ノ包有品ニ觸ルル能ハサル様之ヲ爲スヘシ
液體及液化シ易キ物品ハ二重ノ容器ニ納メテ發送スルヲ要ス第一容器(罐、フラスコ、蜜箱等)ト第二容器(金屬製又ハ堅牢ナル木製ノ箱)トノ間ニハ出來得ル限り空隙ヲ設クルモノトス此ノ空隙ハ鋸屑、糠其ノ他吸水性ノ物品ヲ以テ之ヲ填充スルヲ要ス
三、各小包ハ封緘、封鉛其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ封緘シ差出人ノ特殊ノ印影又ハ記號ヲ附スルヲ要ス
四、各價格表記小包ハ其ノ包裝及送狀ニ價格表記ノ金額ヲ記載スルヲ要ス假令證明スルモ塗抹又ハ加記スルコトヲ得ス此ノ記載カ日本又ハ英國ノ貨幣ヲ以テ表示セラルトキハ差出人又ハ差出國郵政廳ハ法又ハ山ニ於ケル相當額ヲ原字ノ側又ハ下ニ新數字ヲ以テ指示スルヲ要ス

第五條

一、各小包ニハ附録A號及B號離形ニ適合又ハ類似スル送狀及稅關告知書ヲ添附スルヲ要ス郵政廳ハ名宛國毎ニ所要ノ稅關告知書ノ枚數ヲ相互ニ通知スヘシ

二、同一ノ差出人ヨリ同一ノ名宛人ニ送付スル二箇又ハ三箇迄ノ小包ニ對シテハ一枚ノ送狀及關稅法カ許ストキハ一枚ノ稅關告知書ヲ使用スルコトヲ得此ノ規定ハ價格表記小包ニ適用セス此ノ小包ニハ各別ノ送狀ヲ添附スルヲ要ス

三、納付シタル郵便料ノ金額ハ送狀ニ貼附スル郵便切手ニ依リ表彰セラレサルトキハ之ヲ送狀ニ記載スルヲ要ス

四、價格表記小包ノ正確ナル重量ハ差出局ニ於テ小包ノ包裝及送狀中相當欄ニ記載スルヲ要ス

五、郵政廳ハ稅關告知書ノ正否ニ付テハ一切其ノ責ニ任セス

第六條

一、各小包及之ニ關スル送狀ニハ登記番號及差出局名ヲ指示スル附録C號離形ニ適合又ハ類似スル票符ヲ貼附スルヲ要ス

二、送狀ニハ尙差出局ニ於テ名宛記載面ニ差出地及差出日附ヲ指示スル印章ヲ捺捺スヘシ

三、各價格表記小包ニハ「Insured」又ハ「Valeur déclarée」ナル文字ヲ表面ニ有スル赤色ノ票符ヲ貼附スルヲ要ス

四、別配達小包及其ノ送狀ニハ「Express」ナル文字ヲ大書スル印章ヲ捺捺シ又ハ之ト同様ノ票符ヲ貼附スヘシ

五、正貨、金製若ハ銀製ノ物品、珠玉其ノ他貴重品ヲ包有スル小包ノ票符ハ包裝ノ損所ヲ隠蔽スルニ使用シ能ハサル様之ヲ貼附スルヲ要ス此ノ票符ハ線端ヲ掩蔽スル様包裝ノ二面ニ跨テ之ヲ貼附スヘカラス

第七條

小包ノ細項ハ差立交換局ニ於テ本細則附録D號離形ニ適合スル小包目錄ニ之ヲ式ノ如ク記入スヘシ送狀及稅關告知書並到達證アルトキハ到達證ハ之ヲ小包目錄ニ確ト添附スルヲ要ス

第八條

- 一、價格表記小包ノ到達證ヲ請求スルモノアルトキハ差出局ハ該小包ニ「Avis de réception」ナル文字ヲ明瞭ニ記載シ又ハ「V. P.」ナル文字ノ印章ヲ捺捺ス
 - 二、到達證ノ式紙ハ附録H號離形ニ適合又ハ類似スルヲ要ス該式紙ハ差出局又ハ差立郵政廳ノ指定スル他ノ郵便局ニ於テ之ヲ作成スヘシ若到達證名宛局ニ到着セサルトキハ同局ハ職權ヲ以テ新到達證ヲ作成ス
 - 三、名宛局ハ式紙ニ相當記入ヲ爲シタル後之ヲ直接ニ又ハ交換局ヲ經由シテ差出局ニ返送シ差出局ハ之ヲ小包ノ差出人ニ交付ス
 - 四、價格表記小包差出ノ後差出人共ノ到達證ヲ請求スルトキハ差出局ハ到達證ノ式紙ニ小包ニ關スル正確ノ記載(差出局差出日附番號名宛)ヲ爲ス此ノ式紙ニハ取調ニ係ル小包ヲ關係郵政廳ノ交換局ニ送達シタル便名ヲ記載シ之ヲ受取交換局ニ送付スルモノトス名宛局ハ式紙ヲ完成シ
 - 五、差出ノ際差出人ニ於テ正當ニ請求セル到達證ニシテ相當期間ノ後差出局ニ歸著セサルトキハ第四項ニ定ムル手續ニ從ヒ不著ノ到達證ニ對シ取調ヲ爲スモノトス
- 差出局ハ式紙ノ頭部ニ「Reclamation de l'avis de réception, etc.」ナル文字ヲ記載ス
- 第九條
- 一、受取交換局ハ小包目録受領ノ上小包及目録ニ記入シタル各種ノ書類ヲ點査シ必要ナルトキハ不著又ハ違例ハ之ヲ附録E號離形ニ適合スル點檢狀ヲ以テ通報スヘシ
 - 二、貨高及計算ニ相違アルトキハ點檢狀ヲ以テ之ヲ差立局ニ通知スルヲ要ス承認済ノ點檢狀ハ關係小包目録ニ之ヲ添付スルヲ要ス
- 證據書類ニ依リ證明セラレサル訂正ハ検査官之ヲ許サス

第十條

- 一、別配達小包ヲ小包目録ニ記入スルトキハ其ノ附註欄内相當ノ行ニ「Express」ナル文字ヲ記載スヘシ
- 二、一便ニ依リ發送スヘキ別配達小包ハ之ヲ一括シテ出來得ル限り小包目録其ノ他ノ書類ヲ包有スル容器中ニ納ムヘシ若此ノ如ク爲ササルトキハ別配達小包ヲ包有スル容器ハ特別ノ票符ヲ以テ之ヲ指示スヘシ

第十一條

- 一、誤達小包ハ之ヲ再發スル郵政廳ヨリ最遠達ノ線路ニ依リ其ノ名宛地ニ發送スヘシ若此ノ再發ニ依リ差出郵政廳ニ小包ヲ返還スルニ至リタルトキハ該郵政廳ノ小包目録ニ記入シタル收得額ハ之ヲ抹殺シ再發交換局ハ小包ヲ單ニ小包目録ニ記入シテ差立局ニ返送スヘシ其ノ誤便ニ付テハ點檢狀ヲ以テ注意ヲ促スヘシ
- 二、其ノ他ノ場合ニ於テ再發郵政廳ノ收得額カ同局ノ支辨スヘキ再發ノ費用ヲ償フニ足ラサルトキハ再發郵政廳ハ差立交換局ノ小包目録ニ記入シタル自局ノ收得額ヲ増加シテ其ノ不足額ヲ補フヘシ此ノ訂正ノ事由ハ點檢狀ヲ以テ同局ニ通知スヘシ
- 三、日本帝國及聯合王國間ノ小包郵便ニ關係有スル一國ニ轉送スル小包ニ付テハ配達郵政廳ハ自局及轉送郵政廳並仲介郵政廳アルトキハ各仲介郵政廳ニ歸スヘキ金額ニ相當スル料金ヲ名宛人ヨリ徴收スルモノトス
- 四、轉送小包ヲ發送スル各郵政廳ハ該小包ノ遞送ニ對シ收得スヘキ金額ヲ小包目録ヲ以テ請求スヘシ
- 五、然レトモ轉送小包ノ新遞送ニ對シ徴收スヘキ金額カ其ノ轉送ノ際支拂ハルルトキハ小包ハ轉送國ヨリ直接ニ名宛國ニ宛テタルモノト同様ニ之ヲ取扱ヒ何等ノ郵便料金ヲ徴收スルコトナク名宛人ニ配達スヘシ

- 六、配達不能ハサル小包ニ付テハ其ノ處分方ヲ差出人ニ問合スヘシ
 - 七、問合書ヲ發送シタル後六月内ニ名宛局ニ於テ差出人ヨリ回答ヲ受領セサルトキハ小包ハ拋棄セラレタルモノトシテ取扱フヘシ
 - 八、然レトモ壞損又ハ腐敗スヘキ物品ニ限リ豫告又ハ法律上ノ手續ヲ爲サス直ニ權利者ノ利益ノ爲ニ之ヲ賣却スルコトヲ得其ノ賣却ニ付テハ調書ヲ作成スヘシ
 - 九、賣却ニ因リ得タル金額ハ先ツ之ヲ其ノ小包ニ關スル費用ノ支辨ニ充ツヘシ過剩アルトキハ差出人ニ交付スル爲之ヲ差出局ニ送付スヘシ
 - 十、理由ノ如何ヲ問ハス賣却スルコト能ハサルトキハ破損シタル又ハ價值ナキ物品ハ之ヲ毀棄シ又ハ國庫ニ歸屬セシムルモノトス
 - 九、差出國ニ返送スヘキ小包ハ之ヲ小包目録ニ記入シ其ノ附註欄ニ「Treasury (不能配達) ナル文字ヲ附記スヘシ該小包ハ之ヲ轉送小包ト同様ニ取扱ヒ同一ノ料金を徴收スヘシ
 - 十、小包ノ名宛人カ日本帝國及聯合王國間ノ小包郵便ニ關係ヲ有セサル一國ニ向ケテ發送シタルトキハ該小包ハ第一名宛郵政廳ニ於テ之ヲ名宛人ニ送付シ得ルニ非サレハ不能配達ノモノトシテ取扱フヘシ
 - 十一、差出國ニ返送スヘキ又ハ第三國ニ轉送スヘキ小包ニ對スル其ノ關稅ハ日本帝國及聯合王國ノ孰レニ於テモ之ヲ取消スヘシ但シ約定第十條ノ規定ニハ從フヘキモノトス
- 第十二條
- 一、各郵政廳ハ其ノ各交換局ヲシテ他ノ郵政廳ノ交換局ヨリ受取リタル總テノ郵便物ニ對シ各小包目録中貸方ト借方トニ記入シアル金額ニ關シ本細則附録F號離形ニ適合スル貸借表ヲ三月毎ニ作成セシムヘシ
 - 二、F號貸借表ハ同郵政廳ニ於テ後日本細則附録G號離形ニ適合スル計算書ニ之ヲ集記スヘシ

- 三、此ノ計算書ハF號貸借表及小包目録ノ摘要書並之ニ關スル點檢狀アルトキハ點檢狀ヲ添附シ次期ノ三月間内ニ之ヲ他ノ郵政廳ノ檢査ニ供スヘシ
- 四、毎三月計算書ハ雙方ニ於テ審査承認ノ上貸越郵政廳ニ於テ之ヲ年次總計算書ニ集記スヘシ
- 五、兩郵政廳間ニ於ケル此等ノ計算書ノ差引ヨリ生スル支拂ハ借越郵政廳ニ於テ正當法ヲ以テ又ハハ里貸越國ノ首府若ハ商業地ニ振宛テタル爲替ヲ以テ又ハ相互ニ協定スル其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ爲スヘシ右支拂ニ伴フ費用ハ借越郵政廳ノ負擔トス
- 六、計算書ノ作成、送付及支拂ハ成ルヘク速ニ遅クとも翌年ノ終了前ニ之ヲ爲スヲ要ス此ノ期間満了ノ後ハ一郵政廳ヨリ他ノ郵政廳ニ支拂フヘキ金額ニハ其ノ期間満了ノ日ヨリ年五分ノ割合ヲ以テ利子ヲ附スヘシ

第十三條

本細則ハ約定實施ノ日ヨリ之ヲ施行シ約定ト有效期間ヲ同シウスヘシ然レトモ關係郵政廳ハ協議ヲ以テ隨時細目ヲ修正スルノ權能ヲ有ス

千九百十七年一月三十一日倫敦ニ於テ及明治四十年七月十九日東京ニ於テ二通ヲ作成ス

逓信大臣 山縣 伊三郎
郵政長官 シドニー・バグストン

A 號

通知券	送 狀
左記名宛ヲ有スル小包 送出局日附印	納付セシ郵便料
税關告知書ノ枚數	

B 號

稅關告知書

差出人ノ宿所氏名
 名宛人宿所氏名……………

名宛地……………

小包封紙ニ使用
シタル印章

價格表記金額
 (價格表記小包ノ場合ニ
 限リ記入スルモノトス)

價格表記小包ノ
 正賦ナル重量
 正賦ノ交換局ニ於テ
 記入スルモノ)

送 送 線 路
 ……………
 經由

小包郵便物	包 有 品	包 有 品 格	重	量
箇 數	種 類	價 格	全 體	正 味

差出人名…………… 名宛地……………

C 號

千九百…年…月…日……………

差出人署名……………

東京
 第四三八號

東京
 第四三八號

明治四十年八月 告示 逓信省第四百八十六號

一四七九

D 號

小包目錄

第...號

差立局日附印

千九百...年...月...日汽船...號...依り...差立...小包

番號	送	次	一
記	二	三	四
局	五	六	七
宛	八	九	十
名	十一	十二	十三
小包	十四	十五	十六
送	十七	十八	十九
狀	二十	二十一	二十二
告知	二十三	二十四	二十五
價	二十六	二十七	二十八
表	二十九	三十	三十一
記	三十二	三十三	三十四
支拂	三十五	三十六	三十七
金額	三十八	三十九	四十
附	四十一	四十二	四十三
註	四十四	四十五	四十六
合計	四十七	四十八	四十九
	五十	五十一	五十二
	五十三	五十四	五十五
	五十六	五十七	五十八
	五十九	六十	六十一
	六十二	六十三	六十四
	六十五	六十六	六十七
	六十八	六十九	七十
	七十一	七十二	七十三
	七十四	七十五	七十六
	七十七	七十八	七十九
	八十	八十一	八十二
	八十三	八十四	八十五
	八十六	八十七	八十八
	八十九	九十	九十一
	九十二	九十三	九十四
	九十五	九十六	九十七
	九十八	九十九	一百

差立局吏員署名

受取局吏員署名

本便差立ノ容器數
 水袋二枚以上ヲ要スルト
 牛ハ此等ノ細項ハ最モ
 一枚ニノミ記入スヘシ

E 號

郵政廳

小包郵便

...局ヨリ...局ヘノ小包郵便中ニ發見セシ 附註ノ送例及誤謬ヲ訂正及點檢スルノ用ニ供スル點檢狀
 差立 千九百...年...月...日 小包目錄第...號又ハ差立時刻
 日附

不著小包

番號	送	次	一
小包	二	三	四
出	五	六	七
地	八	九	十
名	十一	十二	十三
宛	十四	十五	十六
入	十七	十八	十九
名	二十	二十一	二十二
宛	二十三	二十四	二十五
入	二十六	二十七	二十八
	二十九	三十	三十一
	三十二	三十三	三十四
	三十五	三十六	三十七
	三十八	三十九	四十
	四十一	四十二	四十三
	四十四	四十五	四十六
	四十七	四十八	四十九
	五十	五十一	五十二
	五十三	五十四	五十五
	五十六	五十七	五十八
	五十九	六十	六十一
	六十二	六十三	六十四
	六十五	六十六	六十七
	六十八	六十九	七十
	七十一	七十二	七十三
	七十四	七十五	七十六
	七十七	七十八	七十九
	八十	八十一	八十二
	八十三	八十四	八十五
	八十六	八十七	八十八
	八十九	九十	九十一
	九十二	九十三	九十四
	九十五	九十六	九十七
	九十八	九十九	一百

毀損ノ狀態發見ノ原因ヲ記スヘキモノ其ノ他ノ事項

明治四十年八月 告示 逓信省第四百八十六號

番 號	送 出 地	名 宛 人 ノ 宿 所 氏 名	重 量	逓 送	受 取 局
				包 小	
原合計					
訂正セシ合計					

千九百...年...月...日

到著局長署名

右検査承認ス

千九百...年...月...日

差立局長署名

F 號

郵政廳
 交換局ヨリ 交換局ニ交付シタル小包ニ關シ 郵政廳トノ計算
 郵政廳ニ於テ相互ニ支拂フヘキ金額ノ毎三月貸借表 郵政廳及
 千九百...年第...期分

番 號	日 附	小 包 日 録	附 註
		(D) 號表第十欄	
		一、受取郵政廳ノ收得	
		二、差立郵政廳ノ收得	
		(D) 號表第十一欄	

G 號	
合 計	

郵政廳
 郵政廳トノ計算
 交換局ヨリ 交換局ニ送付シタル小包日録ニ對スルF號貸借表ヨリ
 集配シタル計算表
 千九百...年第...期分

番 號	交 換 局	受 取	各 F 號表ニ基キ 歸屬ス	
			受取郵政廳	差立郵政廳

合計	千九百	年	月	日
	於テ			

右承認ス

千九百 年 月 日

五 號 (表面)

郵政廳 到達證

郵便切手

郵便切手

寄附郵便物 (一)

價格表記書狀 價格表記小包郵便物等 號 年 月 日 局 (二) 於テ登

價格表記書狀 價格表記小包郵便物等 號

年 月 日 局 (二) 於テ登

地名 (三)宛 下名ハ前掲名宛ヲ有シ (四) 發シタル 郵便物 價格表記書狀 價格表記小包郵便物

ハ千九百 年 月 日 正ニ開送セラレタルコトヲ實見ス

局印 署名 (五)

名宛人 配達郵便局長

一、郵便物ノ種類 (書狀、見本印刷物等)

二、送出局、同局ニ送出ノ日附 送出局ニ於テ記入スルモノトス

三、名宛人ノ詳細ナル住所氏名

四、送出人ノ詳細ナル住所氏名

五、此ノ到達證ニハ名宛人又ハ名宛國ノ郵便規則カ許ストキハ配達郵便局長署名スルヲ要ス若シ配達局ニ於テ作成スルトキハ名宛人ハ送出人ノ住所氏名ヲ陳述スヘシ以上ノ手續ヲ了シタル後到達證ハ封皮ニ納メ寄附トシテ関係郵便物ノ送出局ニ第一便ヲ以テ送付スルヲ要ス

六、此ノ式紙カ関係郵便物又ハ價格表記郵便物ト同時ニ送付セラレタルトキハ該郵便物ヲ大體ニ送付セシ郵便ノ細項ヲ表面ニ記載スヘシ

五 號 (裏面)

表面ニ記載スル書留 (又ハ價格表記) 郵便物ハ 年 月 日 時 分

目録第 行ニ記入シテ 送立テタリ

表面ニ記載スル書留 (又ハ價格表記) 郵便物ハ 年 月 日 時 分

目録第 行ニ記入シテ 送立テタリ

表面ニ記載スル書留 (又ハ價格表記) 郵便物ハ 年 月 日 時 分

目録第 行ニ記入シテ 送立テタリ

表面ニ記載スル書留 (價格表記) 郵便物ハ 年 月 日 時 分

郵便 價格表記 (書狀目録第一表) 第 行ニ記入シテ 交換局ニ送

(第 次便) フ以テ 送立目録第一表 小包 目録 第 行ニ記入シテ 交換局ニ送

立アタリ

署名 署名
 日附 日附

表面ニ記載スル(當)價格表(當)郵便物ハ.....年.....月.....日.....交換局郵便
 (第.....次便)ヲ以テ(當)狀目録第一表(當)立目録第一表(當)小包(當)目録
 立アタリ.....

○逓信省告示第四百八十七號
 本年八月條約第二號日本帝國逓信省並大不列顛及愛爾蘭聯合王國郵政廳間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定ハ來十月一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治四十年八月十九日
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百八十八號
 郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
 明治四十年八月二十日
 逓信大臣山縣伊三郎

米	佛	英	日
一センド	一フラン	一ポンド	一圓
100.00	200.00	160.00	100.00
100.00	100.00	100.00	100.00

海	陸	海	海
一セント	一フラン	一ポンド	一圓
100.00	200.00	160.00	100.00
100.00	100.00	100.00	100.00

○逓信省告示第四百八十九號
 本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス
 明治四十年八月二十日
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百九十號
 明治三十二年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中「陸前國名取郡茂ヶ崎村ノ内字長町」ノ項
 ソ次ニ左ノ通追加ス
 明治四十年八月二十日
 逓信大臣山縣伊三郎

一陸前國名取郡石巻町大字石巻字石巻大字門馬字石巻大字長村字長村
 明治四十年八月 告示 逓信省第四百八十九號 第四百九十號
 一四八七

表面ニ記載スル(寄附格表記)郵便物ハ.....年.....月.....日.....交換局發郵便
 (第.....次便)ヲ以テ(寄附目録第一表).....行ニ記入シテ.....交換局ニ送
 立テタリ.....

署名 日附印

○逓信省告示第四百八十七號
 本年八月條約第二號日本帝國逓信省並大不列顛及愛爾蘭聯合王國郵政廳間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定ハ來十月一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治四十年八月十九日
 ○逓信省告示第四百八十八號
 郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
 明治四十年八月二十日

英貨	一パウンド	九圓七角五分	一圓ニ付 二圓四角四分
英貨	一シリング	四角九分	一圓ニ付 二圓二角四分
英貨	一ペンニー	四角二分	一圓ニ付 二圓一角四分
佛貨	一フランク	三圓九角五分	一圓ニ付 二圓二角四分
米貨	一セント	二圓一角五分	一圓ニ付 二圓一角四分

逓信大臣山縣伊三郎

獨貨	一マルク	四圓二角五分	一圓ニ付 二圓二角四分
獨貨	ニフロン	八圓二角五分	一圓ニ付 二圓二角四分
獨貨	一クローネ	二圓一角五分	一圓ニ付 二圓一角四分
獨貨	一コロナ	二圓一角五分	一圓ニ付 二圓一角四分
香港洋銀	一ドル	一圓九角五分	一圓ニ付 九角四分
香港洋銀	一セント	一圓九角五分	一圓ニ付 九角四分
銀	一セント	一圓九角五分	一圓ニ付 九角四分

(備考) 羅馬尼貨幣ル一及パニノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シキ香港爲替中對公島及露波ニ適用スルモノニハ別紙換算割合ヲ適用シ其餘ノ地方ニ適用スルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○逓信省告示第四百八十九號
 本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス
 明治四十年八月二十日
 名 稱 石巻郵便局 位 置 宮城縣牡鹿郡石巻町
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百九十號
 明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中陸前國名取郡茂ヶ崎村ノ内字長町ノ項
 以下ニ左ノ通追加ス
 明治四十年八月二十日
 一陸前國牡鹿郡石巻町大字石巻字石巻大字門前字石巻大字南村字津原
 逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年八月 告示 遞信省第四百九十一號 第四百九十二號 第四百九十三號

一四八八

○遞信省告示第四百九十一號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通道加ス

明治四十年八月二十日

遞信大臣山縣伊三郎

「仙臺鹽竈間」ノ次ニ

加入區域外	一、通話ノ電話料	一、同ノ電話呼出料
仙臺石巻間	金二十錢	金十五錢
石巻鹽竈間	金二十錢	金十五錢

○遞信省告示第四百九十二號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通道加シ本月二十一日ヨリ施行ス

明治四十年八月二十日

遞信大臣山縣伊三郎

「小松岩瀨間」ノ次ニ

加入區域外	一、通話ノ電話料	一、同ノ電話呼出料
小松岩瀨間	金二十五錢	金十五錢

○遞信省告示第四百九十三號

下關海峽西口蘆ノ島南西方ノ白洲燈臺ハ回轉機械試驗ノ爲本月二十六日以後當分ノ内閃光發射ノ間隔不定ナルコトアルヘシ

明治四十年八月二十二日

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省告示第四百九十四號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基テ請願ニ依リ本月二十五日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十年八月二十二日

遞信大臣山縣伊三郎

名稱 美谷郵便局

位置

北海道後志國松蔭郡美谷村

○遞信省告示第四百九十五號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ノ電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十九年六月遞信省令第二十五號電話規則ニ依リ加入申込書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十年八月二十二日

遞信大臣山縣伊三郎

名稱

米澤郵便局

位置

米澤市立町

○遞信省告示第四百九十六號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號電話加入登記料、電話加入名義書換料及電話使用料ニ關スル土地ノ種別中丙地尾道ノ次ニ左記箇所ヲ追加ス

明治四十年八月二十二日

遞信大臣山縣伊三郎

米澤

○遞信省告示第四百九十七號

明治二十年十二月遞信省告示第三百五十七號電話加入區域中「尾道」ノ次ニ左ノ通道加ス

明治四十年八月二十二日

遞信大臣山縣伊三郎

明治四十年八月 告示

遞信省第四百九十四號 第四百九十五號 第四百九十六號 第四百九十七號

一四八九

LBQR	一〇三五三	汽	第五相生丸	大阪市	石崎兵太郎
LDST	一〇四四六	帆	寶吉丸	豐後國佐伯町	佐藤喜三郎
LDSV	一〇四四七	帆	全榮丸	周防國太宰村	橋本文六
LD SW	一〇四四八	帆	十二號久富丸	門司市	西村熊太郎
LD TB	一〇四五〇	帆	十六號久富丸	門司市	西村熊太郎
LD TC	一〇四五二	汽	第二現海丸	門司市	關門汽船株式會社
LCGJ	一〇六六四	帆	第六號三浦丸	橫濱市	齋藤己之助
LCJF	一〇六九三	帆	三德丸	肥後國中村	金子久市
LCJG	一〇六九四	帆	海登丸	肥後國阿村	松田德平
LCMS	一〇七三三	帆	第貳安榮丸	伯耆國境町	松本喜八郎
LCRK	一〇七六〇	帆	棧棧丸	安藝國大崎中野村	河野宗兵衛
LCRM	一〇七六一	帆	明神丸	安藝國大崎中野村	松村典三郎
LCRN	一〇七六二	帆	第貳利得丸	備後國千年村	藤原松助
LCVR	一〇八三二	帆	旭丸	東京市	河村常吉
LCVS	一〇八三三	帆	富美丸	武藏國品川町	征木大二
LCVT	一〇八三四	帆	二號修勢丸	伊豆國小室村	石川竹二郎
LCVW	一〇八三五	帆	第十五伊勢丸	武藏國品川町	井田榮造
LCWB	一〇八三六	帆	第七朝日丸	武藏國品川町	上田芳造

LCWD	一〇八三七	汽	筑前丸	東京市	日本郵船株式會社
LCWT	一〇八四六	汽	風丸	長崎市	三菱合資會社
JGMT	一〇九四六	帆	長岡丸	渡島國函館區	天野盛太郎
LD MV	一〇九六一	帆	寶丸	土佐國下田村	平島善七
LD RM	一〇九八一	帆	神幸丸	日向國油津町	杉本房吉

○逓信省告示第五百二號
 明治三十九年十一月一號逓信省告示第四百九十一號外國宛價格表記信書及同箱物料金表附註各號中左ノ
 通改ム

明治四十年八月二十四日

逓信大臣山縣伊三郎

- 一、二號中大不列顛「トリニダッド」ガムビア、「ジャマイカ」リワード諸島ヲ削除ス
- 二、三號中英領「ギアナ」ヲ削除ス
- 三、四號中「モーリシアス」「シェラレラン」ヲ削除ス

○逓信省告示第五百三號

萬國郵便條約施行細則第四十條第一項第十號中「浪子山」ヲ削除ス

明治四十年八月二十四日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百四號

萬國郵便條約施行細則第四條聯合各國貨幣比例表中逓送ノ項ヲ左ノ通改ム

明治四十年八月二十六日

逓信大臣山縣伊三郎

逓送
 九アット 四アット 二アット

○逓信省告示第五百五號

華盛頓締結小包郵便交換條約施行細則第二條第一項各國貨幣比例表中暹羅ノ項ヲ左ノ通改ム
 明治四十年八月二十六日
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百六號

本年三逓信省告示第七十三號中長野營業事務所ノ次ニ兩國營業事務所ヲ追加シ其所管區域及位置ヲ左ノ通相定メ又神戸及金澤營業事務所所管區域ニ左ノ通追加シ本年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治四十年八月二十六日
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百七號

明治四十年九月一日ヨリ帝國鐵道屬神戸營業事務所德島派出所ヲ設置シ其所管區域及位置ヲ左ノ通相定ム

明治四十年八月二十六日
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百八號

明治三十九年九逓信省告示第四百十六號外國電信取扱制限表亞米利加ノ部中第二項ノ次ニ左ノ一
 項ヲ追加ス

明治四十年八月二十六日
 逓信大臣山縣伊三郎

加奈太ノ各地ニ宛ル電報ハ總テ北米合衆國內ノ電信局ヨリ郵便ニ附ス
 ○逓信省告示第五百九號
 郵便局所ニ於テ外國為替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
 明治四十年八月二十七日
 逓信大臣山縣伊三郎

英貨	佛貨	米貨	獨貨	關貨	據地利	洪地利
一パウンド	一フランク	一メトリ	一マルカ	一フラン	一クローネ	一コロナ
九兩七錢五分	三兩二錢五分	三兩二錢五分	三兩二錢五分	三兩二錢五分	三兩二錢五分	三兩二錢五分
一圓二付 ^{2/01} 即チ	一圓二付 ^{1/50}	一圓二付 ^{1/50}	一圓二付 ^{1/50}	一圓二付 ^{1/50}	一圓二付 ^{1/50}	一圓二付 ^{1/50}
ニル五〇〇	ニル五〇〇	ニル五〇〇	ニル五〇〇	ニル五〇〇	ニル五〇〇	ニル五〇〇

* 香港洋銀		一ダウ	一〇八八三
* 銀		一ダウ	一〇八八三
		一セント	一〇九二
		一圓	二付九十一セント六七三

○逓信省告示第五百十號
(備考) 羅馬尼亞貨幣ルイ及びパニヲ換算割合ハ機換換算割合ニ同シ。* 香港為替中對公島及臺灣ニ宛テモ
 モノニハ銀換算割合ヲ適用シ其外ノ地方ニ宛テモモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ來九月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
 明治四十年八月二十七日
 名 稱 大野郵便局 位 置 長野縣北松浦郡大野村
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百十一號
 海軍所屬汽船老虎尾丸ニ點附ノ信號符字左ノ如シ
 明治四十年八月二十七日
 信號符字 船名
 G Q B J 老虎尾丸
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百十二號
 來九月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス
 明治四十年八月二十八日
 名 稱 高島郵便局 位 置 長野縣西彼杵郡高島村
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百十三號
 明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中「肥前國東彼杵郡大村町」ノ項ノ次ニ左ノ
 通追加ス
 明治四十年八月二十八日
 一 肥前國西彼杵郡高島村 電話呼出料
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百十四號
 明治三十九年八月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス
 明治四十年八月二十八日
 加入區域外 電話呼出料
 電話料 一圓ノ電
 電話呼出料

下關長崎間ノ次ニ	長下關高島間	金七十五錢	金二十錢
門司長崎間ノ次ニ	長門司高島間	金七十五錢	金二十錢
福岡長崎間ノ次ニ	福岡高島間	金五十五錢	金二十錢
長崎大村間ノ次ニ	長崎高島間	金十錢	金十錢
佐世保大村間ノ次ニ	佐世保高島間	金三十錢	金二十錢

○逓信省告示第五百十五號
 來九月一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス
 明治四十年八月二十九日
 名 稱 現在 位 置 移轉 位 置
 小倉京町郵便局 小倉市小倉字京町十丁目 小倉市小倉字京町九丁目
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百十六號
 明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ來九月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
 明治四十年八月二十九日
 名 稱 都方郵便局 位 置 島根縣隠岐郡都方村
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百十七號

明治四十年三月逓信省告示第七十五號北海道鐵道管理局所管內各事務所所管區域及位置ノ件中左記ノ通六事務所ノ所管區域ヲ改メ落合帶廣間營業開始ノ日ヨリ實施ス
明治四十年八月逓信省告示第四百四十九號ハ之ヲ廢止ス

明治四十年八月三十日

逓信大臣山縣伊三郎

- | 名 | 所管區域 |
|---------|-----------------|
| 鐵路運輸事務所 | 鐵路新得間(新得停車場ヲ除ク) |
| 鐵路保險事務所 | 鐵路新得間(同上) |
| 旭川運輸事務所 | 旭川運輸事務所(同上) |
| 旭川保險事務所 | 新得旭川間 |
| 旭川出納事務所 | 新得旭川間 |

○逓信省告示第五百十八號

本日限左記郵便局ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス
明治四十年八月三十一日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百十九號

本日限左記郵便局ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス
明治四十年八月三十一日

逓信大臣山縣伊三郎

- | 名 | 位 | 承繼局名 | 御殿場郵便局 |
|-----------|---------------------------|------|--------|
| 東京博覽會一郵便局 | 東京市下谷區上野公園竹之濠元東京勸業博覽會場內 | 承繼局名 | 下谷郵便局 |
| 東京博覽會二郵便局 | 東京市下谷區不忍池御馬場見所跡元東京勸業博覽會場內 | 承繼局名 | 下谷郵便局 |

○逓信省告示第五百二十號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ來九月一日ヨリ左記郵便局ニ電報配達事務ヲ開始ス

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年八月三十一日

○逓信省告示第五百二十一號
關東半島大連灣内ニ碇置ノ大連最東埠頭端浮標、大連西溜沖浮標及紅娘子江石浮標ハ左記ノ通變更セリ

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年八月三十一日

- | 名 | 位 | 碇置 | 碇置 |
|-----------|-------|-------|----|
| 大連最東埠頭端浮標 | 碇置 | 碇置 | 碇置 |
| 一構造及著色 | 鐵造圓錐形 | 目標圓筒形 | 黑色 |
| 一水面上ノ高 | 一丈 | | |
| 大連西溜沖浮標 | 碇置 | 碇置 | 碇置 |
| 一構造及著色 | 鐵造圓錐形 | 目標三角形 | 紅色 |
| 一水面上ノ高 | 一丈 | | |
| 紅娘子江石浮標 | 碇置 | 碇置 | 碇置 |
| 一構造及著色 | 鐵造圓錐形 | 目標三角形 | 紅色 |
| 一水面上ノ高 | 一丈 | | |

○統監府告示第百二號(官報八月三日)
來ル八月十日新義州理事廳遷移支廳ノ事務ヲ開始ス

統監伊藤博文

明治四十年七月二十八日

○統監府告示第百三號(官報八月六日)
城津理事廳清津支廳ノ事務ハ追テ其ノ開始ノ告示アル迄城支廳ニ於テ之ヲ取扱フ

明治四十年八月一日
統監侯爵伊藤博文

○統監府告示第百四號(官報八月十五日)
韓國政府ハ本年八月八日法律第三號ヲ以テ鑛業法中改正ノ件ヲ發布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十年八月十日
統監侯爵伊藤博文

鑛業法中改正ノ件
第一條 光武十年法律第三號鑛業法中左ノ通改正ス
第十二條第七號ヲ刪除ス
第二十五條ヲ刪除ス
第二十七條中(宮内府所屬ノ鑛山ニ關シテモ亦同シ)ヲ刪除ス

附則
第一條 鑛業法第二十五條第三項ノ規定ニ基キ取得シタル鑛業權ハ同法第三條ニ基キ取得シタルモノト看做ス
宮内府ニ屬シタル鑛山ニ關シ本法施行以前ニ於テ差出シタル鑛業出願ハ鑛業法第三條ニ依リ差出シタルモノト看做ス
前項ノ鑛山ニ關スル鑛業出願ニ付テハ鑛業法第八條ノ規定ヲ適用セス

第三條 本法ハ頒布ノ日ヨリ施行ス
○統監府告示第百五號(官報八月十五日)
韓國政府ハ本年八月八日法律第四號ヲ以テ砂鑛採取法中改正ノ件ヲ發布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十年八月十日
統監侯爵伊藤博文

砂鑛採取法中改正ノ件
第一條 光武十年法律第四號砂鑛採取法中第十四條ヲ刪除ス

附則
第二條 隆熙元年法律第三號附則ノ規定ハ宮内府ニ屬シタル砂鑛區ニ關スル出願ニ之ヲ準用ス
第三條 本法ハ頒布ノ日ヨリ施行ス
○統監府告示第百六號(官報八月十五日)
韓國政府ハ本年八月八日勅令第二號ヲ以テ宮内府所屬鑛山廢止ニ關スル件ヲ發布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十年八月十日
統監侯爵伊藤博文

勅令第二號
宮内府所屬鑛山廢止ニ關スル件
光武十年勅令第五十九號ヲ廢止ス

○統監府告示第百七號(官報八月十七日)
韓國政府ノ發布シタル國有未墾地利用法施行細則第二十二條ニ依リ提出スル願書、申請書、圖書其ノ他ノ書類及圖面ハ提出者ノ住所又ハ假住所ヲ管轄スル理事廳若ハ理事廳支廳ニ提出スヘシ

明治四十年八月十一日
統監侯爵伊藤博文

○統監府告示第百八號(官報八月二十四日)
明治四十年九月一日ヨリ左記電信取扱所電報直配達區域ヲ下記ノ通改ム

統監代理
韓國駐劄軍司令官男爵長谷川好遠

明治四十年八月十八日

名 稱 位 區
水原電信取扱所 京畿道水原停車場 鐵道停車場ヲ附屬シ若ハ取扱所附置ノ指定アル電報ノ外配達セス

明治四十年八月 告示 統監府第百六號 第百七號 第百八號

一五〇一

○統監府告示第百九號(官報八月二十四日)

明治四十年九月一日ヨリ左記郵便所ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス但シ該文電報ハ之ヲ取扱ハス

統監代理 韓國駐劄軍司令官男爵長谷川好道

○統監府告示第百十號(官報八月二十四日)

明治四十年九月一日ヨリ左記各局所間相互ニ電話通話ヲ開始ス

統監代理 韓國駐劄軍司令官男爵長谷川好道

明治四十年八月十八日

- 水原郵便局(電話加入者共)同
- 京城郵便局(電話加入者共)同
- 光化門郵便局同
- 西大門郵便局同
- 南大門郵便局同
- 德山郵便局(電話加入者共)同
- 麻池郵便局同
- 永登浦郵便局(電話加入者共)同
- 仁川郵便局(電話加入者共)同
- 仁川花開洞郵便局同
- 仁川内洞郵便局同

○統監府告示第百十一號(官報八月二十六日)

明治四十年九月一日ヨリ左記郵便所名及其ノ位置名稱下記ノ通改ス

統監代理 韓國駐劄軍司令官男爵長谷川好道

所 現 在

- 仁川花開洞郵便所 京畿道仁川府多力面花開洞
- 仁川内洞郵便所 京畿道仁川府内洞内洞
- 仁川停車場郵便所 京畿道仁川府仁川各區居留地

- 所 改 正
- 仁川花開洞郵便所 京畿道仁川花開二丁目
- 仁川内洞郵便所 京畿道仁川京町二丁目
- 仁川停車場郵便所 京畿道仁川花開町二丁目

○統監府告示第百十二號(官報八月二十六日)

明治四十年九月一日ヨリ左記郵便局ノ位置名稱下記ノ通改ス

統監代理 韓國駐劄軍司令官男爵長谷川好道

○統監府告示第百十三號(官報八月三十一日)

韓國皇帝陛下即位紀念郵便繪葉書ノ種類發賣價格及發賣期日左ノ如シ

統監代理 韓國駐劄軍司令官男爵長谷川好道

明治四十年八月二十二日

種 類 韓國皇帝陛下御影ト御德殿(即位式繪) 一枚 發賣價格 一枚金五錢 發賣期日 明治四十年八月二十七日

○臺灣總督府告示第百十六號(官報八月二日)

明治四十年七月二十四日臺北郵便局ニ於テ當日引受第一種及第二種郵便物ニ對シ左記様形ノ特殊日附印彩色ヲ使用セシム但シ公衆ハ希望ニ依リ共ノ翌日ヨリ三日間同日附印ノ押捺ヲ受クルコトヲ得

明治四十年七月二十三日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

(龍形)



○臺灣總督府告示第百十七號(官報八月二日)

福井縣ニ於テ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料金受領方ニ關スル請求手續左ノ通改正シテル旨同縣知事ヨリ通報アリタルニ付本島在住者ニシテ右給與ヲ受クルモノハ居住地地方廳ニ就キ證書ノ檢閱ヲ受クヘシ

明治四十年七月二十四日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

福井縣告示第百二十三號

明治二十五年文部省令第二號市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料支給規則第十二條ニ依リ退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者ニシテ本廳所在地外ニ居住シ該居住地ニ於テ其ノ金額ヲ受領セントスルトキハ現住地ノ市町村長ニ就キ證書ノ檢閱ヲ受ケ左式ノ請求書ヲ提出スヘシ

明治二十三年九月福井縣告示第百五十九號ハ廢止ス

明治四十年七月一日

福井縣知事阪本彰之助

(書式)

退隱料(遺族扶助料)請求書

證書番號

年額金何圓(アリアガハシラセヨシトモノニ)ノ内

一金何圓

昭和四年何月何日

退職後公務ニ就キ俸給ヲ受クルモノハ退職當時ノ俸給何圓現任俸給何圓ト俱書フ付シ又額ニ誤謬料(扶助料)ヲ受クルモノハ支給開始ノ年月死亡其ノ他ノ事故ニ依リ請求前ニ異動アル場合ニハ其ノ年月日就事由ヲ俱書スヘシ

右請求候也

年月日

現住所

元福井縣何郡(市)何小學校職等

氏名印

又ハ

故福井縣何郡(市)何小學校職等氏名官階(孤兒父母等)

○臺灣總督府告示第百十八號(官報八月二日)

明治三十八年八月二日告示第百四十七號臺灣刻煙草ノ名稱等級及定價左ノ通改定シ明治四十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督子爵佐久間左馬太

名	條	級	一包價ノ量口	定
絲	一	等	百	一圓四十五錢
同	二	等	同	一圓四十五錢
同	三	等	同	一圓四十五錢
赤	一	等	同	一圓四十五錢
同	二	等	同	一圓四十五錢
同	三	等	同	一圓四十五錢
同	四	等	同	一圓四十五錢
同	五	等	同	一圓四十五錢
同	六	等	同	一圓四十五錢

同	同	同	同	同	同	同	同
三	二	一	三	二	一	三	二
等	等	等	等	等	等	等	等
同	同	同	同	同	同	同	同
四	六	七	五	六	八	十	十
十	十	十	十	十	十	十	十
五	五	五	五	五	五	五	五
錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢

○臺灣總督府告示第百十九號(官報八月七日)
 明治四十年八月告示第七十號電信ノ業務ヲ兼掌スル郵便局所ニ左ノ通追加シ明治四十年八月一日
 リ業務ヲ開始ス

明治四十年七月二十七日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百二十號(官報八月七日)

明治三十七年十一月告示第百四十五號電話呼出地域ニ左ノ通追加ス

明治四十年七月二十七日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百二十一號(官報八月七日)

明治四十年八月一日ヨリ左記地域間ノ電話通信ヲ開始ス

明治四十年七月二十七日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百二十二號(官報八月七日)

明治四十年八月一日ヨリ三角湖郵便出張所ニ於テ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依
 ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十年七月二十七日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百二十三號(官報八月七日)

同一加入區域内電話業務兼掌局所ノ區域外通話地域ハ該區域内加入者所屬局所ノ區域外通話地域
 二同

○臺灣總督府告示第百二十四號(官報八月七日)

臺灣東廳昇南街臺灣東湖候所構内ニ警報信號標ヲ建設シ明治四十年八月一日ヨリ警報信號ヲ揭示ス但
 シ揭示方ハ明治三十年告示第六十二號ニ依ル

明治四十年七月三十一日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百二十五號(官報八月七日)

明治三十八年五月告示第七十號官廳賣捌所業務擔當人中左ノ通變更ス

明治四十年七月三十一日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百二十六號(官報八月十三日)

臺灣總督府農事試驗場講習生規程左ノ通相定ス

明治四十年八月六日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百二十七號(官報八月十三日)

臺灣總督府農事試驗場講習生規程
 第一條 講習生ヲ分チテ左ノ三種トス
 一 農事講習生
 一 獸醫講習生

明治四十年八月六日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百二十八號(官報八月十三日)

臺灣總督府農事試驗場講習生規程左ノ通相定ス

明治四十年八月六日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百二十九號(官報八月十三日)

臺灣總督府農事試驗場講習生規程左ノ通相定ス

明治四十年八月六日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百三十號(官報八月十三日)

臺灣總督府農事試驗場講習生規程左ノ通相定ス

明治四十年八月六日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

一 林業講習生

農事講習生ハ甲科生及乙科生ノ二種トス

第二條 講習生ハ身體強健 品行方正 家事ニ係累ナク 全學期間修業ノ見込アル者ニシテ 乙科農事講習生ハ左記第一號及第二號甲科農事講習生 獸醫講習生及林業講習生ハ乙科農事講習生ヲ修了シタル者又ハ左記第三號及第四號ノ資格アル者ヨリ採用ス

一 田畑一甲以上ヲ有スル本島人若ハ其ノ子弟ニシテ 公學校第五學年以上ノ修業證書ヲ有スル者又ハ之ト同等以上ノ學力アル者

二 田畑一甲以上ヲ有スル本島人若ハ其ノ子弟ニシテ 乙科農事講習ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

三 滿十五歲以上ノ者

四 滿十七歲以上ノ者

第三條 乙科農事講習生ハ農事ニ 獸醫講習生ハ獸醫ニ 林業講習生ハ林業ニ 關スル簡易ノ學理及技術ヲ講習シ 甲科農事講習生ハ乙科農事講習生ノ補習ヲ爲スモノトス

第四條 講習生ヲ志願セムトスル者ハ別記書式ノ志願書ニ 戶口抄本ヲ添ヘ 所轄廳ヲ經由シ 差出スベシ 但シ 身元保證人ハ 滿二十歲以上ノ男子ニシテ 戶主ニ限ル

第五條 講習生ハ 場内ニ寄宿セシム 但シ 食料 被服 文具等ハ 一切自辨トス

第六條 講習生ハ 授業ノ餘暇農事試驗場ノ勞役ニ從事セシムルモノトス 此ノ場合ニ於テハ 手當ヲ給スルコトアルヘシ

第七條 乙科農事講習生ノ修業期間ハ 滿二箇年トス

甲科農事講習生 獸醫講習生及林業講習生ノ修業期間ハ 滿六箇月トス 但シ 時宜ニ依リ之ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第八條 修業滿期ニ至リ 科程ヲ卒ヘタル者ニハ 修業證書ヲ授與ス

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ 退場セシムルコトアルヘシ

一 規則命令ニ悖反シ 屢訓誨スルモ 改悛ノ見込ナキ者

二 素行修マラサル者

三 學藝不十分ニシテ 定期修業ノ見込ナキ者

四 疾病又ハ 創傷ニ因リ 勞働ニ堪ユルコト能ハサルニ至リタル者

第十條 明治三十四年十一月二十號農事試驗場農事講習生規程 明治三十五年三月告示第二十六號農事試驗場養蠶講習生規程及 明治三十九年七月告示第五十二號臺灣總督府農事試驗場獸醫講習生規程ハ之ヲ廢止ス

(別記書式)

農事試驗場講習生志願書

私儀農事試驗場何々講習生志願ニ付入場御許可被成下 身元保證人連累此段相願候也

年 月 日

住所 職業 氏 名 生年月日

臺灣總督府告示第百二十七號(官報八月十三日)

臺灣保安林規則第一條ニ依リ左記ノ通保安林ニ指定ス

明治四十年八月七日

保安林種類 區 里 街庄 土名

風致林 落葉林 港西上 旗尾 中葉

水源涵養林 同 羅漢外門 砂磧坑 同

同 同 羅漢內門 木中 同

臺灣總督府告示第百二十七號

臺灣總督府告示第百二十七號

臺灣總督府告示第百二十七號

臺灣總督府告示第百二十七號

○臺灣總督府告示第百二十八號(官報八月二十一日)

香港ノ東端「コリンソン」岬燈臺ノ燈質變更ニ關シ香港港長ヨリ左記ノ通告示セシ旨通知アリタリ

明治四十年八月十三日

告示第百四六七號

臺灣總督子爵佐久間左馬太

コリンソン岬燈臺ハ來ル十月一日以降不動紅白燈ヲ第四等紅白明暗燈明七秒 暗三秒光速十六速ノ
ノニ變更ス右工事中ハ現在ノ不動燈ヲ現燈塔ノ側ナル同高ノ樞上ヨリ顯ハス
千九百七年七月十二日

香港港長海軍少佐 パレル、デーラー

○臺灣總督府告示第百二十九號(官報八月三十日)

明治四十年八月告示第七十一號電話ノ業務ヲ兼掌スル郵便局所ニ左ノ通退加ス

明治四十年八月十七日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

項受領郵局

○臺灣總督府告示第百三十號(官報八月三十日)

明治三十七年十一月告示第百四十五號電話呼出地域ニ左ノ通退加ス

明治四十年八月十七日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

一基隆三貂嶺頭寮溪庄ノ内單邊溪街

○臺灣總督府告示第百三十一號(官報八月三十日)

明治四十年八月二十日ヨリ左記地域間ノ電話通信ヲ開始ス

一頂寮溪上頭間(宜蘭縣羅東)

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百三十二號(官報八月三十日)

明治三十八年八月告示第八十四號臺灣總督府所管土地登記ノ關シ指定官吏中彩票局長ノ次ニ電氣
作業所長 中學校長ヲ追加ス

明治四十年八月二十二日

臺灣總督子爵佐久間左馬太

○關東都督府告示第四十八號(官報八月六日)

明治四十年五月府令第三十二號ニ依ル銀ノ價格ヲ明治四十年七月二十八日以降銀一圓ニ付金一圓三
錢ニ改正ス

明治四十年七月二十七日

關東都督男爵大島義昌

○關東都督府告示第四十九號(官報八月十三日)

南滿洲鐵道株式會社大連大棧橋信號柱ニ明治四十年八月一日以降警報信號ヲ揚卸セシム

明治四十年七月三十一日

關東都督男爵大島義昌

○關東都督府告示第五十號(官報八月十五日)

明治四十年五月府令第三十二號ニ依ル銀ノ價格ヲ明治四十年八月四日以降銀一圓ニ付金一圓四錢ニ
改定ス

明治四十年八月三日

關東都督男爵大島義昌

○關東都督府告示第五十一號(官報八月十五日)

明治四十年八月十日限り關東都督府郵便電信局左記支局ヲ廢止ス但シ當該支局ニ於テ取扱ヒタ
ル事務ハ下記支局之ヲ承繼ス

明治四十年八月四日

關東都督男爵大島義昌

關東都督府郵傳部及函子支局 浦洲及函子 關東都督府郵傳部函島支局

○關東都督府告示第五十二號(官報八月二十一日)
明治四十年五月府令第三十二號ニ依ル銀ノ價格ヲ明治四十年八月十一日以降銀一圓ニ付金一圓四錢七厘ニ改定ス

明治四十年八月十日

關東都督府大島義昌

○關東都督府告示第五十三號(官報八月二十一日)

明治四十年四月府令第二十二號旅順電燈使用規則ニ依ル臨時燈指定料金並相當費用ノ標準額左ノ通相定ム但シ特別施設ヲ要スルモノハ此ノ限ニ在ラス

明治四十年八月十三日

關東都督府大島義昌

臨時燈指定料金標準額	指定料金	相當費用
一燈ニ付	金一圓五十錢	一燈ニ付 金一圓五十錢
一位置燈更替(同一家庭内變更ノ場合)	一燈ニ付 金一圓五十錢	一燈ニ付 金一圓五十錢
一種別燈(使用者ニシテ他ニ移轉スル場合)	十燈迄ハ一燈ニ付 金二圓五十錢	十燈迄ハ一燈ニ付 金二圓五十錢
十一燈ヨリ三十燈迄ハ一燈ヲ増ス毎ニ金一圓八十錢ヲ加フ	三十一燈以上ハ一燈ヲ増ス毎ニ金一圓二十錢ヲ加フ	一燈用具交換費
電燈球 三十二個光	一箇ニ付 金五十錢	電燈球 三十二個光 一箇ニ付 金五十錢
同 五十個光	同 金一圓	同 五十個光 同 金一圓

相當費用標準額

一組線延長費

絹一尺ニ付 金五錢

絹一尺ニ付 金三錢五厘

一屋外電燈取付費(取除費ハ取付費ト同額)

○關東都督府告示第五十四號(官報八月二十七日)

蓋平地方ニ「ベスト」發生シ蔓延ノ虞アルニ付同地附近ニ於テ必要ト認ムル地方ニ明治四十年八月府令第四十五號ヲ施行ス

明治四十年八月十四日

關東都督府大島義昌

○關東都督府告示第五十五號(官報八月二十七日)

明治四十年三月告示第二十號關東州公學堂ノ名稱及位置中左ノ通追加シ明治四十年九月一日ヨリ授業ヲ開始ス

明治四十年八月十六日

關東都督府大島義昌

名 稱

位 置

名 稱

位 置

小平島公學堂

小平島

鏡子宮公學堂

鏡子宮

○關東都督府告示第五十六號(官報八月二十七日)

明治四十年七月勅令第二百六十一號ニ依リ經費ノ渡切ヲ爲スヘキ警察官員若ハ警察官吏派出所駐在所及出張所トシ共ノ渡切ニ屬スル經費ノ細目ハ薪炭油雜品及雜役人夫賃トス

明治四十年八月十六日

關東都督府大島義昌

○外務省告示第二十號

九月十二日在滿洲斯德帝國貿易事務館ヲ閉鎖シ同日帝國領事館ヲ開設セリ
明治四十年九月二十三日 外務大臣伯爵林董

○内務省告示第九十七號

郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中愛媛縣欄内西條警察署ノ部在ノ通り改メ同縣欄内ニ角野警察署ノ部ヲ加ヘ明治四十年九月十日ヨリ施行ス
明治四十年九月三日 内務大臣原敬

署名	管轄	區	地
西條警察署	新居郡ノ内 村加茂村大保木村	西條町、玉津村、大生院村、飯岡村、大町村、神戶村、橋村、式見村、加茂村、大保木村	
角野警察署	新居郡ノ内 宇原郡ノ内 越智郡ノ内	角野村、新居原村、金子村、高津村、垣生村、神戶村、多喜濱村、大島村、舟木村、泉川村、中萩村、別子山村、宮原村、大字、友浦ノ内、松島、明神島、家島、美濃島、真島(五島ヲ合セ四坂島ト通稱ス)	

○内務省告示第九十八號
明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス
明治四十年九月四日 内務大臣原敬

郡名	村名	大字名	小字名	同	同	同	同
福井縣	敦賀	愛發	杉	笠	大	鹿	同
							角
							野
							谷
							立

○内務省告示第九十九號

明治三十六年内務省告示第五十九號爆發物貯庫規程中左ノ通り改正シ明治四十年九月十五日ヨリ施行ス

明治四十年九月九日

内務大臣原敬

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ
輸入手續済ノモノニアラスト雖モ特ニ税關ヨリ假庫入ヲ承認セラレタルモノハ之カ貯藏ノ許可
スルコトヲ得

第二條輸入免狀ノ下ニ又ハ假庫入ヲ承認シタルノ證ノ十三字ヲ加フ

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ
第一條第二項ニ依リ貯藏ノ許可ヲ得タルモノニ在リテハ前二項引取ノ場合ニ於テ税關ヨリ庫出
ヲ承認シタルノ證ヲ添付スヘシ

〔參照〕

内務省告示第五十九號爆發物貯庫規程(明治三十六年九月二十三日抄録)
第二條 火藥類ノ貯藏ヲ請ハントスル者ハ別紙様式ノ貯藏願ニ檢入免狀ヲ添ヘ本庫事務所ニ提出スヘシ但輸入免狀ハ一覽
後之ヲ返付ス

○内務省告示第百號

- 一 美人讀文 一種一枚
- 一 はなみさき 一種一枚
- 一 村井菘齋作飛來太郎 一種一枚

以上三種トモ表面ハ題名ノ如キ繪畫ニシテ其裏面ニ紙幣ノ一部ニ紛ハシト圖畫アリ
東京市淺草區七軒町 公文堂 發行

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十年九月七日發
賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

明治四十年九月九日

内務大臣原敬

○内務省告示第百一號

明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス
明治四十年九月十四日 内務大臣原敬

郡名	村名	大字名	小字名	地番	同	同	同	七番ノ一
福井縣	敬賀	中郷	越原	飯ヶ谷	一番	同	同	同

○内務省告示第百二號

- 一 華月帖 一折
 - 一 肉布圖 一部四册
 - 一 夢んぼく 一組十二枚
 - 一 春情多し繪 一組十二枚
 - 一 有明の月 同
 - 一 江戸錦 同
 - 一 淺草土産 上下二册
- 神田區仲町二丁目六番地 武田傳右衛門 發行
日本橋區越前堀町一ノ一〇 白鳥新之助 發行

以上發行者未詳

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十年九月十八日發賣
頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

明治四十年九月十九日

内務大臣原敬

○内務省告示第百三號

明治三十三年勅令第九十七號ニ依リ明治四十年九月二十三日ヨリ左ノ各縣ニ検査官ノ設置ヲ指定ス

愛知縣 靜岡縣 福井縣

○内務省告示第百四號

内務大臣原敬

一明治四十一年九星早見 全一册

大蔵市心齋橋筋 博労町五番地 龍野廣中 發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

内務大臣原敬

明治四十年九月三十日

○大藏省告示第百四十七號

明治四十年十月一日ヨリ同月三十一日マテ稅關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表

左ノ通之ヲ定ム

但本表所持ノ外國貨幣ト日本金貨トノ比較ハ從前ノ通

大蔵大臣法學博士阪谷芳郎

明治四十年九月二日

内外貨幣比較表

外 國 貨 幣	日 本 金 貨
清 國 兩	上海一兩
	天津一兩
	漢口一兩
暹 羅 幣	一ドル
	一ニル
	一〇九九

英 吉 利 幣 銀	一ドル	一〇九八
香 港 幣 銀	一ドル	一〇九八
英 領 印 度 貨	一ルピー	六五七
暹 羅 貨	一ナカル	七二九

○大藏省告示第百四十八號

東京稅務監督局管内品川稅務署ヲ明治四十年九月三日東京府荏原郡品川町北品川宿十八番地へ移ス

大蔵大臣法學博士阪谷芳郎

明治四十年九月二日

○大藏省告示第百四十九號

明治四十年發行

一大日本帝國政府五分利公債證書額面貳百參拾八萬千五拾圓

但發行價格證書額面百圓ニ付金九拾五圓

右鐵道國有法第十五條ニ依リ明治四十年八月三十一日之ヲ發行セリ

明治四十年九月二日

大蔵大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省告示第百五十號

京都稅務監督局管内福知山稅務署ヲ明治四十年九月一日京都府天田郡福知山町字内記七十三番戶へ移ス

明治四十年九月四日

大蔵大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省告示第百五十一號

製造煙草定價左ノ通り相定ム

明治四十年九月四日

大蔵大臣法學博士阪谷芳郎

種類及製造所	名	額	一包裝 ノ数量	定額 對本位
紙巻煙草、埃及、カウサナム Cigarettes - Caralinnasis, Egypt.	キヤンバー M.C.C. 金口(gold tip)		百本入	10000
同上	キヤンバー M.C.C. シャン口(cork tip)		百本入	10000
紙巻煙草、埃及、メヌソフイ Cigarettes - Sclannu, Egypt.	キヤンバー Imperial 金口(gold tip)		百本入	10000
同上	キヤンバー Imperial シャン口(cork tip)		百本入	10000
紙巻煙草、埃及、ノヤナ、シヤ Cigarettes - Fromante, Egypt.	キヤンバー Togo		十本入	10000
葉巻煙草、ハンナ、ノヤナ、カク Cigars - Paratagos, Hahana.	キヤンバー P. Bismark		二十五本入	10000
同上	キヤンバー P. Invencibles		二十五本入	10000
同上	キヤンバー P. Heliotropos		二十五本入	10000
同上	キヤンバー P. Perfectos		二十五本入	10000
同上	キヤンバー P. Pure Gold		二十五本入	10000
同上	キヤンバー P. Double Amateur		二十五本入	10000
葉巻煙草、ハンナ、ノヤナ、カク Cigars - African Pino Villamity, Hahana.	キヤンバー Invencibles		二十五本入	10000
同上	キヤンバー Double Amateur		二十五本入	10000

○大藏省告示第五百五十二號
丸龜稅務監督局管内今治稅務署ヲ明治四十年九月十五日愛媛縣越智郡今治町大字風早町九十九番
戸へ移ス
明治四十年九月六日
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省告示第五百五十三號
明治四十年八月三日勅令第二百九十一號第二項ニ依ル株券ノ價格ハ市場ニ於ケル前月中ノ平均價格
ヨリ其ノ十分ノ二ヲ控除シテ計算シタルモノトス
明治四十年九月六日
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省告示第五百五十四號
尾道鹽務局管内竹原出張所ヲ明治四十年九月九日廣島縣賀茂郡竹原町字大石戊千三番地ノ一へ移ス
明治四十年九月十三日
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省告示第五百五十五號
明治三十八年十一月十一日大藏省告示第五百五十七號消滅ニ係ル國庫債券中消滅届取消ノ申出アリタルモノ
左ノ如シ
明治四十年九月十四日
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省告示第五百五十六號
大阪煙草販賣所ヲ明治四十年九月十一日ヨリ大阪市西區幸町一丁目九番地へ移ス
明治四十年九月十七日
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省告示第五百五十七號
明治三十二年法律第八十四號家祿賞典祿處分法施行法ニ依リ發行スル大日本帝國政府五分利公債
證書ノ内本年八月中日本銀行ニ交付シタルモノノ左ノ如シ
明治四十年九月十八日
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

額面金額	枚數	發行年	記號	番號	附屬利札
貳拾五圓	一	明治三十七年	ハ	四五三一	明治三十八年六月渡以降

明治四十年九月 告示 大藏省第五百五十三號 第五百五十四號 第五百五十五號 第五百五十六號 第五百五十七號 一五二一

明治三十八年發行

一大日本帝國政府五分利公債證書額面百圓
但明治三十九年三月渡以降利札附屬

○大藏省告示第五百五十八號
東京稅務監督局管內板橋稅務署ヲ明治四十年九月二十二日東京府北豐島郡板橋町大字下板橋二千九十番地へ移ス

明治四十年九月十九日

○大藏省告示第五百五十九號

紛失ニ因リ效力ヲ失ヒタル記名國債證券左ノ如シ

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

明治四十年九月二十一日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

證券種別	額面金額	記號	番號	附屬利札	代證券交付年月日	記名者
整理公債證書	五百圓	一	四三三	明治四十年六月六日	同	音助
同	同	同	四五五	同	同	上
同	同	同	一五九八	明治三十六年十二月以降	明治四十年八月十六日	音助
同	同	同	三三〇七	明治三十五年十二月以降	明治四十年七月三十日	音助
軍事公債證書	同	同	三三〇七	同	同	音助
						木村 佐七

○大藏省告示第六十號

明治十七年九月第二十四號布告大藏省證券條例ニ依リ割引ノ方法ヲ以テ本月二十五日大藏省證券ヲ發行セリ其發行額仕拂期日額面金額種類枚數記號及番號左ノ如シ

明治四十年九月二十六日

大藏大臣法學博士男爵阪谷芳郎

一大藏省證券額面五百萬圓 此證券七百七十枚

仕拂期日 明治四十年十二月二十一日

內

拾萬圓券 拾號 自貳拾參番 二十枚

壹萬圓券 拾號 自四拾參番 二百五十枚

千圓券 拾號 自參六〇〇番 五百枚

○大藏省告示第六十一號

全額拂込済ニ係ル國庫假借券ニシテ紛失シタルモノノ額面金額種類枚數記號及番號等左ノ如シ

大藏大臣法學博士男爵阪谷芳郎

明治四十年九月二十七日

額面金額	枚數	記號	番號	額面金額	記名者
貳拾五圓	一	五	一四〇五	第八期	取非 幸右衛門
同	同	同	三三八〇六	同	伊 藤 菊 藏

○大藏省告示第六十二號

明治十七年九月第二十四號布告大藏省證券條例及明治三十八年法律第十七號ニ依リ割引ノ方法ヲ以テ本月二十七日大藏省證券ヲ發行セリ其發行額仕拂期日額面金額種類枚數記號及番號左ノ如シ

明治四十年九月二十八日

大藏大臣法學博士男爵阪谷芳郎

一大藏省證券額面千五百萬圓 此證券千五十枚

但明治十七年第二十四號布告ニ依ル分

任拂期日 明治四十年十二月二十一日

拾萬圓券 拾號 自貳番壹番 五十枚
壹萬圓券 拾號 自貳番八〇番 千枚
一大藏省證券額面百萬圓 此證券千枚
但明治三十八年法律第十七號ニ依ル分
仕拂期日 明治四十年十二月二十一日

千圓券 拾號 自貳番〇番 千枚
○大藏省告示第六十三號

札幌稅務監督局管内釧路稅務署ヲ明治四十年十月一日北海道釧路郡釧路町大字米町十二番地へ移ス

明治四十年九月二十八日 大藏大臣法學博士男齋阪谷芳郎

○大藏省告示第六十四號 專賣局門司販賣所へ明治四十年十月一日ヨリ福岡縣門司市內濱町一丁目三千百五番地ノ五ニ於テ事務ヲ取扱フ

明治四十年九月三十日 大藏大臣法學博士男齋阪谷芳郎

○陸軍省告示第十九號 明治二十四年十月陸軍省告示第九號附表由良ノ欄ニ左ノ通追加ス

明治四十年九月三日 陸軍大臣寺內正毅

事項	區	城
同第七條第二項區域 中邊郡新島郡	和歌山縣紀伊國海草郡 和歌山市和歌浦町、淡村、雜賀村、雜賀村宮前村、岡村、鳴神村、四國村、宮村、中ノ島村、西和佐村	

〔參照〕

明治三十四年十月十日 陸軍省告示第九號ハ各要港地ニ於ケル禁止制限解除ノ事項及其區域ナリ

○陸軍省告示第二十號 本年陸軍省告示第十號臨時陸軍建築部支部出張所廣島支部ノ部ニ左ノ通追加ス

明治四十年九月十六日 陸軍大臣寺內正毅

○陸軍省告示第二十一號 陸軍管區表ニ依リ各聯隊區司令部、對馬警備隊司令部、沖繩警備隊司令部左記ノ位置ニ於テ十月一日ヨリ事務ヲ開始ス

聯隊區司令部	對馬警備隊司令部	沖繩警備隊司令部
明治四十年九月十八日 陸軍大臣寺內正毅 東京市赤坂區赤山町前 神奈川縣橫濱市南太田町 東京市本郷區廣砂町 千葉縣印旛郡佐倉町 鹿島縣福島市早稻町 同右 宮城縣仙台市二十八町 山形縣山形市香澄町 愛知縣名古屋市南外堀町 同右	岐阜縣岐阜市 津島縣津島市 大府縣大府市 富山縣富山市 石川縣金澤市 同右 和歌山縣和歌山市 廣島縣廣島市 山口縣山口市 山口縣下關市	陸軍大臣寺內正毅 岐阜縣岐阜市 三岐縣津市 大府縣大府市 同右 同右 和歌山縣和歌山市 廣島縣廣島市 山口縣山口市 山口縣下關市

(一) 士官候補生、主計候補生ヲ志願シ得ヘキ者

中學校、學習院中等科、高等學校、專門學校、本科(音樂及美術ニ關スル學術技藝)、實業專門學校、本科卒業者及明治四十一年七月十日迄ニ以上ノ諸學校ヲ卒業スヘキ者

一年志願兵ニシテ隊長ノ保證ヲ得タル者

陸軍現役各兵科主計候補生志願者ニ在リテハ陸軍現役經理部ニ在下士中品行方正志操確實ノ者ニシテ隊長又ハ所屬長官ノ保證ヲ得タル者

(三) 採用セサル者

妻アル者

木入竝父若ハ戸主家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ未タ復權ヲ得サル者及身代限ノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者

禁錮ノ刑ニ處セラレタル者及賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者

素行修ラサル者

(二) 召募試験學科程度

士官候補生、主計候補生志願者

中學校卒業ノ程度ニ於テ行フ但シ外國語ハ英、佛、獨、露ノ内志願者ノ選擇スルモノ一種ヲ試驗ス

中央幼年學校、學校生徒志願者

中學校第一學年終業ノ程度ニ於テ行フ其ノ試験格左ノ如シ

讀書 漢字交リ文ノ講讀
作文 漢字交リ文書翰文

算術 複比例迄
地理、歴史 日本ノ地理、歴史ノ大要

三 検査及試験期日

身體検査 學科試験期日前ニ之ヲ行フ其ノ時日ハ師團長ノ達ニヨリ承知スヘシ

學科試験

士官候補生、主計候補生志願者 明治四十一年四月十一日開始

中央幼年學校、學校生徒志願者 明治四十一年四月十六日開始

四 願書ヲ差出スヘキ期日並注意

士官候補生、主計候補生志願者

陸軍部外ノ志願者ハ明治四十一年十一月三十日迄ニ居住地ノ市町村長(陸軍召募規則第十八條ニ依リ之ニ準スヘキ者ヲ含ム)ニ差出スヘシ

陸軍部内ノ志願者ハ明治四十一年十二月十日迄ニ所屬部隊長ニ差出スヘシ

中央幼年學校、學校生徒志願者

明治四十一年十一月三十日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出スヘシ但シ本籍地召募區域外ニ居住シ本籍地召募區ノ幼年學校ニ入學セントスル者ハ願書共ノ他ノ書類ヲ本籍地ノ市町村長ニ差出スヘシ尙其ノ検査ヲ居住地地方ニ於テ受ケントスルトキハ願書ニ共ノ旨ヲ記載スヘシ

五 願書並之ニ添附スヘキ書類

士官候補生、主計候補生志願者

陸軍部外ノ志願者ハ父兄親族共ノ他一家ヲ爲ス身元確實ノ者二名ヲ以テ保證人ト爲シ願書

ニ戸籍ノ謄本、履歷書及學校長ノ證明書(陸軍召募規則ヲ添附スヘシ)士官候補生志願者ニシテ入隊スヘキ隊長ノ承認書(陸軍召募規則ヲ請ケタル)陸軍部内ノ志願者ハ身元保證人ヲ要セス願書ニ戸籍ノ謄本及履

歷書ヲ添附スヘシ(隊長ノ承認書ヨリ士官候補生ヲ志願スル者ニシテ入隊スヘキ)願書ニ添附スルヲ要ス)

中央幼年學校豫科生徒志願者

父兄親族其ノ他家ヲ爲ス身元確實ノ者一名ヲ以テ保証人ト爲シ願書ニ戶籍ノ謄本及履歷書ヲ添附スヘシ

又任官後十五年以上隊附職務ニ精勤セシ陸軍下士ノ兒子又ハ家督相續者タル養子ナルトキハ其ノ父滿期歸郷又ハ死歿ノ際軍隊官衙學校ノ長官ヨリ附與セラレタル勸務證明書寫ヲ添附スルヲ要ス

六 検査場検査場ノ選定及變更

左ノ各地ニ検査場ヲ設ク

- 第一師管 東京 横須賀 高崎 長野 佐倉 水戸 宇都宮
 - 第二師管 仙臺 福島 新發田 柏崎
 - 第三師管 名古屋 津 豊橋 静岡
 - 第四師管 大阪 和歌山 伏見 大津
 - 第五師管 廣島 尾道 山口 濱田
 - 第六師管 熊本 久留米 鹿兒島 宮崎 沖繩
 - 第七師管 札幌 函館 旭川
 - 第八師管 弘前 盛岡 秋田 山形
 - 第九師管 金澤 富山 鯖江 岐阜
 - 第十師管 姫路 岡山 福知山 鳥取
 - 第十一師管 善通寺 松山 高知 徳島
 - 第十二師管 小倉 大分 福岡 大村 鍋知
- 尙臺灣樺太清國及韓國所在諸部隊ニアリテ士官候補生、主計候補生ヲ志願スルモノノ爲ニ左ノ

各地ニ検査場ヲ設ク

- 臺灣 臺北 臺南
 - 樺太 コルサコン
 - 清國 遼陽 旅順 北京 天津 山海關
 - 韓國 京城 平壤 咸興
- 陸軍部外ノ士官候補生、主計候補生志願者並中央幼年學校豫科生徒及地方幼年學校生徒志願者ハ右ノ検査場中ニ就テ便宜選定スヘシ但シ居住地所在師管外ノ検査場ヲ選定スルヲ得ス
志願者中願書ヲ差出シタル後住所ヲ轉シタル爲検査場ノ變更ヲ望ム者ハ新検査場及新住所ヲ明記シタル願書 本籍府縣族譜職業生年ヲ以テ最初願出ノ手續ニ依リ願出ヘシ
- 七 冀望隊及入校學校
- 士官候補生志願者ハ成ルヘク其ノ冀望ノ軍隊ニ配賦スヘシト雖人員ノ關係上時トシテ他ノ軍隊ニ配賦セラレルトアルヘシ
- 中央幼年學校豫科生徒及地方幼年學校生徒志願者ハ其ノ召集區域ノ學校ニ入學セシムヘキモノナリト雖合格人員過不足ノ關係ニヨリ他校ニ入學セシムルトアルヘシ
- 士官候補生ヲ入隊セシムヘキ兵種隊號左ノ如シ
- 步兵 近衛歩兵第一乃至第四聯隊及歩兵第一乃至第七十二聯隊
 - 騎兵 近衛騎兵聯隊及騎兵第一乃至第二十二聯隊
 - 野砲兵 近衛野砲兵聯隊及野砲兵第一乃至第二十四聯隊
 - 重砲兵 第一乃至第六聯隊
 - 工兵 鐵道聯隊及近衛工兵大隊、工兵第一乃至第十八大隊
 - 輜重兵 近衛輜重兵大隊及輜重兵第一乃至第十八大隊

中央幼年學校豫科生徒、地方幼年學校生徒ノ召募區域左ノ如シ

- 第一師管内居住ノ者ハ 中央幼年學校
- 第二第七及第八師管内居住ノ者ハ 仙臺地方幼年學校
- 第三及第九師管内居住ノ者ハ 名古屋地方幼年學校
- 第四及第十師管内居住ノ者ハ 大阪地方幼年學校
- 第五及第十一師管内居住ノ者ハ 廣島地方幼年學校
- 第六及第十二師管内居住ノ者ハ 熊本地方幼年學校

八 志願者異動届

志願者願書ヲ差出シタル後入隊又ハ入校迄ノ間ニ於テ轉籍、轉住、氏名變更、犯罪、死亡、其ノ他願書類ニ記載ノ事項及身元保証人ニ異動ヲ生スルトキハ本人又ハ身元保証人ヨリ最初願出ノ手續ニ依リ速ニ届出ヘシ

九 志願者宿所届

志願者ハ検査期日前検査場ニ到着シ書面ヲ以テ其ノ止宿所ヲ師團長ノ指定スル場所ニ届出ヘシ届出ハ検査開始前ニ到着セサル等ノコト但シ検査地ニ居住ノ者ト雖陸軍部外ノ志願者ニ在リテハ同様届出ヘシ

十 志願者ノ服装

身元検査及學科試験ヲ受クル爲出場スルトキハ洋服ヲ着用スルカ又ハ和服ニ袴ヲ穿フヘシ

十一 志願者ノ寫眞

志願者ハ新ニ撮影シタル寫眞ヲ携帯シ身元検査ノ際之ヲ検査醫官ニ差出スヘシ其ノ寫眞ハ手札形紙寫ニ限リ見苦シカラサル服装ヲ爲シ單身脱帽ニテ撮影シタルモノナルヲ要ス而シテ其ノ裏面ニ某府(縣)華族(士族平民)何某ト自書スヘシ

十二 事故届出

疾病者ハ已ムヲ得サル事故ヲ生シ検査場ニ出頭シ雖キトキハ事由ヲ具シ届出ヘシ但シ學科試験ノ際運刻者ハ関係スル者ハ試験ヲ停止ス

十三 願書並履歷書式

士官候補生(主計候補生)願(用紙裏漢白紙)

士官候補生(主計候補生)志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則應重ニ相守リ醫ヲ陸軍ニ從事可仕候仍テ月給ノ課本服
 履歷書(明治四十年九月)出願ノ年(明治四十年)出身ノ年(明治四十年)出身ノ地()出身ノ階級()出身ノ職名()出身ノ階級()出身ノ職名()
 相添(身元保証人)進界此段奉願候也

府(縣)部(市)町(村)番地住
 府(縣)部(市)町(村)番地寄附

府縣族種職業(官職名等以下之ニ同シ)
 月主()
 氏 名 印
 身元保証人
 府縣族種職業
 府(縣)部(市)町(村)番地住(寄附)
 氏 名 印
 氏 名 印
 年 月 日 生

何師團長(主計候補生志願者ニ在)氏名殿
 追テ左ノ通譯蒙致候也

受取外國語
 英(獨)(佛)(露)語
 何地

要望兵種隊(士官候補生) 第一何兵何隊(入隊スハキ隊長ヲ兼テスル)

陸軍部内ノ志願者ニ在リテハ本書式ニ準シ調製スヘシ

陸軍中央幼年學校豫科(陸軍地方幼年學校)生徒願(用紙美濃白紙)

中央幼年學校豫科(地方幼年學校)生徒志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ卒業ノ上中央幼年學校本科生徒被命候節ハ警テ陸軍ニ從事可仕ハ勿論入校中ノ費用ハ御規定ノ通可相納候仍テ戸籍ノ謄本 履歷書相添ヘ身元保證人選當地段奉願候也

年 月 日

府(縣)郡(市)町(村)番地住

府縣族籍職業
身元保證人
府(縣)郡(市)町(村)番地住(寄留)

氏 名印

年 月 日

府(縣)郡(市)町(村)番地住(寄留)
氏 名印

氏 名印

中央(何地方)幼年學校校長氏名殿

追テ左ノ通覽致候也

入校要望ハ御校ノ外第一中央(何地方)幼年學校、第二中央(何地方)幼年學校、第三中央(何地方)幼年學校ニ有之候

受驗場

入校後ノ外國語學

佛獨(露)語

志願者ニシテ陸軍下士以上及海軍將校ノ養子ナルトキハ本人氏名ノ肩書ニ養子又ハ家督相續者タル養子ト明記スヘシ

履歷書(用紙美濃白紙)

一何年月日何學校へ入學何年月日同校卒業

一何年月日何學校何年學級ヨリ何學校何年學級ニ入學何年月日同校卒業

一何年月日何所ニ於テ何々研究

一何年月日何々ニ從事ス

一何年月日何々ニ依リ賞(罰)等

(右ノ例ニ依リ履歷ニ關スル事項ハ悉ク記載スヘシ)

右ノ通覽無之候也

本人 氏 名印
身元保證人 氏 名印
同 氏 名印

○陸軍省告示第二十三號

本年勅令第二十九十一號ニ依リ國債證券ニ代用スル株券ノ價格ハ各地方ニ於ケル前月止交通關係上ノ平均市場價格ノ十分ノ八ノ額トス但シ取引所ナキ地方ニ在リテハ最近取引所ニ於ケル取引價格ニ依ル

明治四十年九月二十五日

陸軍大臣子爵寺內正毅

○海軍省告示第九號

海軍少軍醫及海軍少軍醫候補生二十名採用候條醫師免許證若ハ醫術開業免狀ヲ有シ本年十二月ニ於テ年齡滿二十年以上少軍醫ニ在リテハ三十二年未滿明治九年一月ヨリ同二少軍醫候補生ニ在リテハ二十八年未滿明治十三年一月ヨリ同ニシテ出身志願ノ者ハ海軍高等武官補充條例並ニ明治四十年七月海軍省令第九號ニ依リ受驗ノ場所ヲ添記シ本年十一月十五日迄ニ海軍省人事局長ニ出願スヘシ採用身體検査及學術試驗ハ本年十一月二十五日ヨリ左ノ場所ニ於テ開始ス

明治四十年九月 告示 陸軍省第二十三號 海軍省第九號

東京 築地海軍大學校構内海軍軍醫學校
吳 吳海軍病院
佐世保 佐世保海軍病院

海軍高等武官補充條例並明治四十年七月海軍省令第九號採用規則ヲ要スル者ハ口頭又ハ書面ヲ以テ海軍省人事局ニ申出ヘシ

明治四十年九月十日

海軍大臣齋藤實

○海軍省告示第十號

海軍少醫劑士二名採用條條例師免狀ヲ有シ本年十二月ニ於テ年齡滿二十年以上三十五年未滿
明治六年一月ヨリ同ニニシテ出身志願ノ者ハ海軍高等武官補充條例並明治四十年七月海軍省令第九號ニ依リ本年十一月十五日迄ニ海軍省人事局長ニ出願スヘシ
海軍高等武官補充條例並明治四十年七月海軍省令第九號採用規則ヲ要スル者ハ口頭又ハ書面ヲ以テ海軍省人事局ニ申出ヘシ

明治四十年九月十日

海軍大臣齋藤實

○海軍省告示第十一號

海軍少主計候補生二十五名採用條本年十二月ニ於テ年齡二十年以上二十八年未滿
明治十三年一月ヨリニシテ出身志願ノ者ハ海軍高等武官補充條例並本年七月海軍省令第十號ニ依リ本年十一月十五日迄ニ海軍省人事局長ニ出願スヘシ
身體検査及學術試験ハ本年十二月一日ヨリ築地海軍大學校構内海軍經理學校内ニ於テ開始ス
海軍高等武官補充條例並本年七月海軍省令第十號採用規則ヲ要スル者ハ口頭又ハ書面ヲ以テ海軍省人事局ニ申出ヘシ

明治四十年九月三十日

海軍大臣野齋藤實

○司法省告示第五十二號

宮城縣本吉郡志津川町役場本年六月十一日火災ニ罹リ戸籍簿、身分登記簿、後見人名簿其他役場ニ保存セル書類焼失シタルニ付キ左ノ各號ニ該當スル者ハ明治四十年十二月三日マテニ更ニ同町戸籍吏ニ届出ヲ爲シ又ハ書類ノ送付ヲ爲スヘシ

但届出ヲ爲スニ付キ詳細ナル手續ハ同町戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ

第一 明治三十一年七月十六日ヨリ本年六月十日マテノ間ニ於テ同町戸籍吏ニ戸籍ニ關スル届出ヲ爲シ又ハ書類ノ副本ノ送付ヲ爲シタル者

第二 本年五月一日ヨリ六月十日マテノ間ニ於テ同町戸籍吏ニ身分ニ關スル届出、届書ノ送付、報告請求申請等ヲ爲シタル者

第三 本年五月一日ヨリ六月十日マテノ間ニ於テ同町戸籍吏ニ入籍通知ヲ爲シタル者

第四 戸籍法施行前同町役場ニ後見ニ關スル届出ヲ爲シタル者

前各號中第一號ノ戸籍ニ關スル届書ノ副本及第二號ノ身分ニ關スル届書ノ正本又ハ副本ハ戸籍吏戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ保存スルモノニ就キ之ヲ謄寫シテ送付スヘク第四號ノ届書ハ戸籍法施行前ノ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ差出スヘシ

明治四十年九月四日

司法大臣松田正久

○司法省告示第五十三號

宮城縣本吉郡志津川町役場本年六月十一日火災ニ罹リ出入寄留簿焼失シタルニ付キ現ニ同町ニ寄留スル者又ハ同町ヨリ他へ出寄留中ノ者ハ本年十二月三日マテニ明治十九年内務省令第十九號中寄留者届出方ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同町長ニ届出ツヘシ

明治四十年九月四日

司法大臣松田正久

○司法省告示第五十四號

福山區裁判所廳舎改築工事中本年八月二十四日渡島國松前郡福山町大字松城町十六番地附屬第一號官舎ノ假廳舎ニ移轉セリ

明治四十年九月十四日

司法大臣松田正久

○司法省告示第五十五號

長野地方裁判所管内長野區裁判所ニ備ヘアリシ明治三十二年一月ヨリ同年六月十五日マテノ相續登記願書繰込帳一册滅失シタリ

明治四十年九月十九日

司法大臣松田正久

○文部省告示第二百二十八號

第一回美術展覽會事務所ハ當分ノ中之ヲ文部省專門學務局内ニ置ク

明治四十年九月四日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第二百二十九號

滋賀縣野洲郡河西村ニ設置セル私立彫塑學館廢止ノ件認可セリ

明治四十年九月五日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第二百三十號

新潟縣西頸城郡糸魚川町ニ徒弟學校規程ニ依リ郡立西頸城女子職業學校ヲ設置シ明治四十年九月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年九月五日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第二百三十一號

私立有野圖書館ヲ兵庫縣有馬郡有野村ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ

明治四十年九月六日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第二百三十二號

私立明石圖書館ヲ兵庫縣明石郡明石町ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ

明治四十年九月六日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第二百三十三號

韓國ニ於ケル居留民國ノ設置セル學校中其ノ生徒 兒童及卒業者ノ他ノ學校へ入學轉學等ニ關シ

明治三十二年勅令第三十一號高等女學校令ニ依リ設置シタル府縣立高等女學校同三十二年勅令第三百四十四號小學校令ニ依リテ設置シタル市町村立小學校ト同等ト認メタルモノ左ノ如シ

明治四十年九月六日

文部大臣牧野伸顯

釜山居留民國立釜山高等女學校

釜山高等小學校

釜山尋常小學校

同 草梁尋常小學校

同 木浦居留民國立木浦尋常高等小學校

同 鎮南浦居留民國立鎮南浦尋常高等小學校

○文部省告示第二百三十四號

本年八月二十四日以降施行ノ師範學校中學校高等女學校教員檢定試驗ノ豫備試驗受験者ニシテ水害ノ爲試驗ニ出席シ能ハサリシ者ニ對シテハ其ノ出席シ能ハサリシ事山ヲ具シ(相當官公署ノ附得ル者ハ之ヲ添)

地方廳ヲ經由シ本月二十日マテニ當省ニ申出テタル者ニ限リ別ニ出願ヲ要セス

シテ明治四十一年度施行ノ當該試驗ヲ受クルコトヲ得シム但シ本文申出ニシテ期日マテニ當省ニ到達セサルトキハ之ヲ受理セス

明治四十年九月六日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第二百三十五號

德島縣麻植郡桑川村ニ設置セル德島縣麻植郡立蠶桑學校ノ位置ヲ同縣同郡學島村ニ變更ノ件認可

明治四十年九月 告示 文部省第三百三十三號 第三百三十四號 第三百三十五號 一五三九

明治四十年九月九日
○文部省告示第二百三十六號

大阪府南區馬淵町ニ設置セル大阪府立今宮中學校ノ位置ヲ同區馬淵町及宮津町ニ變更ノ件認可セリ

明治四十年九月十日
○文部省告示第二百三十七號

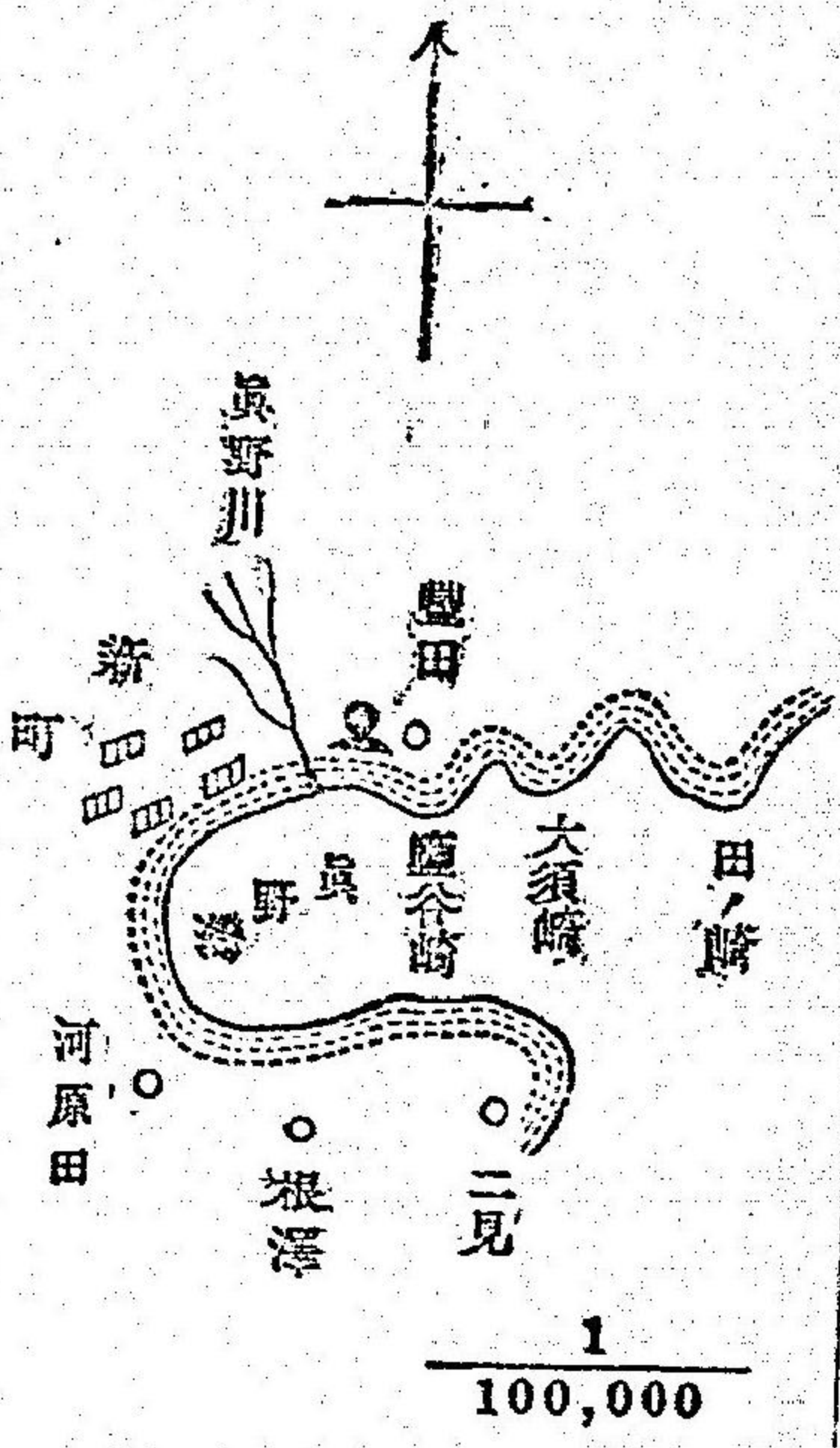
師範學校中學校高等女學校教員檢定出願者ニシテ軍役若ハ之ニ關スル職務ニ服スル爲試驗ヲ受ルコトヲ得サル者ノ試驗延期ニ關スル明治三十七年文部省告示第八十六號ハ之ヲ廢止ス但シ該規程ニ抵触セサル限り猶其ノ效力ヲ有セシム

明治四十年九月十日
○文部省告示第二百三十八號

滋賀縣女子師範學校開校年月日ヲ明治四十一年四月一日ニ變更シ假ニ現在ノ校舍ニ於テ開校ノ件認可セリ

明治四十年九月十二日
○文部省告示第二百三十九號

新潟縣知事ハ同縣佐渡郡真野村大字豐田ニ正式警報信號標ヲ設置シ本月十八日ヨリ實施ノ旨報告セリ



○文部省告示第二百四十號
東京府東京市神田區三崎町二丁目ニ專門學校令ニ依リ私立東京齒科醫學專門學校ヲ設置シ明治四十年九月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年九月十三日
○文部省告示第二百四十一號

熊本縣天草郡牛深町ニ設置セル縣立正式警報信號標ハ破損ノ爲修繕中揚卸ヲ中止ノ旨報告セリ

明治四十年九月十三日
○文部省告示第二百四十二號

福岡縣筑紫郡住吉村福岡測候所構内ニ設置セル縣立正式警報信號標ハ破損ノ爲修繕中揚卸ヲ中止ノ旨報告セリ

明治四十年九月 告示 文部省第二百四十四號 第三百四十四號 第三百四十五號 第三百四十六號 第三百四十七號 第三百四十八號 第三百四十九號 第五百四十一號 第五百四十二號

○文部省告示第二百四十三號

明治四十年九月二十六日ヨリ第一回美術展覽會事務所ヲ東京市上野公園内同會場ニ移轉ス
文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第二百四十四號

私立東洋高等女學校ヲ東京府東京市小石川區小石川丸山町ニ設置シ明治四十年九月ヨリ開校ノ件
認可セリ
文部大臣牧野伸顯

明治四十年九月二十一日

○文部省告示第二百四十五號

私立奎文高等女學校ヲ東京府東京市牛込區市ヶ谷河田町ニ設置シ明治四十年九月ヨリ開校ノ件
認可セリ
文部大臣牧野伸顯

明治四十年九月二十一日

○文部省告示第二百四十六號

私立勝山高等女學校ヲ愛媛縣松山市ニ設置シ明治四十年九月ヨリ開校ノ件認可セリ
文部大臣牧野伸顯

明治四十年九月二十一日

○文部省告示第二百四十七號

私立姫路高等女學校ヲ兵庫縣姫路市ニ設置シ明治四十年九月ヨリ開設ノ件認可セリ
文部大臣牧野伸顯

明治四十年九月二十一日

○文部省告示第二百四十八號

明治四十年文部省令第二十八號公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條第三號ニ依リ指定
スルコト左ノ如シ
文部大臣牧野伸顯

明治四十年九月二十一日

一 實業學校ノ教員タルコトヲ得ル者左ノ如シ

帝國大學分科大學選科修了者

官立公立實業專門學校本科卒業業者

東京高等工業學校本科卒業業者 但シ明治三十六年四月以前ノ卒業者トス

元東京工業學校本科卒業業者

元東京職工學校本科卒業業者

元東京高等工業學校附設工業教員養成所本科卒業業者

元東京工業學校機械工藝部特別生ノ課程修了者

元大阪高等工業學校卒業業者 但シ明治三十六年四月以前ノ卒業者トス

元大阪工業學校卒業業者

東京帝國大學農科大學實科卒業業者

東京帝國大學農科大學附屬農業教員養成所卒業業者 但シ明治四十年三月以前ノ卒業者ニ在リテ
席次ヲ有スル者ニ限ル

東北帝國大學農科大學實科 土木工學科 林學科 水産學科卒業業者

元札幌農學校土木工學科卒業業者 但シ明治三十六年四月以前ノ卒業者トス

元札幌農學校森林科卒業業者

農商務省所管蠶業講習所本科卒業業者

農商務省所管水産講習所本科卒業業者

東京高等商業學校卒業業者 但シ明治三十六年四月以前ノ卒業者トス

元高等商業學校卒業業者

明治四十年九月 告示 文部省第二百四十八號

元東京商業學校卒業者

東京高等商業學校附設商業教員養成所卒業者
 元高等商業學校附屬主計學校卒業者
 遞信省所管商船學校卒業者但シ船員科卒業者及
 甲種二等運轉士又ハ一等機關士以上ノ海技免狀ヲ有スル者
 師範學校、中學校又ハ高等女學校ノ教員免許狀ヲ有スル者
 高等學校卒業者
 元高等中學校卒業者

元公立專門學校本科卒業者

千葉醫學專門學校卒業者 但シ明治三十六年トス
 仙臺醫學專門學校卒業者 但シ明治三十六年トス
 岡山醫學專門學校卒業者 但シ明治三十六年トス
 金澤醫學專門學校卒業者 但シ明治三十六年トス
 長崎醫學專門學校卒業者 但シ明治三十六年トス
 東京外國語學校本科卒業者 但シ明治三十六年トス
 東京美術學校本科卒業者 但シ明治三十六年トス
 東京美術學校元特別ノ課程履修者
 東京美術學校圖書講習科卒業者
 東京音樂學校本科卒業者 但シ明治三十六年トス
 元高等師範學校附屬音樂學校本科卒業者

元東京音樂學校本科卒業者

學習院高等學校卒業者
 神宮皇學館本科卒業者

二

私立日本體育會體操學校高等本科卒業者
 實業學校ノ豫科ノ學科目ヲ擔任スル教員及甲種程度ノ實業學校ヨリ低度ノ實業學校ノ教員
 ルコトヲ得ル者左ノ如シ
 東京高等工業學校附設工業教員養成所速成科卒業者
 東京帝國大學農科大學附屬農業教員養成所卒業者
 農商務省所管水産講習所依託水産教員養成所卒業者
 小學校本科正教員、小學校專科正教員又ハ小學校准教員ノ免許狀ヲ有スル者

○文部省告示第二百四十九號

神奈川縣三浦郡橫須賀町豐島町組合立高等女學校ヲ明治四十年十月一日ヨリ市立トシ、橫須賀市立
 橫須賀高等女學校ト改稱ノ件認可セリ
 明治四十年九月二十三日
 文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第二百五十號

廣島縣吳市莊山田村字上今西ニ設置セル吳市立高等女學校ノ位置ヲ同村字二河ニ變更ノ件認可セリ
 明治四十年九月二十三日
 文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第二百五十一號

私立米本圖書館ヲ千葉縣香取郡久賀村ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ
 明治四十年九月二十五日
 文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第二百五十二號

奈良縣宇智郡五條町ニ設置セル宇智郡五條町外三箇村學校組合立五條實業學校ノ組織ヲ變更シテ
 明治四十年九月 告示 文部省第二百四十九號 第二百五十號 第二百五十一號 第二百五十二號
 一五四五

明治四十年四月ヨリ町立ト爲シ商業學校規程乙種程度並徒弟學校程度ニ改メ五條町立五條實業學校ト改稱ノ件認可セリ

○農務省告示第百八十五號
農務省告示第百八十五號

○農務省告示第百八十六號
農務省告示第百八十六號

○農務省告示第百八十七號
農務省告示第百八十七號

○農務省告示第百八十八號
農務省告示第百八十八號

○農務省告示第百八十九號
農務省告示第百八十九號

○農務省告示第百九十號
農務省告示第百九十號

○農務省告示第百九十一號
農務省告示第百九十一號

○農務省告示第百九十二號
農務省告示第百九十二號

○農務省告示第百九十三號
農務省告示第百九十三號

○農務省告示第百九十四號
農務省告示第百九十四號

○農務省告示第百九十五號
農務省告示第百九十五號

○農務省告示第百九十六號
農務省告示第百九十六號

○農務省告示第百九十七號
農務省告示第百九十七號

○農務省告示第百九十八號
農務省告示第百九十八號

○農務省告示第百九十九號
農務省告示第百九十九號

○農務省告示第百號
農務省告示第百號

明治四十年九月 告示 農務省 第三百五十三號

Table with multiple columns containing names of locations (e.g., 乃木, 宮山, 八幡宮), their respective land parcels (e.g., 宮山, 八幡宮), and associated officials or agencies (e.g., 農務大臣松岡康毅). The table lists various land parcels across different regions and their administrative details.

Table with columns for '地名' (Location Name), '面積' (Area), and '所有者' (Owner). It lists specific land parcels such as '乃木', '宮山', '八幡宮' and identifies their owners, including the Ministry of Agriculture and other local entities.

第四條 兩郵政廳ハ相互ニ禁制品ノ目錄ヲ送付スヘシ

第五條

- 一、小包ハ名宛人ノ正確ナル名宛ヲ有スルニ非サレハ小包郵便ニ依ル遞送ノ爲之ヲ引受クヘカラズ
- 正貨、金銀若ハ銀製ノ物品、珠玉共ノ他貴重品ヲ包有スル小包ノ名宛ハ小包ノ包裝ノ自體ニ記載スルヲ要ス
- 二、各小包ハ遞送ノ距離ニ應シ且共ノ包有品ヲ保護スルニ充分ナル様包裝スルヲ要ス包裝ハ加害ノ明瞭ナル痕跡ヲ留ムルニ非サレハ共ノ包有品ニ觸ル能ハサル様之ヲ爲スヘシ
- 三、各小包ハ封蠟、封鉛共ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ封緘シ差出人ノ同一ナル特殊ノ印影又ハ記號ヲ附スルヲ要ス
- 四、各價格表記小包ハ其ノ包裝及送狀ニ價格表記ノ金額ヲ記載スルヲ要ス假令證明スルモ塗抹又ハ加記スルコトヲ得ス此ノ記載カ日本又ハ香港ノ貨幣ヲ以テ表示セラレトキハ差出人又ハ差出國郵政廳ハ法又ハ山ニ於ケル相當額ヲ原字ノ側又ハ下ニ新數字ヲ以テ指示スルヲ要ス
- 五、液體及液化シ易キ物品ハ二重ノ容器ニ納メテ發送スルヲ要ス第一容器(樽、フラスコ、壺箱等)ト第二容器(金屬製又ハ堅牢ナル木製ノ箱)トノ間ニハ出來得ル限り空隙ヲ設クルモノトス此ノ空隙ハ鋸屑、糠共ノ他吸水性ノ物品ヲ以テ之ヲ填充スルヲ要ス

第六條

- 一、各小包ニハ附録A號及B號離形ニ適合又ハ類似スル送狀及稅關告知書ヲ添附スルヲ要ス郵政廳ハ名宛國毎ニ所要ノ稅關告知書ノ枚數ヲ相互ニ通知スヘシ
- 二、同一ノ差出人ヨリ同一ノ名宛人ニ送付スル二箇又ハ三箇迄ノ小包ニ對シテハ一枚ノ送狀及關稅法カ許ストキハ一枚ノ稅關告知書ヲ使用スルコトヲ得此ノ規定ハ價格表記小包ニ適用セス此ノ小包ニハ各別ノ送狀ヲ添附スルヲ要ス
- 三、納付シタル郵便料ノ金額ハ送狀ニ貼附スル郵便切手ニ依リ表彰セラレサルトキハ之ヲ送狀ニ記載スルヲ要ス
- 四、價格表記小包ノ正確ナル重量ハ差出局ニ於テ小包ノ包裝及送狀中相當欄ニ記載スルヲ要ス
- 五、郵政廳ハ稅關告知書ノ正否ニ付テハ一切其ノ責ニ任セス

- 第七條
- 一、各小包及之ニ關スル送狀ニハ登記番、號及差出局名ヲ指示スル附録C號離形ニ適合又ハ類似スル票符ヲ貼附スルヲ要ス
- 二、送狀ニハ尙差出局ニ於テ名宛記載面ニ差出地及差出日附ヲ指示スル印章ヲ押捺スヘシ
- 三、各價格表記小包ニハ「Insured」又ハ「Valeur Déclarée」ナル文字ヲ表面ニ有スル赤色ノ票符ヲ貼附スルヲ要ス
- 四、正貨、金銀若ハ銀製ノ物品、珠玉共ノ他貴重品ヲ包有スル小包ノ票符ハ包裝ノ損所ヲ隱蔽スルニ使用シ能ハサル様之ヲ貼附スルヲ要ス此ノ票符ハ縁端ヲ掩蔽スル様包裝ノ二面ニ跨テ之ヲ貼附スヘカラス

- 第八條
- 小包ノ細項ハ差立交換局ニ於テ本細則附録D號離形ニ適合スル小包目錄ニ之ヲ式ノ如ク記入スヘシ送狀及稅關告知書並到達證アルトキハ到達證ハ之ヲ小包目錄ニ確ト添附スルヲ要ス

第九條

- 一、小包ノ到達證ヲ請求スルモノアルトキハ差出局ハ該小包ニ「Avis de Réception」ナル文字ヲ明瞭ニ記載シ又ハ「A. R.」ナル文字ノ印章ヲ押捺ス

- 二、到達證ハ差出局又ハ差立郵政廳ノ指定スル他ノ郵便局ニ於テ附録E號離形ニ適合又ハ類似スル式紙ヲ以テ之ヲ作成スルモノトス若到達證名宛局ニ到着セサルトキハ同局ハ職權ヲ以テ新到達證ヲ作成ス
- 三、名宛局ハ式紙ニ相當記入ヲ爲シタル後之ヲ直接ニ又ハ交換局ヲ經由シテ差出局ニ返送シ差出局ハ之ヲ小包ノ差出人ニ交付ス
- 四、小包差出ノ後差出人共ノ到達證ヲ請求スルトキハ差出局ハ到達證ノ式紙ニ小包ニ關スル正確ノ記載(差出局、差出日附、番號、名宛)ヲ爲ス式紙ニハ取調ニ係ル小包ヲ關係郵政廳ノ交換局ニ送達シタル便名ヲ記載シ之ヲ受取交換局ニ送付スルモノトス名宛局ハ式紙ヲ完成シ第三項ニ定ムル方法ニ依リ之ヲ差出局ニ返送ス
- 五、差出ノ際差出人ニ於テ正當ニ請求セル到達證ニシテ相當期間ノ後差出局ニ歸著セサルトキハ第四項ニ定ムル手續ニ從ヒ不著ノ到達證ニ對シ取調ヲ爲スモノトス差出局ハ式紙ノ頭部ニ「Reclamation de l' Avis de Réception, etc.」ナル文字ヲ記載ス

第十條

- 一、受取交換局ハ小包目録受領ノ上小包及目録ニ記入シタル各種ノ書類ヲ點査シ必要ナルトキハ不著又ハ違例ハ之ヲ附録F號離形ニ適合スル點檢狀ヲ以テ通報スヘシ
- 二、貸高及計算ニ相違アルトキハ點檢狀ヲ以テ之ヲ差立局ニ通知スルヲ要ス承認済ノ點檢狀ハ關係小包目録ニ之ヲ添附スルヲ要ス證據書類ニ依リ證明セラレサル訂正ハ之ヲ許サス

第十一條

- 一、誤達小包ハ之ヲ再發スル郵政廳ヨリ最速速ノ線路ニ依リ其ノ名宛地ニ發送スヘシ若此ノ再發ニ依リ差出郵政廳ニ小包ヲ返還スルニ至リタルトキハ該郵政廳ノ小包目録ニ記入シタル收得額ハ之ヲ抹殺シ再發交換局ハ小包ヲ單ニ小包目録ニ記入シテ差立局ニ返送スヘシ其ノ誤達ニ付テハ點檢狀ヲ以テ注意ヲ促スヘシ

- 二、其ノ他ノ場合ニ於テ再發郵政廳ノ收得額カ同局ノ支辨スヘキ再發ノ費用ヲ償フニ足ラサルトキハ再發郵政廳ハ差立交換局ノ小包目録ニ記入シタル自應ノ收得額ヲ増加シテ其ノ不足額ヲ補フヘシ此ノ訂正ノ事由ハ點檢狀ヲ以テ同局ニ通知スヘシ
- 三、日本帝國及香港間ノ小包郵便ニ關係有スル一國ニ轉送スル小包ニ付テハ配達郵政廳ハ自應及轉送郵政廳並媒介郵政廳アルトキハ各媒介郵政廳ニ歸スヘキ金額ニ相當スル料金ヲ名宛人ヨリ徵收スルモノトス
- 四、轉送小包ヲ發送スル各郵政廳ハ該小包ノ遞送ニ對シ收得スヘキ金額ヲ小包目録ヲ以テ請求スヘシ
- 五、然レトモ轉送小包ノ新遞送ニ對シ徵收スヘキ金額カ其ノ轉送ノ際支拂ハルルトキハ小包ハ轉送國ヨリ直接ニ名宛國ニ宛テタルモノト同様ニ之ヲ取扱ヒ何等ノ郵便料金ヲ徵收スルコトナク名宛人ニ配達スヘシ
- 六、配達シ能ハサル小包ニ付テハ其ノ處分方ヲ差出人ニ問合スヘシ
- 七、問合書ヲ發送シタル後六月内ニ名宛局ニ於テ差出人ヨリ回答ヲ受領セサルトキハ小包ハ之ヲ差出局ニ返送スヘシ
- 八、然レトモ壞損又ハ腐敗スヘキ物品ニ限リ豫告又ハ法律上ノ手續ヲ爲サズ直ニ權利者ノ利益ノ爲ニ之ヲ賣却スルコトヲ得共ノ賣却ニ付テハ圖書ヲ作成スヘシ賣却ニ因リ得タル金額ハ先ツ之ヲ其ノ小包ニ關スル費用ノ支辨ニ充ツヘシ過剩アルトキハ差出人ニ交付スル爲之ヲ差出局ニ送付スヘシ理由ノ如何ヲ問ハス賣却スルコト能ハサルトキハ破損シタル又ハ價值ナキ物品ハ之ヲ毀棄シ又ハ國庫ニ歸屬セシムルモノトス
- 九、差出國ニ返送スヘキ小包ハ之ヲ小包目録ニ記入シ其ノ附註欄ニ「Retin」(不能配達)ナル文字ヲ

附記スヘシ該小包ハ之ヲ轉送小包ト同様ニ取扱ロ同一ノ料金を徴收スヘシ
 十、小包ノ名宛人カ日本帝國及香港間ノ小包郵便ニ關係ヲ有セサル一國ニ向ケ出發シタルトキハ該小包ハ第一名宛郵政廳ニ於テ之ヲ名宛人ニ送付シ得ルニ非サレハ不能配達ノモノトシテ取扱フヘシ
 十一、差出國ニ返送スヘキ又ハ第三國ニ轉送スヘキ小包ニ對スル其ノ關稅ハ日本帝國及香港ノ孰レニ於テモ之ヲ取消スヘシ但シ約定第十條ノ規定ニハ從フヘキモノトス

第十二條

一、各郵政廳ハ其ノ各交換局ヲシテ他ノ郵政廳ノ交換局ヨリ受取リタル總テノ郵便物ニ對シ各小包目錄中貸方ト借方トニ記入シアル金額ニ關シ本細則附錄G號離形ニ適合スル貸借表ヲ三月毎ニ作成セシムヘシ
 二、G號貸借表ハ同郵政廳ニ於テ後日本細則附錄H號離形ニ適合スル計算書ニ之ヲ集記スヘシ
 三、此ノ計算書ハG號貸借表及小包目錄並之ニ關スル點檢狀アルトキハ點檢狀ヲ添附シ次期ノ三月間内ニ之ヲ他ノ郵政廳ノ檢査ニ供スヘシ
 四、毎三月計算書ハ雙方ニ於テ審査承認ノ上貸越郵政廳ニ於テ之ヲ年次總計算書ニ集記スヘシ
 五、兩郵政廳間ニ於ケル此等ノ計算書ノ差引ヨリ生スル支拂ハ借越郵政廳ニ於テ正貨法ヲ以テ又ハ巴里、貸越國ノ首府若ハ商業地ニ振宛テタル爲替ヲ以テ之ヲ爲スヘシ右支拂ニ伴フ費用ハ借越郵政廳ノ負擔トス
 六、計算書ノ作成、送付及支拂ハ成ルヘク速ニ遅クとも翌年ノ終了前ニ之ヲ爲スヲ要ス此ノ期間満了ノ後ハ一郵政廳ヨリ他ノ郵政廳ニ支拂フヘキ金額ニハ其ノ期間満了ノ日ヨリ年五分ノ割合ヲ以テ利子ヲ附スヘシ

第十三條

本細則ハ約定實施ノ日ヨリ之ヲ施行シ約定ト有效期間ヲ同シウスヘシ然レトモ關係郵政廳ハ協議ヲ以テ隨時細目ヲ修正スルノ權能ヲ有ス
 明治四十年七月十九日東京ニ於テ及千九百十七年八月一日香港ニ於テ二通ヲ作成シ之ニ署名ス

日本帝國逓信大臣 山 縣 伊 三 郎
 香港郵政長官 チャールズ・マツキルヴェーン・メッサー

A 號

送狀通知券		送 狀	
印附日局出差	左記名宛ヲ有スル小包 包封圖告知書ノ枚數	價格表記金額	郵便切手貼附 又ハ徴收セシ 郵便料金指示 ノ標
差出人ノ住所氏名	名宛地	殿	逓送線路
重 量 キログラム.....グラム キログラム.....グラム キログラム.....グラム			

B 號

稅關告知書

差出地..... 名宛地.....

小包郵便物 箇數種類	包有品ノ記載	價格	
		全重	正味

千九百...年...月...日... 差出人.....

C 號

東京
第一三二號

東京
第一三二號

D 號

小包目錄

千九百...年...月...日... 交換局ヨリ.....
 千九百...年...月...日... 交換局ニ送立テタル小包郵便物
 千九百...年...月...日... 後前.....
 千九百...年...月...日... 後前.....
 千九百...年...月...日... 著

番號	局名	名宛	小包	送附	稅關	各小	表
一	次	送	物	狀	書	重	額
二	記	出	宛	物	告	登	金
三	出	宛	物	狀	書	額	記
四	宛	物	狀	書	額	記	表
五	物	狀	書	額	記	表	
六	狀	書	額	記	表		
七	書	額	記	表			
八	額	記	表				
九	記	表					
十	表						
十一							
十二							

番號	送次	出地	宛人ノ宿所氏名	重量	支拂フヘキ料金額	名宛正局
...
合計						

右點檢承認ス
 千九百...年...月...日...於テ
 名宛局吏員
 千九百...年...月...日...於テ
 差立局長

G 號

郵政廳
 郵政廳ノ交換局ヨリ...
 對シ送送料トシテ...
 郵政廳及...
 郵政廳ニ於テ相互ニ支拂フヘキ金額ノ
 毎三月貸借表

小包目録ノ附ノ郵便物	日小包目録ノ附ノ郵便物	一、名宛國郵政廳ノ收得 (D號表 第十欄)	二、差立國郵政廳ノ收得 (D號表 第十一欄)	附註
...

H 號

小包郵便
 郵政廳
 交換局ヨリ...
 交換局ニ宛テタル小包郵便物ノ目録ニ對スル第G
 貸借表ヨリ集計シタル計算書
 千九百...年...分

送次	交換局名	各G號表ニ基キテ 附屬スヘキ金額	名宛正局	差立額
...

總計					
千九百...	年	...	月	...	日
千九百...	年	...	月	...	日

右點檢承認ス...

千九百...年...月...日

○逓信省告示第五百二十三號
 本年ハ條約第三號日本帝國逓信省及香港郵政廳間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定ハ來十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年九月二日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百二十四號
 郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十年九月三日

逓信大臣山縣伊三郎

佛貨	一フラン	三九〇九〇	一圓二付	二フラン	五十五
英貨	一ポンド	九七九五九	一圓二付	二ポンド	七五〇
	一シリング	八八八八〇	一圓二付	二シリング	一〇七五
	一ペンニー	八八	一圓二付	二ペンニー	一〇九五

米貨	一ダラー	二〇一〇〇	一圓二付	九十九	二〇九五
獨貨	一マルク	八八三〇〇	一圓二付	二マルク	一〇七五
關貨	一フロリン	八二五〇〇	一圓二付	二フロリン	一〇九五
地地利貨	一クロローネ	二二〇〇〇	一圓二付	二クロローネ	一〇九五
洪島利貨	一コロサ	一〇八七〇	一圓二付	九十一	九八八
*香港洋銀	一ダラー	一〇八七〇	一圓二付	九十一	九八八
*暹銀	一ダラー	一〇八五八	一圓二付	九十二	九八五

○逓信省告示第五百二十五號
 浮流水雷ノ取扱方ニ關シテハ明治三十九年十一月逓信省告示第五百八號ヲ以テ告示スル所アリシカ爾來之ヲ實際ニ徵スルニ共ノ水上爆發ヨリシテ生スル危害ハ往々遠距離ニ及ヒ右告示ノ趣旨ノミニテハ充分ノ安全ヲ期シ難キ虞アルニ依リ將來浮流水雷ヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ處分スルカ爲メ用ウル繩又ハ綱ノ長及處分中保ツヘキ距離ハ水上又ハ陸上ニ在リテハ三百間以上ナラシメ又保管中公衆ハ三百間以内ニ立寄ラサル様注意スヘシ

海軍大臣齋藤 實
 逓信大臣山縣伊三郎
 内務大臣原 敬

○逓信省告示第五百二十六號
本月十六日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

明治四十年九月四日
名 稱 船小屋郵便局 位 置 福岡縣八女郡下妻村

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百二十七號
本月六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲ取扱フ

明治四十年九月四日
名 稱 高島郵便局 位 置 長崎縣西彼杵郡高島村

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百二十八號
北海道石狩國石狩郡石狩川口西岸石狩燈臺ハ改築工事著手ニ付本月七日本燈ヲ撤去シ同日以後該工事中毎夜左記ノ假燈ヲ點ス
明治四十年九月五日

假燈

逓信大臣山縣伊三郎

一位 燈臺位置ヨリ北五十度西距離十九間三尺
一燈火ノ高 基礎ヨリ三丈海面ヨリ三丈八尺

一燈 質 不動白色
一明 弧 從前ノ通

一光達距離 晴天ノ夜六裡

○逓信省告示第五百二十九號
本月十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十八年四月逓信省令第二十

四號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス
明治四十年九月六日
逓信大臣山縣伊三郎

名 稱 都城郵便局 位 置 宮崎縣北諸縣郡都城町

名 稱 宮崎郵便局 位 置 宮崎縣宮崎郡宮崎町

○逓信省告示第五百三十號

本月八日ヨリ北海道線落合帶廣間運輸營業ヲ開始ス乗客賃金及哩程左ノ通
但狩勝、新内兩驛ニテハ當分ノ間旅客貨物ノ取扱ヲ爲サス

明治四十年九月六日

逓信大臣山縣伊三郎

旅客賃金

名 稱	等級	格 合	新 得	清 水	佐 念 頃	芽 室	伏 古	帶 廣
一等	三	〇・八六	〇・二七	〇・二七	〇・三三	〇・三三	〇・三三	〇・三三
二等	二	〇・六六	〇・二七	〇・二七	〇・三三	〇・三三	〇・三三	〇・三三
三等	一	〇・四六	〇・二七	〇・二七	〇・三三	〇・三三	〇・三三	〇・三三
四等	一	〇・二七	〇・二七	〇・二七	〇・三三	〇・三三	〇・三三	〇・三三

逓信省告示第五百三十一號
本月十六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十八年四月逓信省令第三十

里程

止若	利別	池田	豐頃	浦焼	厚内	音別	白旗	鹿路	大楽毛	銅路
一五二	一〇九	一〇九	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六
一〇八	一〇八	一〇八	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七

○逓信省告示第五百三十一號

四號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差込ス但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十年九月九日

逓信大臣山縣伊三郎

名 稱 郵便局 位 置
天津郵便局 佐賀縣小城郡天津町
武雄郵便局 佐賀縣杵築郡武雄町
厚和郵便局 大府府泉南郡厚和町

名 稱 郵便局 位 置
耶山郵便局 奈良縣生駒郡耶山町
笠松郵便局 岐阜縣羽島郡笠松町
岩岡郵便局 山口縣玖珂郡岩岡町

○逓信省告示第五百二十二號

明治四十年九月九日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百二十三號

本月十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百二十四號

明治三十八年七月逓信省告示第四百二十五號本邦ト外國郵便爲替及電信爲替ヲ交換スル國名等ヲ示ス表第一 郵便爲替「一 直接交換國」甲 萬國聯合郵便爲替事務約定ニ依ルモノノ部 獨逸保護國ノ下「ニユーギニア」獨逸領ノ項「ケーヴィーング」(Kewieng)ノ下「キーマ」(Kieka)ヲ加フ

逓信大臣山縣伊三郎

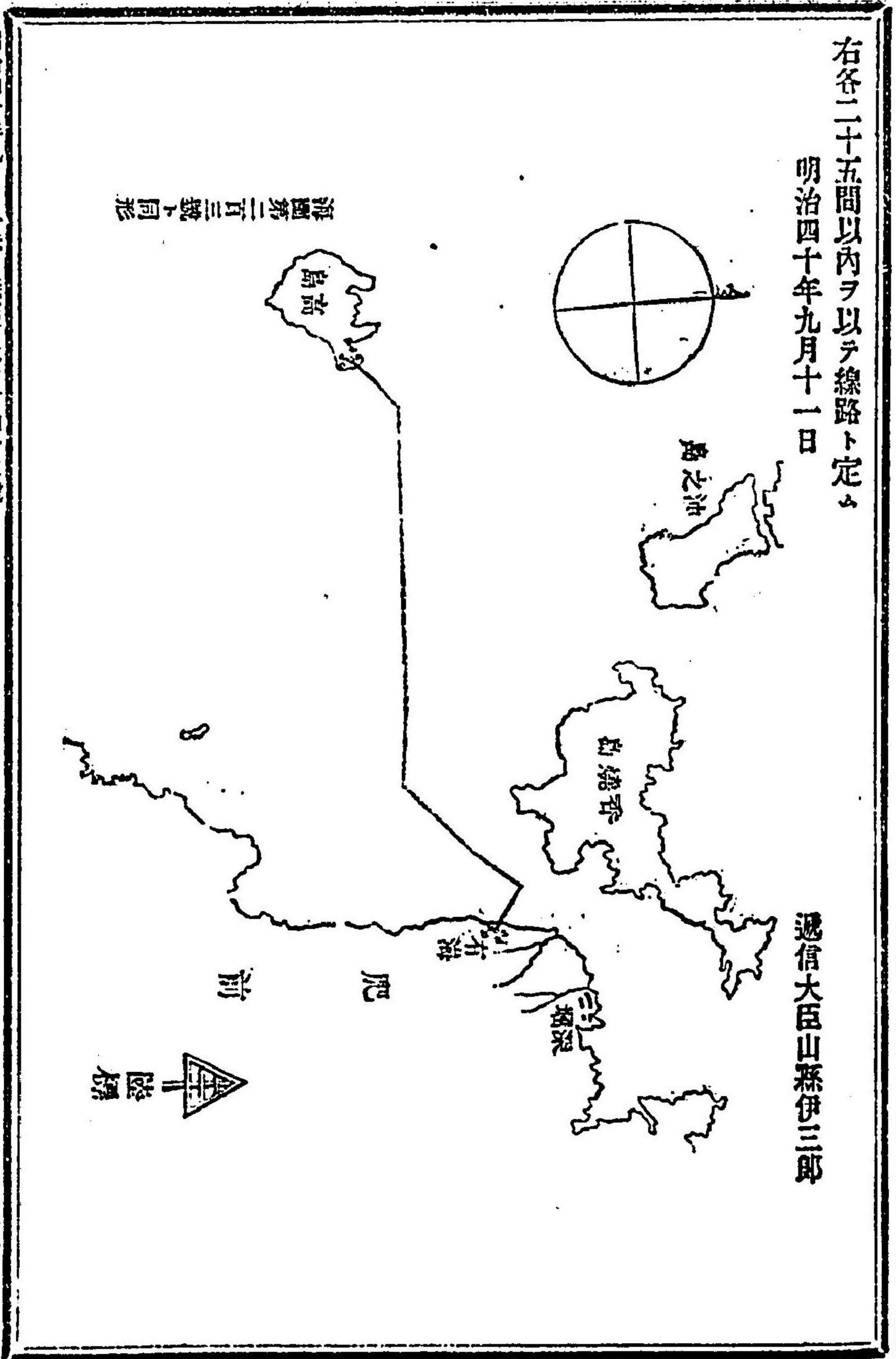
明治四十年九月 告示 逓信省第五百三十二號 第五百三十三號 第五百三十四號 一五七九

英貨	佛貨	米貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨	獨貨
一パウンド	一フランク	一セント	一マルク	一フラン	一マルク	一フラン	一マルク	一フラン	一マルク	一フラン	一マルク	一フラン	一マルク	一フラン	一マルク	一フラン	一マルク	一フラン	一マルク	一フラン
九七九・五九二	三九〇・九〇	二〇・〇四	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 2/10 即チ

肥前國西彼杵郡深堀村大字有海ト同國同郡高島トノ間ニ左圖ノ通水底電線一條ヲ布設シ線條ノ左

遞信省告示第五百四十三號

右各二十五間以内ヲ以テ線路ト定ム
明治四十年九月十一日



明治四十年九月 告示 遞信省第五百四十三號

○逓信省告示第五百四十四號

左記滿洲各地ニハ萬國郵便條約ニ依ル通常郵便物ヲ發送スルコトヲ得

明治四十年九月十二日

逓信大臣山縣伊三郎

- 布哈圖 (Bouhedou)
 - フーカーク (Fouking)
 - 吉林 (Gairine) (Kirin)
 - 橫濱館子 (Hanchuohetsi)
 - 寬城子 (Kouan-tchen-tzi)
 - 老蘇蘇 (Laosonsou)
 - 露爾根 (Aerugane)
 - ボゾラウチナイフ (Pogranitchnia)
 - 三姓 (Samsie)
 - 它爾蘇 (Tschakichow)
 - 齊齊哈爾 (Tsisihar) (Tsisihar)
- 接河 (Zho)
 - クヌー (Gudseou)
 - 海拉爾 (Hailar) (Kharhar)
 - 哈爾濱 (Harbin) (Kharbine)
 - ラホムン (Lahojin)
 - 滿州里 (Mandchourie)
 - 寧古塔 (Ningouta) (Ninguta)
 - サハヤン (Sachian)
 - シムチンハン (Sintchankhan)
 - トマリ (Tomari)
 - 萬里河站 (Wanlihotan)

○逓信省告示第五百四十五號

明治三十九年九逓信省告示第四百十六號外國電信取扱制限表中「フキリッピン群島」ノ項ヲ削除ス

明治四十年九月十二日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第五百四十六號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十年九月十二日

逓信大臣山縣伊三郎

- 名 稱 奈良井郵便局 位 置 長野縣西筑摩郡松川村

○逓信省告示第五百四十七號

明治三十六年三勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十年九月十二日

逓信大臣山縣伊三郎

- 名 稱 佐志郵便局 位 置 佐賀縣東松浦郡佐志村

○逓信省告示第五百四十八號

來十月一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十年九月十三日

逓信大臣山縣伊三郎

- 現名稱 川道郵便局 改稱 大郷郵便局 位 置 滋賀縣東淺井郡大郷村

○逓信省告示第五百四十九號

本年三逓信省告示第七十三號中左ノ通改正シ本月二十日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年九月十四日

逓信大臣山縣伊三郎

神戸營業事務所所管區域中「舞鶴ヨリ福井縣下島根縣下及鳥取縣下ニ至ル航路」ヲ削除シ更ニ「舞鶴宮津間、舞鶴小濱間、宮津小濱間、宮津舞鶴小濱間、舞鶴城(境以西ノ中海ヲ含ム)間」ノ各航路ヲ加フ
廣島營業事務所所管區域ニ「京橋高松間、尾道多度津間、宮島嚴島間」ノ各航路ヲ加フ
下關營業事務所所管區域ニ「下關釜山間、下關門司間」ノ各航路及下關港内ヲ加フ

○逓信省告示第五百五十號

本月二十一日ヨリ左記郵便局電話交換業務取扱時間ノ制限ヲ廢ス

明治四十年九月十四日

逓信大臣山縣伊三郎

- 名 稱 小田原郵便局 位 置 神奈川縣足柄下郡小田原町 大磯郵便局 位 置 神奈川縣中郡大磯町

○逓信省告示第五百五十一號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十八年四逓信省令第三十四號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ迄テ之ヲ告示ス

明治四十年九月十六日

逓信大臣山縣伊三郎

- 名 稱 新津郵便局 位 置 新潟縣中蒲原郡新津町

明治四十年九月 告示 逓信省第五百四十八號 第五百四十九號 第五百五十號 第五百五十一號

○遞信省告示第五百五十二號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十年九月十七日

遞信大臣山縣伊三郎

英貨	佛貨	米貨	獨貨	關貨	埃地利貨幣	洪哥利貨幣	*香港洋銀	*暹羅銀
一パウンド	一フランク	一ダラー	一マルク	一フロリン	一クロネ	一コロナ	一ダラー	一ダラー
九七九・五	八八・九〇	二〇一・五	一八二・〇	一八二・〇	一三三・〇	一〇九・七五	一〇九・九	一〇九・九
一圓ニ付二シリング「〇・八」 ニ「五〇〇」	一圓ニ付「フランク」五十五「サ ンチ」八二〇	一圓ニ付「即チ」 四十九「セント」六二五	一圓ニ付「マルク」七「フン」 三三	一圓ニ付「フロリン」二「サ ンチ」三六	一圓ニ付「クロネ」四十一 「フル」九五五	一圓ニ付「九十一「セント」四二九	一圓ニ付九十一「セント」四二九	一圓ニ付九十一「セント」六三八

(備考) 羅馬尼亞幣「ルー」及「バニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ。*香港洋銀換算割合ニ適用スルモノニハ銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ據テ「ル」モノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○遞信省告示第五百五十三號

來十月一日ヨリ左記郵便局ヲ設置シ電信事務ヲ取扱フ但シ郵便物並電報ノ配達及郵便貯金事務(振替貯金)ヲ取扱ハス

明治四十年九月十七日

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省告示第五百五十四號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス

明治四十年九月十八日

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省告示第五百五十五號

本年九條約第六號羅馬締結萬國郵便條約ノ施行規則左ノ如シ

明治四十年九月十九日

遞信大臣山縣伊三郎

萬國郵便聯合

獨逸及獨逸保護國、亞米利加合衆國及亞米利加合衆國屬島、亞然的音共和國、埃地利、白耳義、ボリ
ヴィー、ボスニア、ヘルゼゴヴィナ、伯西兒、勃羅瓦利、智利、清帝國、古倫比亞共和國、公衆獨立國、韓
帝國、古西多利加共和國、グレート、玖瑪共和國、丁抹及丁抹殖民地、ドミニカ、共和國、埃及、エチオ
ピア、西班牙及西班牙殖民地、エチオピア、帝國、佛蘭西、亞爾及利、印度支那、佛蘭西殖民地及保護

國其ノ他ノ佛蘭西殖民地全體大不列顛及大不列顛諸殖民地英領印度派太刺刺聯邦加那太新
 西蘭南亞弗利加大不列顛殖民地希臘「ガテマラ」「ハイチ」共和國「ホンチユラス」共和國「洪馬利」伊
 太利及伊太利殖民地日本「リベリア」共和國「歴山堡」墨西哥「滿得涅各羅」「ニカラガ」「那威巴奈馬共
 和國」「パラグエ」と和蘭和蘭殖民地「白露波斯」葡萄牙及葡萄牙殖民地「羅馬尼」「露西亞」「サルヴァド
 ル」「塞爾維亞」暹羅王國「瑞典」「瑞西」「突尼斯」「土耳其」「ウルグア」「ウヰネズエラ」合衆國ノ間ニ締結セル
 萬國郵便條約施行規則

下名ハ千九百零六年五月二十六日羅馬ニ於テ締結セル萬國郵便條約第二十條ニ依リ該條約ノ實施ヲ
 確實ニスル爲各共ノ郵政廳ニ代リ協議ヲ遂ケ左ノ手續ヲ決定セリ

第一條 郵便物ノ差立

一各郵政廳ハ他郵政廳ヨリ交付セラレタル閉塞及閉塞郵便物ヲ各自ノ郵便物ノ爲使用シ得ル最速
 達ノ線路ニ依リ之ヲ差立ツルノ義務アルモノトス
 郵政廳カ他郵政廳ヨリ交付セラレタル閉塞及閉塞郵便物ノ差立ヲ非常ノ事由ニ依リ一時停止ス
 ルノ已ムヲ得サルニ至リタル場合ニ於テハ直ニ其ノ旨ヲ關係郵政廳ニ通知スルヲ要ス必要ナル
 トキハ電信ニ依ル

二或ル線路ニ屬スル特別ノ費用トシテ補充料ヲ徵收スル權能ヲ行使スル郵政廳ハ他ノ交通方法ア
 ルトキハ差出人ヨリ明ニ同線路ノ使用ヲ要求セサル料金不足ノ郵便物ハ之ヲ該線路ニ依リ差立
 テサルノ自由ヲ有スルモノトス

第二條 閉塞交換

一聯合郵政廳間ニ於ケル閉塞郵便物ノ交換ハ關係郵政廳ノ間ニ協議ヲ遂ケ且業務上ノ必要ニ從ヒ
 決定スルモノトス
 二交換カ他ノ一國又ハ數國ノ媒介ニ依リ施行セラルトキハ此等諸國ノ郵政廳ニハ必要ノ時期ニ

於テ豫メ之ヲ通知スルヲ要ス

三又前項ノ場合ニ於テ媒介郵政廳ノ一ヨリ閉塞郵便物ノ箇數カ其ノ業務ヲ妨クルノ事實ニ基キ請
 求ヲ爲ストキハ何時ニテモ閉塞ヲ作成スルノ義務アルモノトス
 四二郵政廳ノ間ニ他ノ一國又ハ數國ノ媒介ニ依リ施設スル閉塞交換業務上變更アル場合ニ於テハ
 其ノ變更ヲ生セシメタル郵政廳ハ此ノ交換ニ對シ媒介ヲ爲ス國ノ郵政廳ニ之ヲ通知ス

第三條 特殊業務

條約第四條ニ依リ關係郵政廳間ノ協議ヲ以テ決定スヘキ特別ノ料金ヲ適用スル聯合ノ特殊業務ハ
 左ニ掲グルモノニ限ル

第一 印度郵便ト稱スル郵便物ノ急速送達ノ爲ニ保持スルモノ

第二 「コロシ」及「パナマ」間鐵道ニ依ル郵便物送達ノ爲施設スルモノ

第四條 料金ノ制定

一法ヲ貨幣ノ單位トセサル又ハ聯合外ニ郵便局所ヲ保持スル聯合國郵政廳ハ條約第十條ヲ實施シ
 左ノ相當額ニ從ヒ其ノ料金ヲ徵收ス

甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
二十	二十五	三十	三十五	四十	四十五	五十	五十五	六十	六十五
七十	七十五	八十	八十五	九十	九十五	一百	一百一十	一百二十	一百三十
一百四十	一百五十	一百六十	一百七十	一百八十	一百九十	二百	二百一十	二百二十	二百三十
二百四十	二百五十	二百六十	二百七十	二百八十	二百九十	三百	三百一十	三百二十	三百三十
三百四十	三百五十	三百六十	三百七十	三百八十	三百九十	四百	四百一十	四百二十	四百三十
四百四十	四百五十	四百六十	四百七十	四百八十	四百九十	五百	五百一十	五百二十	五百三十
五百四十	五百五十	五百六十	五百七十	五百八十	五百九十	六百	六百一十	六百二十	六百三十
六百四十	六百五十	六百六十	六百七十	六百八十	六百九十	七百	七百一十	七百二十	七百三十
七百四十	七百五十	七百六十	七百七十	七百八十	七百九十	八百	八百一十	八百二十	八百三十
八百四十	八百五十	八百六十	八百七十	八百八十	八百九十	九百	九百一十	九百二十	九百三十
九百四十	九百五十	九百六十	九百七十	九百八十	九百九十	一千	一千一十	一千二十	一千三十

明治四十年九月 告示 逓信省第五百五十五號 萬國郵便條約施行規則

亞弗利加葡牙羣島地	五	十	三	十	二	十	レ	イ	十	レ	イ	十	レ	イ
葡領印度	三	十	六	十	四	四	レ	イ	十	レ	イ	十	レ	イ
澳門及葡領	十	六	十	四	四	レ	イ	十	レ	イ	十	レ	イ	十
露	五	十	六	十	四	四	レ	イ	十	レ	イ	十	レ	イ
瑞	九	十	六	十	四	四	レ	イ	十	レ	イ	十	レ	イ
土	四	十	六	十	四	四	レ	イ	十	レ	イ	十	レ	イ
乙聯合外ノ國	二	十	五	十	五	十	レ	イ	十	レ	イ	十	レ	イ
活	佛	英	獨	露	日	佛	英	獨	佛	英	獨	佛	英	獨
佛	西	英	獨	露	日	佛	英	獨	佛	英	獨	佛	英	獨
佛	西	英	獨	露	日	佛	英	獨	佛	英	獨	佛	英	獨

二前掲諸國ノ一國ノ貨幣制度ニ變更アリタル場合又ハ其ノ貨幣ノ價格ニ著大ノ變動アリタル場合ニ於テハ該國郵政廳ハ前掲相當額ヲ變更スル爲メ瑞西郵政廳ト協議スルヲ要ス瑞西郵政廳ハ總理局ヲ經由シ聯合ノ他ノ各郵政廳ニ變更ヲ通知スヘキモノトス

三料金不足ノ郵便物ニ適用スヘキ郵便料ノ補充聯合外ノ國ト交換スル郵便物ノ料金ノ制定又ハ聯合ノ郵便料ト條約第五條ニ規定スル増郵便料トノ合算ヲ爲スニ方リ貨幣ニ端數ヲ生スルトキハ是カ徴收ヲ爲ス郵政廳ニ於テ之ヲ全數ト爲スコトヲ得然レトモ是カ爲加算スヘキ額ハ如何ナル

場合ニ於テモ一法ノ二十分ノ一ノ價格(五山)ヲ超過スルヲ得ス

第五條 重量ニ關スル例外

內國規則ニ依リ「メートル法」ニ依リ重量制度ヲ採用シ能ハサル國ハ例外トシテ常量「オンス」(二一・八グラム)「三四六五」ヲ以テ之ニ代ヘ書狀ニ對シテハ「オンス」ヲ「二七グラム」ニ其ノ他ノ物品ニ對シテハ「オンス」ヲ「五十一グラム」ト看做シ又必要ニ應ジ新聞紙ノ單位重量ノ制限ヲ「四オンス」ニ増加スルノ權能ヲ有ス但シ此ノ場合ニ於テハ新聞紙ノ郵便料ハ十山ヲ下ルヲ得ス且數號ノ新聞紙カ同一郵便物ニ包裝シアルトキト雖其ノ一號毎ニ郵便料ノ全額ヲ徴收スヘキモノトス

第六條 郵便切手

一聯合ノ普通郵便料又ハ各國貨幣ニ於ケル其ノ相當額ヲ表示スル郵便切手ハ左ノ色ニテ之ヲ製造スルモノトス

- 二十五山ノ切手 濃青色
- 十山ノ切手 紅色
- 五山ノ切手 綠色

二郵便切手ハ第四條ニ掲グル相當額表ニ從ヒ郵便物ノ料金納付ノ爲實際ニ表示スル價格ノ記載ヲ共ノ表面ニ有スルヲ要ス

此ノ價格ヲ指示スヘキ貨幣單位ノ數又ハ其ノ端數ノ記載ハ亞刺比亞數字ヲ以テ之ヲ爲スモノトス

三郵便切手ハ之ヲ發行スル郵政廳ノ定ムル條件ニ依リ穿孔機ヲ以テ特別ノ記號(冠字其ノ他)ヲ附スルコトヲ得

四郵便切手ハ表面ノ上部右隅ニ貼附スヘシ然レトモ此ノ切手ヲ表面ノ其ノ他ノ場所又ハ裏面ニ貼附スルヲ禁ヒス

第七條 返信切手券

一 條約第十一條ニ於テ隨意使用ヲ規定セル返信切手券ハ本規則附錄A號圖形ニ從ヒ左ノ文字ヲ添入セル紙ヲ用非總理局ニ於テ之ヲ印刷スルモノトス

二十五山 萬國郵便聯合ニ二十五山

二 總理局ハ切手券ノ要求ヲ爲ス郵政廳ニ印刷其ノ他ノ實費ヲ以テ之ヲ供給ス

三 各郵政廳ハ各自ノ定ムル價格ヲ以テ切手券ヲ賣捌クモノトス但シ其ノ價格ハ條約第十一條ニ定ムル二十八山(金)ノ最低限ヲ下ルヲ得ス

四 公衆ヨリ呈示セル切手券ハ該業務加入國ニ於テ一枚又ハ數枚ニテ名價二十五山ニ該當スル郵便切手ニ引換ヘラルモノトス

五 此ノ如ク引換ヘタル切手券ハ差出國毎ニ區分シタル後毎三月又ハ毎年總理局ニ之ヲ送付スルモノトス該切手券ニハ各差出國ニ對スル數ヲ記載スル表ヲ添附スルモノトス

六 年ノ終ニ於テ總理局ハ左ノ事項ヲ記載スル計算書ニ通テ關係各郵政廳ニ送付ス

甲 借方ニハ 當該郵政廳ニ於テ發行シ一年中他郵政廳ノ郵便切手ニ引換ヘラレタル切手券ノ法、山ニ於ケル價格、切手券ハ證據物件トシテ添附スルモノトス

乙 貸方ニハ 他郵政廳ニ於テ發行シ同期間中當該郵政廳ノ郵便切手ニ引換ヘラレタル切手券ノ法、山ニ於ケル價格

丙 貸越又ハ借越ノ差額

本計算書ノ作成ニ對シテハ切手券ノ價格ハ其ノ單位ヲ二十八山トシ計算スルモノトス

七 審査ノ後計算書ニ通ノ内一通ハ承認ヲ附シ總理局ニ返送スルモノトス精算ニ對スル規定ノ時期迄ニ同局ニ返送セラレサル各計算書ハ正確ノモノト看做サルモノトス

八 計算書ノ送付ヨリ六月ノ後總理局ハ成ルヘク支拂ノ口數ヲ減少スル様其ノ精算方ヲ規定ス

第八條 聯合外ノ國トノ通信

聯合外ノ國ト關係ヲ有スル聯合郵政廳ハ此等ノ國ノ表ニ左ノ事項ヲ記載シテ聯合ノ他ノ郵政廳ニ送付ス

第一 聯合疆域外ノ遞送ニ適用スヘキ海路又ハ陸路ノ繼越料

第二 郵送シ得ル郵便物ノ種類

第三 料金前納ノ要否

第四 郵便物ノ種類毎ニ前納料金ノ效力ノ限度(名宛地迄陸揚港迄等)

第五 書留郵便物ニ關スル賠償金ノ程度

第六 到達證請求ノ許否

第七 成ルヘクハ聯合國トノ關係ニ對シ聯合外ノ國ニ於ケル現行ノ前納料金

第九條 押印

一 聯合國ヨリ發スル郵便物ニハ成ルヘク羅匈字ヲ以テ差出地及郵便ニ差出シタル日附ヲ記載スル印章ヲ捺捺スルモノトス

又有効ノ郵便切手ハ總テ之ヲ消印スルヲ要ス

二 到著ノ際名宛局ハ書狀ノ裏面及郵便葉書ノ表面ニ共ノ日附印ヲ捺捺ス

第一名宛局ハ又郵便往復葉書ノ返信部ノ表面ニ共ノ日附印ヲ捺捺スルコトヲ得

三 誤送郵便物ニハ其ノ誤送ヲ受ケタル局ノ日附印ヲ捺捺スルヲ要ス此ノ義務ハ固定局ノミナラス成ルヘク行動局ニ於テモ亦之ヲ負擔ス

四 郵船内ニ於テ郵便函ニ投入シ又ハ乘組郵便吏員若ハ船長ニ交付スル郵便物ノ押印ハ條約第十一條第五項ニ規定スル場合ニ於テハ乘組郵便吏員ニ於テ又該吏員乘組ナキトキハ該郵便物ノ交付ヲ受クル郵便局ニ於テ之ヲ擔當ス郵便局ニ於テ押印ヲ擔當スルトキハ右郵便物ニ通常日附印ヲ

押捺シタル上筆書又ハ印章ヲ以テ「Anglo」ナル文字ヲ記載ス

五聯合外ノ國ヨリ發スル郵便物ニハ之ヲ收容スル聯合郵政廳ニ於テ同國ノ業務ニ入りタル場所及日附ヲ記載スル印章ヲ押捺スルモノトス

六料金未納又ハ料金不足ノ郵便物ニハ右ノ外T印(郵便料ヲ支拂フヘシ)ヲ押捺スルモノトス該印ノ押捺ハ聯合内ヨリ發シタル郵便物ニ付テハ差出國郵政廳ニ於テ又聯合外ノ國ヨリ發シタル郵便物ニ付テハ收容國郵政廳ニ於テ之ヲ擔當ス

七別配達郵便物ニハ「Private」ナル文字ヲ大書スル印章ヲ押捺スルモノトス然レトモ郵政廳ハ印刷票符又ハ色鉛筆ヲ以テ字下線ヲ劃セル筆書ヲ以テ此ノ印章ニ代用スルコトヲ得

差出局ニ於テ「Private」ノ指定ヲ附シタル郵便物ハ料金未納又ハ不足ノ場合ニ於テモ特使ヲ以テ住所ニ配達スルモノトス此ノ如キ場合ニ於テハ名宛國交換局ハ差出局ノ屬スル中央郵政廳ニ點檢狀ヲ以テ其ノ違例ヲ通報スヘキモノトス該點檢狀ニハ郵便物ノ差出地及差出日附ヲ詳細ニ記載スルヲ要ス

八T印ヲ有セサル各郵便物ハ料金完納ノモノト看做シ之ヲ取扱フモノトス但シ明瞭ナル誤謬ハ此ノ限ニ在ラス

九差出局ニ於テ誤謬又ハ遺漏ニ因リ消印セサル郵便切手ハ此ノ違例ヲ發見シタル郵便局ニ於テ通常ノ方法ニ依リ消印スルヲ要ス

第十條 通數ノ記載

料金未納又ハ料金不足ノ書狀其ノ他ノ郵便物ニシテ其ノ重量ノ爲一過分ヲ超過スル郵便料ヲ徵收スヘキモノナルトキハ場合ニ從ヒ差出國郵政廳又ハ聯合内ニ收容シタル郵政廳ニ於テ通常ノ數字ヲ以テ表記ノ上部左隅ニ郵便物ノ通數ヲ記載ス

第十一條 料金不足

一郵便物カ郵便切手ヲ以テ不十分ニ料金ヲ前納セラルトキハ差立郵政廳ハ不足額ノ一倍ヲ法山ニテ表示シ印章其ノ他ノ方法ニ依リ讀下シ易キ數字ヲ以テ郵便切手ノ側ニ之ヲ記載ス

然レトモ再發ノ爲料金不足ト爲リ本規則第二十七條ノ規定ヲ適用スヘキ郵便物ハ此ノ限ニ在ラス

二名宛國交換局ハ此ノ記載ニ從ヒ條約第五條第三項ノ規定ニ依リ該郵便物ニ對シ指定ノ料金額ヲ徵收ス

三料金前納ノ爲效力ナキ郵便切手ヲ使用シタル場合ニ於テハ之ヲ無効トス此ノ場合ニ於テハ該郵便切手ノ側ニ零字(0)ヲ記載スルモノトス

第十二條 書留郵便物ニ關スル條件

一冠字ヲ以テ名宛ヲ記載シタル郵便物及鉛筆ニテ記載シタル名宛ヲ有スル郵便物ハ書留ト爲スコトヲ許サス

二書留郵便物ニ對シテハ其ノ方式又ハ封緘ニ付何等特別ノ條件ヲ要セス各郵政廳ハ其ノ内國業務上定ムル規則ヲ該郵便物ニ適用スルノ權能ヲ有ス

三書留郵便物ニハ表記ノ上部左隅ニ本規則附録B號離形ニ適合又ハ類似スル票符ヲ貼附スルヲ要ス該票符ニハ羅匈字ニテ差出局名及同局ノ原簿ニ該郵便物ヲ記入シタル逐次番號ヲ記載スルモノトス

然レトモ内國ノ制度カ現ニ票符ノ使用ヲ許ササル郵政廳ハ此ノ方法ノ實施ヲ延期シ書留郵便物ヲ指示スル爲印章ノ使用ヲ繼續スルコトヲ得

然レトモB號離形ノ票符ヲ採用セサル郵政廳ニ在リテハ必ズ逐次番號ヲ以テ各書留郵便物ヲ指示スルヲ要ス此ノ番號ハ表記ノ上部左隅ニ記入スルヲ要ス再發郵政廳ニ在リテハ原番號ニ依リ郵便物ヲ指示スルノ義務アルモノトス

四料金未納又ハ料金不足ノ書留郵便物ハ料金を徴收スルコトナク之ヲ名宛人ニ送達スルモノトス然レトモ此ノ如キ郵便物ヲ受取リタル郵便局ハ點檢狀ヲ以テ差出局ノ屬スル郵政廳ニ之ヲ通報スルヲ要ス該點檢狀ニハ該郵便物ノ差出地、差出日附、重量、種別及番號ヲ且料金不足ノ場合ニ在リテハ書留郵便物ニ貼附セル郵便切手ノ價格ヲモ詳細ニ記載スルヲ要ス

此ノ規定ハ再發ノ爲一層高キ料金を徴收ヲ要スルニ至リタル書留郵便物ニハ之ヲ適用セス此ノ郵便物ハ本規則第二十七條第二項ノ規定ニ依リ之ヲ取扱フモノトス

第十三條 書留郵便物ノ亡失ニ對スル賠償金

書留郵便物ノ亡失ニ對スル賠償金カ一郵政廳ヨリ責任ヲ有スル他郵政廳ノ計算ニ於テ支拂ハレタルトキハ同郵政廳ハ支拂通知後三月ノ期間内ニ該金額ヲ償還スルヲ要ス此ノ償還ハ郵便爲替若ハ手形又ハ貸越國ノ通貨ヲ以テ之ヲ爲スモノトス賠償金償還上費用ヲ要スルトキハ該費用ハ常ニ借越郵政廳ノ負擔トス

第十四條 書留郵便物到達證

一 差出人ニ於テ到達證ヲ請求スル郵便物ハ「avis de reception」ナル明瞭ノ記載又ハ「A.R.」ナル印章ノ印影ヲ有スルヲ要ス

二 該郵便物ニハ附録C號離形ニ適合又ハ類似スル式紙ヲ添附ス此ノ式紙ハ差出局又ハ差立郵政廳ノ指定スル總テノ他ノ郵便局ニ於テ作成シ關係郵便物ニ貼テ以テ繼續ニ結縛スルモノトス該式紙名宛局ニ到達セサルトキハ同局ハ職權ヲ以テ新到達證ヲ作成ス

到達證ハ佛蘭西語ニテ記載シ又ハ同國語ニ於ケル對譯ヲ附記スルヲ要ス

三名宛局ハC號式紙ニ式ノ如ク記入シタル後之ヲ封皮ニ納メ差出局ニ返送ス

四 差出人書留郵便物ノ差出後ニ於テ其ノ郵便物ノ到達證ヲ請求スルトキハ差出局ハ豫メC號式紙ニ到達證料ヲ表示スル郵便切手ヲ貼附シ之ニ該書留郵便物ニ關スル細項(郵便物ノ種類、差出

局差出日附、番號、名宛人ノ完全ナル住所氏名)ヲ詳細ニ記載ス

此ノ式紙ハH號離形ノ取調請求書ニ添附シ本規則第三十條ノ規定ニ從ヒ之ヲ取扱フモノトス但シ到達證ノ關係スル郵便物ノ正當配達ノ場合ニ於テハ名宛局ハH號式紙ヲ取離シC號式紙ニ式ノ如ク記入シタル上第三項ノ規定スル方法ニ依リ之ヲ差出局ニ返送ス

各郵政廳ハ必要ナルトキハC號式紙及H號式紙ヲ同一式紙ニ取繼ムルノ權能ヲ有ス

五 差出人ニ於テ差出ノ際正當ニ請求セル到達證カ豫定期間内ニ差出局ニ到着セサルトキハ第四項ニ掲クル規定ニ依リ不著到達證請求ノ手續ヲ爲ス然レトモ此ノ場合ニ於テハ差出局ハC號式紙ニ郵便切手ヲ貼附セシ「Dupliqua de l'avis de reception, etc.」ナル文字ヲ其ノ頂部ニ記入ス

六 書留郵便物取調請求書ノ送付方ニ對シ本規則第三十條第五項ニ依リ郵政廳ノ採用セル特別ノ規定ハ書留郵便物差出後ニ爲ス到達證ノ請求ニモ亦之ヲ適用スヘキモノトス

第十五條 代金引換書留郵便物

一 代金引換書留郵便物ニハ其ノ表面ニ「Remboursement」ナル題字ヲ明瞭ニ筆書又ハ印刷シ其ノ次ニ關係郵政廳ノ間ニ反對ノ約定アルニ非サレハ名宛國ノ貨幣ニテ代金引換ノ金額ヲ記載スルヲ要ス此ノ金額ハ羅甸字ヲ以テ文字ニテ完全ニ及數字ニテ表示スルモノトス證明ヲ爲スモ捺抹又ハ改竄スルヲ許サズ差出人ハ表面又ハ裏面ニ其ノ住所氏名ヲ均シク羅甸字ニテ記載スルヲ要ス

二 代金引換書留郵便物ニハ表面ニ本規則附録D號離形ニ適合スル橙色ノ票符ヲ貼附スルヲ要ス

三名宛人カ該郵便物名宛局ニ到着ノ翌日ヨリ歐洲諸國間ノ關係ニ於テハ七日、歐洲諸國ト歐洲外諸國トノ關係及歐洲外諸國相互間ノ關係ニ於テハ十五日ノ期間内ニ代金引換ノ金額ヲ支拂ハザルトキハ該郵便物ハ差出局ニ再發スルモノトス

四 別段ノ約定アルニ非サレハ取立タル金額ハ條約第七條第二項ニ規定スル代金引換料及通常ノ

郵便爲替料ヲ控除シタル後表面ノ頭部ニ「Remb.」ノ記載ヲ有シ郵便爲替業務約定施行規則ニ依リ其ノ殘額ニ對シテ作成スル郵便爲替券ト爲スモノトス該爲替券ノ通知券ニハ代金引換郵便物ノ宛人ノ住所氏名或該郵便物ノ差出地及差出日附ヲ記載スルヲ要ス

五反對ノ約定アルニ非サレハ代金引換郵便物ハ此ノ業務ニ加入スル諸國ノ一國ヨリ此等諸國ノ他ノ一國ニ宛テヲ轉送スルコトヲ得轉送ノ場合ニ於テハ該郵便物ハ差出人自ラ爲シタル如ク原初ノ代金引換ノ請求ヲ完全ニ保持ス確定名宛郵政廳ハ代金引換カ表示セラルル貨幣ト同一ノ貨幣制度ヲ有セサル場合ニ於テハ郵便爲替ニ對スル現行ノ換算割合ニ從ヒ單ニ代金引換ノ金額ヲ自國ノ貨幣ニ換算スルヲ要ス同應ハ又代金引換ノ金額ヲ差出國宛爲替ト爲スヘキモノトス

第十六條 郵便葉書

一郵便葉書ハ表面ノ頭部ニ佛蘭西語ニテ「Carte postale」ナル題字又ハ他國語ニテ之ニ相當スル題字ヲ有スルヲ要ス然レトモ此ノ題字ハ私製ノ通常郵便葉書ニ在リテハ必スシモ之ヲ有スルヲ要セス
葉書ノ寸尺ハ長十四「センチメートル」幅九「センチメートル」ヲ超過スルヲ得ス又長十「センチメートル」幅七「センチメートル」ヲ下ルヲ得ス郵便葉書ハ露出ノ儘印チ帶紙又ハ封皮ヲ用非スレテ發送スルヲ要ス

郵便葉書ハ板紙ニテ又ハ取扱ニ妨ナキ様充分強韌ナル紙ニテ製造スルヲ要ス
二料金納付用ノ切手ハ成ルヘク表面ノ上部右隅ニ貼附スルヲ要ス名宛人ノ住所氏名及業務ニ關スル記事(書留、到達證等)ハ均シク表面ニ記載スルヲ要ス該表面ノ少クトモ右半部ハ此等ノ記載ニ充ツルモノトス差出人ハ次項ノ規定ヲ留保シ裏面及表面左半部ヲ使用スルモノトス

三郵便葉書ニハ料金納付用ノ切手ヲ除クノ外何等ノ物品ヲモ公衆ニ於テ添附スルヲ禁ス然レトモ名宛人ノ住所氏名及差出人ノ住所氏名ハ長五「センチメートル」幅二「センチメートル」ヲ超過セザルコトヲ得

ル紙札ヲ貼附シテ之ヲ記載スルコトヲ得又極メテ薄キ紙ニ於ケル模様畫又ハ寫眞ハ裏面及表面左半部ニ貼附スルコトヲ得但シ此等ノ物ハ葉書ニ完全ニ附著セシムルモノトス

四郵便往復葉書ハ表面ニ佛蘭西語ニテ第一部ニ「Carte postale avec réponse payée」第二部ニ「Carte postale-réponse」ナル題字ヲ表示スルヲ要ス此ノ兩部ハ各通常郵便葉書ニ必要ナル他ノ條件ヲ具備スルヲ要ス此ノ兩部ハ互ニ折合スヘシ何等ノ方法ヲ問ハス之ヲ封緘スルコトヲ得ス郵便往復葉書ノ差出人ハ其ノ住所氏名ヲ返信部ノ表面ニ筆書ヲ以テ又ハ紙札ヲ貼附シ指示スルコトヲ得

葉書發行國ノ郵便切手ニ依ル返信部ノ料金納付ハ郵便往復葉書ノ兩部カ差出國ヨリ原形ノ儘到着シ且其ノ返信部カ郵便ニ依リ到着シタル國ヨリ該差出國ノ名宛地ニ差立テラルル場合ニ限リ效力ヲ有スルモノトス此等ノ條件ヲ具備セザルトキハ該返信部ハ料金未納ノ郵便葉書トシテ之ヲ取扱フモノトス

五規定ノ記載寸尺、外形等ニ關シ此ノ種ノ郵便物ニ對シテ本條ニ規定スル條件ヲ具備セザル郵便葉書ハ書狀トシテ之ヲ取扱フモノトス

第十七條 業務用書類

一全部又ハ一部ヲ筆書又ハ描寫シタル總テノ書類ニシテ現實的且對人的通信ノ性質ヲ有セザルモノ例ヘハ既ニ原初ノ目的ヲ達シタル古キ日附ノ無封ノ書狀及郵便葉書、訴訟用書類、裁判所附屬吏ノ作成セル各種ノ證書運送狀又ハ船荷證券、勸定書、保險會社ノ業務上ノ諸文書、印紙附又ハ無印紙ノ紙ニ筆書シタル私證書ノ原本又ハ抄本、筆書セル樂譜、單獨ニ發送スル著述物又ハ新聞紙ノ草稿、原作及校正簿ノ學生ノ日課物ニシテ其ノ成績上ノ贊評ヲ附セザルモノ等ハ之ヲ業務用書類ト認メ條約第五條ニ規定スル低料ヲ以テ之ヲ郵送スルモノトス

二業務用書類ハ其ノ方式及條件ニ關シテハ印刷物ニ對スル規定(第十九條)ニ從フモノトス

第十八條 見本

一商品見本ハ左ノ條件ヲ具備スルモノニ限リ條約第五條ニ依リ該見本ニ附與スル郵便料低減ノ利益ヲ享受スルコトヲ得

商品見本ハ容易ニ検査シ得ル様袋箱又ハ開閉シ得ル封皮ニ納ムルヲ要ス

ハ商標番號代價並重量寸尺大小及供給シ得ル數量ニ關スル記載又ハ商品ノ生産地及性質ヲ明示スル爲必要ナル記載ヲ除クノ外一切筆書ヲ有スルコトヲ得ス

二玻璃器液體油脂肪體染料又ハ非染料ノ乾燥粉末物及生活蜜蜂ハ左ノ方法ニ依リ包装シアルトキハ之ヲ商品見本トシテ遞送スルコトヲ得

第一 玻璃器ハ郵便物及吏員ニ對スル總テノ危害ヲ豫防シ得ル様堅固ニ(金屬製又ハ木製ノ箱)包裝スルヲ要ス

第二 液體油及液化シ易キ物ハ密閉セル玻璃製ノ埴ニ納ムルヲ要ス各埴ハ之ヲ木製ノ箱ニ納メ埴破壊ノ際液體ヲ吸收スル様充分ニ錐屑綿又ハ海綿質ノ物ヲ填充スヘシ然ル後該木箱ハ更ニ金屬製ノ箱 螺釘附ノ蓋ヲ有スル 木箱又ハ強厚ノ革ニテ製シタル箱ニ納ムルヲ要ス

最脆弱ナル部分ニ於テ少クトモ二ミリメートルノ厚ヲ有スル穿孔セル木塊ヲ用井其ノ内部ニ吸収性ノ物ヲ充分ニ填充シ且蓋ヲ備フルトキハ之ヲ第二ノ箱ニ納ムルヲ要ス

第三 遞送上差シタル不便ヲ醸ササル膏藥軟性石鹼樹脂等ノ如キ容易ニ液化セサル脂肪體ハ第一容器(箱)布製羊皮紙製等ノ袋ニ納ムル更ニ木製金屬製又ハ強厚ノ革ニテ製シタル第二ノ箱ニ納ムルヲ要ス

第四 染料ノ乾燥粉末物ハ革製護膜布製又ハ強韌ナル油紙製ノ袋ニ又ハ非染料ノ乾燥粉末物ハ金屬製木製又ハ板紙製ノ箱ニ納ムルヲ要ス此等ノ袋又ハ箱ハ更ニ布製又ハ羊皮紙製ノ袋ニ納ムルモノトス

第五 生活蜜蜂ハ總テノ危害ヲ避ケ且包有品ヲ検査シ得ル構造ノ箱ニ納ムルヲ要ス

二單獨ノ鍵取リタル生花博物學上ノ物品乾燥又ハ保存セル動植物地質學上ノ標本等製法及包裝ニ依リ危害ヲ除キタル血精管及病理學上ノ物品又ハ商品見本ノ料金ヲ以テ之ヲ郵送スルモノトス此等ノ物品ハ商業ノ目的ヲ以テ發送スルヲ得且其ノ包裝方ハ商品見本ニ關スル一般ノ規定ニ從フヲ要ス

第十九條 各種印刷物

一新聞紙及定時刊行物木綴又ハ假綴ノ書籍冊子樂譜名刺「カルト」アドレノス「試刷」ニ關係ノ原稿ヲ添ヘ又ハ添ヘサルモノ、盲人用トシテ凸點又ハ凸字ヲ寫出セル紙、刻版物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、肖像畫、地圖、目錄、目論見書廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフ」ニ依ルモノ、並ニ活版、刻版、石版若ハ「オートグラフ」ニ依リ又ハ「騰寫器」及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ承認シ得ヘキ總テ其ノ他ノ器械的方法ニ依リ紙、羊皮紙又ハ板紙ニ印刷又ハ寫出シタル物ハ總テ印刷物ト認メ條約第五條ニ規定スル低料ヲ以テ之ヲ郵送スルモノトス

筆頭又ハ「タイプライター」ニテ書寫セルモノヲ「ポリグラフロー」(「クロモグラフロー」等)ノ器械的方法ニ依リ寫出シタルモノハ印刷物ト看做ス然レトモ低料ノ利益ヲ享受セムカ爲ニハ此等ノ寫出物ハ全ク同一ノモノ少クトモ二十部ヲ郵便局ノ窓口ニ差出スヲ要ス

二約束語ヲ構成シ得ヘキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ本條ニ於テ明ニ承認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ハ低料ヲ以テ發送スルコトヲ得ス

三左ノ事項ハ之ヲ認許ス

- イ 郵便物ノ外部ニ差出人ノ氏名屋號職業及住所ヲ記載スルコト
- ロ 印刷セル名刺或「クリスマス」及新年ノ「カード」ニ差出人ノ住所稱號及五語ヲ超ヘサル語辭又ハ約束の略字(「ト」等)ヲ以テ表示スル禮辭祝詞謝辭弔詞其ノ他禮儀上ノ式辭ヲ加筆スルコト
- ハ 印刷物ノ自體ニ筆頭又ハ器械的方法ヲ以テ差出日附並差出人及名宛人ノ氏名又ハ商號職業及住所ヲ記載シ又ハ之ヲ變更スルコト
- ニ 校正セル印刷ニ共ノ原稿ヲ添附スルコト並該印刷ニ共ノ校正方式及印刷ニ關スル變更及追加ヲ爲スコト餘白ナキ場合ニ於テハ此ノ追加ハ之ヲ別紙ニ爲スコトヲ得
- ホ 又印刷ニ非サル印刷物ニ印刷ノ誤謬ヲ訂正スルコト
- ヘ 印刷セル本文ノ一部ヲ抹殺スルコト
- ト 注意ヲ促サムトスル本文ノ語辭又ハ章句ニ接續線及字下線ヲ引クコト
- チ 筆頭又ハ器械的方法ヲ以テ物價表引札様式相場表商業上ノ同文通知及目録見書ニ數字ヲ旅行通知書ニ旅行人ノ氏名日附及豫定ノ旅行地名ヲ記入シ又ハ訂正スルコト
- リ 船舶發着通知書ニ發着日及船名ヲ筆頭ニテ記載スルコト
- ヌ 商品發送ノ通知書ニ發送ノ日附ヲ筆頭ニテ記載スルコト
- ル 招待及集會ノ「カード」ニ被招待者ノ氏名集合ノ日附目的及場所ヲ記載スルコト
- オ 書籍樂譜新聞紙寫眞及刻版物ニ贈與ノ語辭ヲ附記スルコト並其ノ物品ニ關スル勘定書ヲ添附スルコト
- ワ 書林發行ノ著述物書籍新聞紙刻版物樂譜ニ關スル注文書又ハ加入申込書ニ注文又ハ申込ノ著述物ヲ筆頭ニテ記載シ及印刷セル通信文ノ全部若ハ一部ヲ抹殺シ又ハ之ニ字下線ヲ引

クコト

- カ 肖像畫地圖等ニ彩色スルコト
 - ヨ 新聞紙及定時刊行物ノ切抜ニ共ノ切抜ノ事項ヲ登載セル本紙ノ題號日附番號及發行所ヲ筆頭又ハ器械的方法ヲ以テ附記スルコト
 - 四 印刷物ハ帶紙ニテ纏ヒ又ハ軸ニ卷キ又ハ板紙ニテ挟ミ又ハ二面若ハ兩端ノ開キタル箱ニ納メ又ハ開封ノ封皮ニ入レ又ハ郵便物ノ性質ヲ隱蔽セサル様單ニ折合セ又ハ容易ニ解キ得ル様線ニテ結縛スルヲ要ス
 - 五 「カルト」アドレッシ「共ノ他折合ササル「カード」ノ方式及品質ヲ有スル總テノ印刷物ハ帶紙封皮絲ヲ用井又ハ折合サスシテ之ヲ發送スルコトヲ得
 - 六 「Carte postale」ナル題字又ハ他國語ニテ之ニ相當スル題字ヲ有スル「カード」ハ印刷物ニ對シ本條ニ規定スル一般ノ條件ヲ具備スルトキハ印刷物ノ料金ヲ以テ之ヲ發送スルモノトス此等ノ條件ヲ具備セサルモノハ郵便書ト認メテ取扱フ但シ本規則第十六條第五項ニ該當スル場合ニハ同規定ヲ適用スヘキモノトス
- 第二十條 合裝郵便物
- 商品見本印刷物及業務用書類ハ同一郵便物ニ合裝スルコトヲ得但シ左ノ條件ニ從フモノトス
- 第一 各物品ハ夫夫其ノ物品ニ適用スヘキ重量及寸尺ニ關スル制限ヲ超過セサルコト
 - 第二 總重量ハ郵便物一箇毎ニ二「キログラム」ヲ超過セサルコト
 - 第三 郵便料ノ最低限ハ郵便物カ業務用書類ヲ包有スルトキハ二十五山印刷物及見本ヨリ成ルトキハ十山トスルコト
- 第二十一條 書狀目錄
- 一 聯合ノ二郵政機關ニ交換スル郵便物ニ添附スル書狀目錄ハ本規則附録E號様形ニ適合スルモノ

トス 該目錄ハ明ニ「Enlille d'avis」ノ記載ヲ有スル色封皮ニ納ムルモノトス

二書狀目錄ノ關係スル郵便ヲ組成スル別箇ノ行囊又ハ包束物アルトキハ其ノ箇數ヲ目錄ノ上部右隅ニ記載ス

反對ノ約定アルニ非サレハ海路ノ關係ニ於テハ差立局ハ各差立局カ各名宛局ニ對スル毎年ノ順序ニ從ヒ書狀目錄ノ上部左隅ニ番號ヲ附スルヲ要ス且郵便物ヲ搭載スル郵船又ハ船舶ノ名稱ヲモ該番號ノ下ニ成ルヘク記載スヘシ

三書狀目錄ノ頭部ニハ書留郵便物及該郵便物ヲ包有スル包束物又ハ行囊ノ總數ヲ記載シ且印章符又ハ筆書ニ依リ別配達郵便物ノ存在ヲ記載スルヲ要ス

四書留郵便物ニ付テハ一箇毎ニ書狀目錄第一表ニ左ノ細項ヲ記入スルモノトス

差出局名 同局ニ於ケル該郵便物ノ記帳番號及名宛地又ハ差出局名 名宛人氏名及名宛地

「Observations」欄ニハ到達證請求郵便物ノ記入ニ對シ「A. T.」ナル記載ヲ附記ス同欄ニハ代金引換書留郵便物ノ記入ニ對シ「Remb.」ナル記載及數字ヲ以テスル代金引換金額ノ記載ヲ附記スルモノトス

五 交換局ヨリ他ノ交換局ニ常時差立ツル書留郵便物ノ箇數上必要ナルトキハ書狀目錄第一表ノ代ニ一枚又ハ數枚ノ別箇ノ書留目錄ヲ使用スルヲ要ス

該目錄數枚ヲ使用スルトキハ同一目錄ニ記入レ得ル書留郵便物ノ箇數ハ三十ヲ以テ限トス

此ノ目錄ニ記入スル書留郵便物數 目錄數及該郵便物ヲ包有スル包束物又ハ行囊ノ箇數ハ書狀目錄ニ記入スルヲ要ス

六書狀目錄第二表ニハ同目錄ノ關係スル直接郵便ニ依リ差立テタル閉塞ヲ該表ノ必要トスル細項ニ從ヒ記入スルモノトス

七 Recommendation Office ノ欄ニハ無封ノ業務用書狀 交換業務ニ關係スル差立局ノ各種ノ通知

又ハ請求及返送空行囊ノ箇數ヲ記載スルモノトス

八或ル關係ニ對シ書狀目錄中更ニ他ノ表又ハ欄ヲ設クルヲ必要ト認ムルトキハ關係郵政廳間ノ協議ヲ以テ該方法ヲ實施スルコトヲ得

九交換局カ關係局ニ交付スヘキ何等ノ郵便物ヲ有セサルトキト雖單ニ無記入ノ書狀目錄ヨリ成ル郵便物ヲ通常ノ方式ニ依リ送付スルヲ要ス

十閉塞カ商船ニ依リ遞送セラレル爲一郵政廳ヨリ他ノ郵政廳ニ委託セラレル場合ニ於テ該閉塞ノ搭載ヲ擔當スル郵政廳ヨリ請求ヲ爲ストキハ書狀及其ノ他ノ物品ノ箇數又ハ重量ヲ書狀目錄及該閉塞ノ名宛面ニ記載スルヲ要ス

第二十二條 書留郵便物ノ遞送

一書留郵便物及第二十一條第五項ニ規定スル書留目錄アルトキハ該目錄ハ共ニ之ヲ一箇又ハ數箇ノ別箇ノ包束物又ハ行囊ニ納メ更ニ共ノ包有品ヲ保全シ得ル様適當ニ包裝シ又ハ締切リタル上之ニ封印ヲ施スヲ要ス書留郵便物ハ目錄記入ノ順序ニ從ヒ包束物毎ニ區分スルモノトス別箇ノ書留目錄數枚ヲ使用スルトキハ各目錄ヲ共ノ關係スル書留郵便物ニ結附スルモノトス

如何ナル場合ニ於テモ書留郵便物ハ普通郵便物ト混淆セムルヲ得ス

二書留郵便物ノ包束物ニハ其ノ外部ニ書狀目錄ヲ包有スル特別ノ封皮ヲ以テ縱横ニ結縛スルモノトス書留郵便物ヲ行囊ニ締切ルトキハ該封皮ハ之ヲ該行囊ノ括リ目ニ結附スルモノトス

三書留郵便物ノ包束物又ハ行囊カ一箇ヲ超ユルトキハ自餘ノ包束物又ハ行囊ニハ一箇毎ニ包有品ノ種別ヲ記載スル標札ヲ添附スルモノトス

四書留郵便物ノ包束物又ハ行囊ハ行囊ノ中央ニ且是カ開披ヲ爲ス吏員ノ注意ヲ促シ得ル様之ヲ納ムルモノトス

五以上ニ規定スル書留郵便物ノ包裝及遞送ノ方法ハ通常ノ關係ニ限リ之ヲ適用ス重要ナル關係ニ

於テハ關係郵政廳協議ノ上別段ノ方法ヲ規定スニキモノトス但シ何レノ場合ニ於テモ其ノ種別、形狀又ハ容積ノ爲行囊ニ挿入シ難キ書留郵便物ノ遞送ヲ爲ストキハ交換局長臨機處置スヘキモノトス

第二十三條 別配達郵便物ノ遞送

一 別配達ノ普通郵便物ハ特別ノ把束ニ結束シ交換局ニ於テ行囊ニ添附スル書狀目錄ヲ包有スル封皮ニ挿入スルモノトス

此ノ種ノ郵便物ニシテ其ノ形狀又ハ寸尺ノ爲書狀目錄ニ添附シ能ハサルモノカ行囊中ニ存在スルトキハ其ノ旨ヲ該把束ニ添附スル標札ニ記載ス

二 別配達ノ書留郵便物ハ其ノ順序ニ從ヒ他ノ書留郵便物中ニ挿置スルモノトス書狀目錄ノ「Orders」欄ニハ各郵便物ノ記入ニ對シ「Express」ナル記載ヲ爲スモノトス

第二十四條 閉囊ノ作成

一通則トシテ閉囊ヲ組成スル物品ハ郵便物ノ種別毎ニ料金完納ノモノト料金未納又ハ不足ノモノトヲ區別シテ結束スルヲ要ス

開披又ハ破損ノ痕跡ヲ有スル書狀ニハ其ノ事實ヲ記載シ且之ヲ發見シタル局ノ日附印ヲ押捺スルヲ要ス

露出ノ儘差立ツル郵便爲替券ハ多數ノ名宛國アルトキハ各名宛宛宛把束ニ區分シタル後別箇ノ包束物ト爲スモノトス此ノ包束物ハ交換局ニ於テ閉囊ニ添附スル書狀目錄ヲ包有スル封皮中ニ成ルヘク挿入スルモノトス

二 陸路交換ニ在リテハ郵便物ハ結束シタル後包有品ノ損傷ヲ避クル様充分ニ強硬ナル紙ヲ用井テ包纏シ更ニ外部ヨリ之ヲ結束シ封緘ヲ用井局印ヲ以テ封緘スルモノトス此ノ閉囊ニハ差立局名ハ小字、名宛局名ハ大字ニテ「、、、、、」ヨリ「、、、、、」ト印刷スル表記ヲ附スルモノトス

海路ニ依リ差立ツル閉囊ハ行囊ヲ用井テ適當ニ締切り封印又ハ封鉛ヲ以テ封緘シ之ニ標札ヲ添附スルモノトス陸路ニ依リ差立ツル閉囊モ其ノ容積上必要トスルトキハ亦同様トス

三 行囊ニ締切りタル閉囊ニ對シテハ標札ハ布、革若ハ羊皮紙ヲ以テ又ハ木札ニ貼附シタル紙ヲ以テ作成スルヲ要ス標札ニハ差出局及名宛局ヲ明瞭ニ記載スルヲ要ス

四 郵便物ノ箇數又ハ容積カ二箇以上ノ行囊ノ使用ヲ必要トスルトキハ成ルヘク左ノ物品ニ對シ別箇ノ行囊ヲ使用スルヲ要ス

甲 書狀及郵便葉書

乙 其ノ他ノ物品

各行囊ハ其ノ包有品ノ記載ヲ有スルヲ要ス

書留郵便物ノ包束物又ハ行囊ハ書狀行囊ノ一ニ納ムルモノトス

此ノ行囊ハ標札ニ「下」ナル文字ヲ明瞭ニ記載シテ之ヲ指示スルモノトス

五 各行囊ノ重量ハ四十「キログラム」ヲ超過セサルヲ要ス

六 行囊ハ空虛ノ儘次便ニテ差出國ニ返送スルヲ要ス但シ關係郵政廳ノ間ニ別段ノ約定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

空行囊ノ返送ハ關係郵政廳ノ間ニ豫メ協議ノ上夫夫是カ爲ニ指定スル關係國交換局ノ間ニ之ヲ爲スヲ要ス

空行囊ハ之ヲ卷キ結束シテ適當ノ包束物ト爲スヲ要ス標札用ノ木札アルトキハ之ヲ行囊ノ内部ニ納ムルヲ要ス該包束物ニハ行囊カ他交換局ノ媒介ニ依リ返送セララルトキハ其ノ都度該行囊ノ差立交換局名ヲ記載スル標札ヲ添附スルヲ要ス

返送スヘキ空行囊ノ數餘リ多カラサルトキハ郵便物ヲ包有スル行囊中ニ之ヲ納ムルコトヲ得反對ノ場合ニ於テハ別ニ之ヲ行囊ニ納メ封印ヲ施シ關係交換局名ヲ有スル標札ヲ添附スルヲ要ス

標札ハ「Ses videt」ナル記載ヲ有スヘキモノトス

第二十五條 閉塞ノ點檢

一 閉塞ヲ受取リタル交換局ハ書狀目錄ニ及書留目錄アルトキハ該目錄ニ記入シアル事項ノ正否ヲ點檢ス

閉塞ハ何等ノ異狀ナク交付セラレルヲ要ス然レトモ其ノ異狀ノ爲ニ閉塞ノ受取ヲ拒絶スルコトヲ得ス閉塞カ其ノ交付ヲ受ケタル局以外ノ局ニ宛テタルモノナルトキハ該閉塞ハ成ルヘク原包裝ヲ保存シテ更ニ之ヲ包裝スルヲ要ス包有品ニ異狀アリト認ムルトキハ再裝ヲ爲スニ先キ是カ點檢ヲ爲スモノトス

二 交換局ハ誤謬又ハ遺漏ヲ認知スルトキハ直ニ書狀目錄又ハ書留目錄ニ必要ノ訂正ヲ爲ス但シ其ノ誤謬ノ記載ハ原記入ヲ明瞭ニ存スル様筆頭ニテ一線ヲ劃シ之ヲ塗抹スルコトニ注意スヘシ三 此ノ訂正ハ吏員二名協議ノ上之ヲ爲シ明瞭ノ誤謬アルニ非サレハ原初ノ告知ヨリ優越ノ效力ヲ有ス

四 點檢狀ハ本規則附録下號雛形ニ從ヒ名宛局ニ於テ作成シ通達ナク官用書留トシテ差出局ニ送付スモノトス

本條第一項ニ規定スル場合ニ於テハ點檢狀ノ原本ハ再裝閉塞中ニ之ヲ挿入スルモノトス

五 差立局ハ點檢狀ヲ檢査シタル後異見アルトキハ之ヲ附記シテ返送ス

六 閉塞ニ箇若ハ數箇ノ書留郵便物、書狀目錄又ハ書留目錄不足ノ場合ニ於テハ名宛交換局ノ吏員二名成規ノ方式ニ依リ直ニ其ノ事實ヲ證明シ官用書留ト爲ス點檢狀ヲ以テ之ヲ差立交換局ニ通知スルモノトス然レトモ閉塞ノ不著カ遞送便ノ不結束ニ基クモノナルトキハ點檢狀ハ書留ノ手續ニ依ラサルモノトス事情カ必要トスルトキハ尙電報ニテ差立交換局ニ通知スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ電報ヲ發送シタル郵政廳ノ負擔トス同時ニ點檢狀ノ副本ハ名宛局ヨリ差出局ノ屬ス

ル郵政廳ニ正木ト同一ノ條件ニ依リ送付スルモノトス且一箇若ハ數箇ノ書留郵便物、書狀目錄又ハ書留目錄ノ不著ニ關スルモノナルトキハ此ノ副本ニハ行蓋又ハ封皮及該郵便物ノ包束物又ハ行蓋ノ封印ヲ若該包束物ニシテ發見セラレサルトキハ閉塞ノ線標札及封印ヲ添付スルヲ要ス

差出局又ハ媒介局ニ不著ヲ通報セル閉塞到着シタルトキハ該閉塞ノ受領ヲ通知スル第二點檢狀ヲ同局ニ送付スヘキモノトス

閉塞ノ不著カ送致證ヲ以テ正當ニ證明シアル場合ニ於テ該閉塞カ最近便ニ依リ名宛局ニ到着シタルトキハ點檢狀ノ作成ヲ要セサルモノトス

七 閉塞亡失ノ場合ニ於テハ媒介郵政廳ハ閉塞ニ締切リタル書留郵便物ニ對シ條約第八條ノ制限内ニ於テ責任ヲ有スルモノトス但シ該閉塞ノ不達ハ成ルヘク速ニ同廳ニ通知スヘキモノトス

八 名宛局カ點檢ノ後次便ヲ以テ誤謬又ハ諸般ノ違例ヲ證明スル點檢狀ヲ差立局ニ送付セサルトキハ該書類ノ存在ナキコトハ反對ノ證據アル迄ハ閉塞及其ノ包有品ヲ正當ニ受領シタルモノト同一ノ效力ヲ有ス

第二十六條 軍艦ト交換スル閉塞

一 聯合ノ一郵政廳ト同國ノ艦隊若ハ軍艦トノ間又ハ一艦隊若ハ一軍艦ト同國ノ他ノ艦隊若ハ軍艦トノ間ニ閉塞ヲ交換ヲ施設スルトキハ成ルヘク豫メ之ヲ媒介郵政廳ニ通知スルヲ要ス

二 此ノ閉塞ノ表記ハ左ノ如ク記載スルモノトス

在、國、地艦隊(國名及艦隊名)宛
在、國、地軍艦(國名及軍艦名)宛
又ハ

五不完全又ハ誤謬ノ名宛ヲ有シ之ヲ補充又ハ訂正スル爲差出人ニ還付シタル普通又ハ書留ノ各種郵便物カ其ノ表記ヲ補充又ハ訂正シテ再ヒ業務ニ差出サレタルトキハ之ヲ再發郵便物ト看做サス新ニ差出シタル郵便物ト看做シ是カ爲新ニ郵便料ヲ徴收スヘキモノトス

第二十八條 不能配達郵便物

一何等ノ原因ヲ問ハス不能配達ト爲リタル各種郵便物ハ名宛國ノ規則ニ依リ要スル保管期間後速ニ返付トモ歐洲外諸國トノ關係ニ於テハ六月共ノ他ノ關係ニ於テハ二月ノ期間内ニ夫夫交換局ヲ經由シ且「Jenkins」ナル標札ヲ附シ郵便物差出國ノ記載ヲ有スル特別ノ把束ト爲シ之ヲ返送スルヲ要ス二月及六月ノ期限ハ郵便物カ名宛局ニ到着シタル月ノ終ヨリ起算ス

二然レトモ不能配達ト爲リタル書留郵便物ハ差出國宛書留郵便物ト同様ニ同國交換局ニ返送スルモノトス但シ再發局ニ於テ書狀目錄第一表又ハ別箇ノ書留目錄ニ於ケル各箇ノ記入ニ對シ「Details」ナル記載ヲ「Observations」欄ニ爲スモノトス

三例外トシテ關係ニ郵政廳ハ協議ノ上不能配達郵便物ノ返送ノ他ノ方法ヲ採用スルコトヲ得又價格ナシト認ムル印刷物及名宛人ノ拒絕シタル料金不足ノ「チエーン、レフター」(所謂世界一周書狀)ニシテ名宛郵政廳カ名宛人ニ閉合セタル後該郵便物カ全ク「チエーン、レフター」ナルコトヲ確メタルモノハ相互ニ是カ返送ヲ爲ササルコトヲ協定スルコトヲ得

四何等ノ事由ヲ問ハス配達シ能ハサル郵便物ヲ差出郵政廳ニ返送スルニ先チ名宛郵政廳ハ「知レズ」拒絕「旅行中」出發「請求ナシ」死亡等ノ方式ヲ以テ不能配達ノ原因ヲ該郵便物ニ佛蘭西語ニテ簡明ニ記載スルヲ要ス此ノ記載ハ印章ノ押捺又ハ票符ノ貼附ニ依リ之ヲ爲スモノトス各郵政廳ハ不能配達ノ原因ノ自國語ニ於ケル翻譯其ノ他便宜ナリト認ムル記載ヲ附記スルノ權能ヲ有ス

五聯合ノ一國ニ於テ同國內ニ宛テ郵便ニ差出シ他ノ一國ニ居住スル人ヲ差出人トセル郵便物ニシ

テ不能配達ニ因リ差出人ニ還付スル爲外國ニ再發スルヲ要スルニ至リタルトキハ之ヲ國際交換ノ郵便物トシテ取扱フ此ノ場合ニ於テハ再發郵政廳及配達郵政廳ハ該郵便物ニ對シ第二十七條第二項及第三項ノ規定ヲ適用ス

六領事官付ニテ海員其ノ他ノ人ニ宛テタル郵便物ニシテ請求ナキモノトシテ領事ヨリ地方郵便局ニ返送セラレタルモノハ一般ノ不能配達郵便物ニ對シ場合ニ從ヒ第一項又ハ第二項ニ規定スル方法ニ依リ之ヲ取扱フヲ要ス該郵便物ニ對シ領事ヨリ徴收セシ料金額ハ同時ニ該地方郵便局ヨリ還付スルヲ要ス

第二十九條 不達普通郵便物ノ取調請求

一名宛地ニ到達セサル普通郵便物ニ關スル各取調請求ハ左ノ手續ニ從ヒ取扱フモノトス

第一 請求人ニ附録G號離形ニ適合スル式紙ヲ交付シ成ルヘク詳細ニ其ノ關係ノ部ニ記入スル様指示スヘシ

第二 請求ヲ受ケタル局ハ式紙ヲ直接ニ關係局ニ送付ス此ノ送付ハ職權ヲ以テ之ヲ爲シ何等ノ書面ヲ添ヘサルモノトス

第三 關係局ハ場合ニ從ヒ名宛人又ハ差出人ニ式紙ヲ呈示シ此ノ件ニ關スル通報ヲ提供スル様指示スヘシ

第四 此ノ通報ヲ記入シタル式紙ハ之ヲ作成シタル局ニ職權ヲ以テ返送スルモノトス

第五 請求カ相當ノ理由アリト認メラルル場合ニ於テハ爾後ノ取調ノ基礎ト爲ス爲之ヲ中央郵政廳ニ送付スルモノトス

第六 反對ノ協定アルニ非サレハ式紙ハ佛蘭西語ニテ記載シ又ハ佛蘭西語ニ於ケル對譯ヲ附記スルモノトス

二各郵政廳ハ總理局宛通知ニ依リ其ノ業務ニ關スル取調請求カ共ノ中央郵政廳又ハ同廳ノ特ニ指

定スル局ニ宛テ送付セラルヘキコトヲ要求スルコトヲ得

第三十條 書留郵便物ノ取調請求

一 書留郵便物ノ取調請求ニ對シテハ本規則附錄II號離形ニ適合又ハ類似スル式紙ヲ使用ス差出國郵政廳ハ該郵便物ヲ次ノ業務ニ遞送セシ日附ヲ證明シタル後該式紙ヲ直接ニ名宛郵政廳ニ送付ス

二 然レトモ歐洲外諸國トノ關係及此等諸國相互間ノ關係ニ於テハ請求書ハ取調請求ノ目的ヲ爲ス郵便物ト同一ノ遞送線路ニ依リ局ヨリ局ニ之ヲ送付スルモノトス

三 第一項ニ規定スル場合ニ於テ名宛郵政廳カ請求郵便物ノ確定ノ踪跡ヲ通報シ得ルトキハ該式紙ニ相當ノ通報ヲ記入シ之ヲ差出郵政廳ニ返送ス

數箇ノ業務ニ依リ開鑿ニテ繼續シタル郵便物ノ踪跡カ名宛國ノ業務ニ於テ直ニ證明シ得サルトキハ名宛郵政廳ハ式紙ヲ第一媒介郵政廳ニ送付ス同廳ハ該郵便物ヲ次ノ業務ニ遞送セシ細項ヲ證明シタル後請求書ヲ次ノ郵政廳ニ送付シ請求郵便物ノ確定ノ踪跡ヲ證明シ得ル迄順次之ヲ繼續ス名宛人ニ配達ヲ爲シタル郵政廳又ハ配達若ハ他ノ郵政廳ニ遞送ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ配達若ハ正當ノ遞送ヲ證明シ能ハサル郵政廳ハ其ノ事實ヲ式紙ニ記載シ之ヲ差出郵政廳ニ返送ス

四 第二項ニ規定スル場合ニ於テハ差出郵政廳ヨリ名宛郵政廳迄順次搜索ヲ繼續ス各郵政廳ハ次ノ郵政廳ヘノ遞送ノ細項ヲ式紙ニ記入シ之ヲ同廳ニ送付ス名宛人ニ配達ヲ爲シタル郵政廳又ハ配達若ハ他ノ郵政廳ニ遞送ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ配達若ハ正當ノ遞送ヲ證明シ能ハサル郵政廳ハ其ノ事實ヲ式紙ニ記載シ之ヲ差出郵政廳ニ返送ス

五 五號式紙ハ佛蘭西語ニテ記載シ又ハ同國語ニ於ケル對譯ヲ附記スルモノトス該式紙ニハ名宛人ノ完全ナル住所氏名ヲ記載シ成ルヘク郵便物ノ封皮又ハ表紙ノ模範ヲ添付スルヲ要求ス該式紙ハ送付書ヲ添ヘス封緘セル封皮ニ納メ遞送スルモノトス各郵政廳ハ總理局宛通知ニ依リ其ノ業務ニ關スル取調請求カ其ノ中央郵政廳 特ニ指定スル局又ハ直接ニ名宛局ニ宛テ又郵政廳カ單ニ媒介ノ名義ヲ以テ關係ヲ有スルニ止ルトキハ該郵便物ヲ受取リタル交換局ニ宛テ送付セラルヘキコトヲ請求スルコトヲ得

第三十一條 郵便物ノ取戻及名宛變更

一 郵便物ノ返送又ハ轉送ノ請求及名宛變更ノ請求ニ對シテハ差出人ハ本規則附錄I號離形ニ適合スル式紙ヲ使用スルヲ要ス差出人ハ此ノ請求書ヲ郵便局ニ差出シタル上其ノ本人タルコトヲ證明シ且受領證ヲ有スルトキハ之ヲモ呈示スルヲ要ス此ノ證明ニ付テハ差出國郵政廳其ノ責任シ證明後左ノ手續ヲ爲スモノトス

第一 請求カ郵便ニ依リ送達セラルヘキトキハ式紙ニ郵便物ノ封皮又ハ表書ノ完全ナル模寫ヲ添ヘ書留郵便物ト爲シテ直接ニ名宛郵便局ニ送付スルモノトス

第二 請求カ電信ニ依リ送達セラルルヲ要スルトキハ式紙ヲ電信業務ニ送付シ同業務ヨリ其ノ本文ヲ名宛郵便局ニ傳送スルモノトス

二名宛郵便局ハI號式紙又ハ之ニ代用スル電報ヲ受領シタルトキハ指定郵便物ヲ搜索シ請求ニ對シ必要ノ處置ヲ爲ス

然レトモ電信ニ依リ請求セル名宛變更ニ關スルモノナルトキハ名宛局ハ書狀ヲ留置キ必要ナル模寫ノ到著スルヲ待テ請求ニ對シ處置ヲ爲ス

搜索無效ナルカ、郵便物カ既ニ名宛人ニ配達セラレタルカ又ハ電信ニ依リ請求カ指定郵便物ヲ確認シ得ル様充分明瞭ナラサルトキハ其ノ事實ヲ直ニ差出局ニ通報シ同局ハ之ヲ請求人ニ通知ス

定スル局ニ宛テ送付セラルヘキコトヲ要求スルコトヲ得

第三十條 書留郵便物ノ取調請求

一 書留郵便物ノ取調請求ニ對シテハ本規則附録I號雛形ニ適合又ハ類似スル式紙ヲ使用ス差出國郵政廳ハ該郵便物ヲ次ノ業務ニ遞送セシメ口附ヲ證明シタル後該式紙ヲ直接ニ名宛郵政廳ニ送付ス

二 然レトモ歐洲外諸國トノ關係及此等諸國相互間ノ關係ニ於テハ請求書ハ取調請求ノ目的ヲ爲ス郵便物ト同一ノ遞送線路ニ依リ局ヨリ局ニ之ヲ送付スルモノトス

三 第一項ニ規定スル場合ニ於テ名宛郵政廳カ請求郵便物ノ確定ノ踪跡ヲ通報シ得ルトキハ該式紙ニ相當ノ通報ヲ記入シ之ヲ差出郵政廳ニ返送ス

數箇ノ業務ニ依リ開鑿ニテ繼續シタル郵便物ノ踪跡カ名宛國ノ業務ニ於テ直ニ證明シ得サルトキハ名宛郵政廳ハ式紙ヲ第一媒介郵政廳ニ送付ス同廳ハ該郵便物ヲ次ノ業務ニ遞送セシメ口附ヲ證明シタル後請求書ヲ次ノ郵政廳ニ送付シ請求郵便物ノ確定ノ踪跡ヲ證明シ得ル迄順次之ヲ繼續ス名宛人ニ配達ヲ爲シタル郵政廳又ハ配達若ハ他ノ郵政廳ニ遞送ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ配達若ハ正當ノ遞送ヲ證明シ能ハサル郵政廳ハ其ノ事實ヲ式紙ニ記載シ之ヲ差出郵政廳ニ返送ス

四 第二項ニ規定スル場合ニ於テハ差出郵政廳ヨリ名宛郵政廳迄順次搜索ヲ繼續ス各郵政廳ハ次ノ郵政廳ヘノ遞送ノ細項ヲ式紙ニ記入シ之ヲ同廳ニ送付ス名宛人ニ配達ヲ爲シタル郵政廳又ハ配達若ハ他ノ郵政廳ニ遞送ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ配達若ハ正當ノ遞送ヲ證明シ能ハサル郵政廳ハ其ノ事實ヲ式紙ニ記載シ之ヲ差出郵政廳ニ返送ス

五 五號式紙ハ佛蘭西語ニテ記載シ又ハ同國語ニ於ケル對譯ヲ附記スルモノトス該式紙ニハ名宛人ノ完全ナル住所氏名ヲ記載シ成ルヘク郵便物ノ封皮又ハ表記ノ模範ヲ添附スルヲ要ス該式紙ハ送付書ヲ添ヘス封緘セル封皮ニ納メ遞送スルモノトス各郵政廳ハ總理局宛通知ニ依リ其ノ業務ニ關スル取調請求カ其ノ中央郵政廳ニ指定スル局又ハ直接ニ名宛局ニ宛テ又郵政廳カ單ニ媒介ノ名義ヲ以テ關係ヲ有スルニ止ルトキハ該郵便物ヲ受取リタル交換局ニ宛テ送付セラルヘキコトヲ請求スルコトヲ得

第三十一條 郵便物ノ取戻及名宛變更

一 郵便物ノ返送又ハ轉送ノ請求及名宛變更ノ請求ニ對シテハ差出人ハ本規則附録I號雛形ニ適合スル式紙ヲ使用スルヲ要ス差出人ハ此ノ請求書ヲ郵便局ニ差出シタル上其ノ本人タルコトヲ證明シ且受領證ヲ有スルトキハ之ヲモ呈示スルヲ要ス此ノ證明ニ付テハ差出國郵政廳其ノ責任シ證明後左ノ手續ヲ爲スモノトス

第一 請求カ郵便ニ依リ送達セラルヘキトキハ式紙ニ郵便物ノ封皮又ハ表背ノ完全ナル摸寫ヲ添ヘ書留郵便物ト爲シテ直接ニ名宛郵便局ニ送付スルモノトス

第二 請求カ電信ニ依リ送達セラルルヲ要スルトキハ式紙ヲ電信業務ニ送付シ同業務ヨリ其ノ本文ヲ名宛郵便局ニ傳送スルモノトス

二名宛郵便局ハI號式紙又ハ之ニ代用スル電報ヲ受領シタルトキハ指定郵便物ヲ搜索シ請求ニ對シ必要ノ處置ヲ爲ス

然レトモ電信ニ依リ請求セル名宛變更ニ關スルモノナルトキハ名宛局ハ書狀ヲ留置キ必要ナル摸寫ノ到着スルヲ待テ請求ニ對シ處置ヲ爲ス

搜索無効ナルカ、郵便物カ既ニ名宛人ニ配達セラレタルカ又ハ電信ニ依リ請求カ指定郵便物ヲ確認シ得ル様充分明瞭ナラサルトキハ其ノ事實ヲ直ニ差出局ニ通報シ同局ハ之ヲ請求人ニ通知ス

スルモノトス

三 反對ノ協定アルニ非サレハ工號式紙ハ佛蘭西語ニテ記載シ又ハ同國語ニ於ケル對譯ヲ附記スルモノトス又電信ヲ使用スル場合ニ於テハ電報ハ佛蘭西語ニテ記載スルモノトス

四名宛ノ簡單ナル訂正(名宛人ノ氏名又ハ身分ヲ變更スルコトナク)ハ直接ニ名宛局ニ即チ眞ノ名宛變更ニ對シ規定スル手續ヲ履行スルコトナク之ヲ請求スルコトヲ得

五 各郵政廳ハ總理局宛通知ニ依リ同廳ニ對スル請求ノ交換カ其ノ中央郵政廳又ハ特ニ指定スル局ヲ經由シテ行ハルヘキコトヲ請求スルコトヲ得

請求ノ交換カ中央郵政廳ヲ經由シテ行ハルル場合ニ於テハ差出局ヨリ名宛局ニ直接ニ發送シタル請求ハ中央郵政廳ノ請求書到着スル迄關係郵便物ノ配達ヲ見合サシムルノ效力アルモノトシテ處理スルヲ要ス

本項第一節ニ規定スル權能ヲ行使スル郵政廳ハ郵便又ハ電信ニ依リ名宛局ト交換スヘキ通信ノ內國業務ニ於ケル送達ヨリ生スル費用ヲ負擔スルモノトス

差出人ニ於テ自ラ電信ヲ使用スルトキ及郵便ニ依リ必要ノ時期ニ於テ名宛局ニ通知シ能ハサルトキハ電信ニ依ルヲ要ス

第三十二條 詐欺ノ嫌疑アル郵便切手ノ使用

料金前納ノ爲詐欺ノ郵便切手ヲ使用セルコトヲ證明スル爲左ノ手續ヲ爲ス但シ各國ノ法制上特ニ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ留保ハ本條ノ規定中明示シアラサル場合ニ於テモ亦之ヲ適用ス

甲 何等ノ郵便物ヲ問ハス詐欺ノ郵便切手(偽造又ハ既ニ使用シタル)貼附シタルコトヲ自國ノ法制上直ニ郵便物ノ即時差押ヲ要セサル郵政廳ニ於テ差立ノ際發見スルトキハ該切手ニ何等ノ所爲ヲ施サス郵便物ヲ名宛局宛封皮ニ納メ官用書留ニテ之ヲ發送スルモノトス

乙 此ノ手續ヲ爲シタルトキハ本規則附錄K 號離形ニ適合スル通知書ヲ以テ差出國及名宛國ノ郵政廳ニ遲滞ナク之ヲ通知スルモノトス尙此ノ通知書ノ一通ハ詐欺ト認ムル郵便切手貼附ノ郵便物ヲ封入スル封皮ニ納メ之ヲ名宛局ニ送付スルモノトス

丙 反則ヲ證明スル爲名宛人ヲ召喚ス

郵便物ハ名宛人又ハ其ノ代人ニ於テ正當ノ料金を支拂ヒ差出人ノ住所氏名ヲ告知スルコト及包有品ヲ知得シタル後ハ犯罪ノ部分ト分離スル能ハサル郵便物ニ在リテハ其ノ全部、其ノ他ノ場合ニハ表記及詐欺トシテ通知セラレタル切手ヲ有スル郵便物ノ一部(封皮、帶紙、書狀ノ一部等)ヲ郵便局ノ處分ニ委スルコトヲ承諾シタル場合ニ限り之ヲ交付ス

召喚ノ結果ハ本規則附錄L 號離形ニ適合スル調書ヲ以テ之ヲ證明スルモノトス又召喚ニ應セス郵便物ノ受領、開封又ハ差出人ノ告知ヲ拒絕スル等不慮ノ事故發生スルトキハ之ヲモ記入スルモノトス此ノ書類ニハ郵便吏員及郵便物名宛人又ハ其ノ代人署名スルモノトス名宛人又ハ代人署名ヲ拒絕スルトキハ其ノ旨ヲ署名ノ場所ニ記載スルモノトス

調書ハ證據物件ヲ添ヘ之ヲ差出國郵政廳ニ送付スルモノトス同廳ハ其ノ內國法制ニ依リ犯罪ノ處分ヲ要スルトキハ此等書類ヲ参照シ是カ處分ヲ爲ス

第三十三條 繼越料ノ統計

一 聯合内及聯合疆域外ニ於ケル繼越料計算ノ爲條約第四條及第十七條ニ依リ行フヘキ統計ハ次條ノ規定ニ依リ六年毎ニ一回交互ニ十一月又ハ五月、最初ノ二十八日間ニ之ヲ調査スルモノトス

千九百十七年十一月ノ統計ハ千九百十八年乃至千九百二十三年ノ各年ニ適用シ千九百二十三年五月ノ統計ハ千九百二十四年乃至千九百二十九年ノ各年ニ適用スヘシ

二 重要ナル關係ヲ有スル國カ聯合ニ加入シタル場合ニ於テ是カ爲繼越料支拂ノ關係ニ變更ヲ來ス

ヘキ地位ニ在ル聯合國ハ專ラ新加入國ニ關スル特別ノ統計ヲ請求スルノ機能ヲ有ス
三郵便物ノ遞送上ニ重要ナル變動ヲ生シ其ノ變動一回又ハ數回ニテ合計少クトモ十二月ニ渉ルト
キハ關係郵政廳ハ該繼續料ノ關スル郵便物ノ遞送ニ此等諸廳ノ干與セル部分ニ比例シテ繼續料
ノ分配ヲ相互ニ定ムル爲協議スルモノトス必要ナルトキハ新統計ニ依ル

第三十四條 閉塞

一聯合ノ二郵政廳間又ハ聯合ノ一郵政廳ト聯合外ノ一郵政廳トノ間ニ他ノ一箇者ハ數箇ノ郵政廳
ノ疆域ヲ通過シ又ハ其ノ業務ニ依リ閉塞ニテ交換スル郵便物ハ本規則附錄M號離形ニ適合スル
表ニ之ヲ記載ス同表ハ左ノ規定ニ依リ之ヲ作成スルモノトス
各統計期間中別箇ノ行塞又ハ包裹物ハ「書狀及郵便葉書」ニ對シ及「其ノ他ノ物品」ニ對シ之ヲ使用
スルヲ要ス此ノ行塞又ハ包裹物ニハ「夫夫」J.C.及「A.O.」ナル標札ヲ添附スルヲ要ス
本規則第二十四條ノ規定ノ例外トシテ各郵政廳ハ統計期間中書狀及郵便葉書以外ノ書留郵便物
ヲ其ノ他ノ物品ニ對スル行塞又ハ包裹物ニ納メ其ノ事實ヲ書狀目錄ニ記載スルノ機能ヲ有ス然
レトモ前記第二十四條ニ依リ此等ノ書留郵便物ヲ書狀ノ行塞又ハ包裹物ニ納ムルトキハ該郵便
物ハ重量ノ統計ニ關シテハ書狀郵便物ノ一部ヲ爲スモノトシテ之ヲ取扱フモノトス

二聯合ノ一國ヨリ聯合ノ他ノ一國ニ宛テタル閉塞ニ關シテハ差立交換局ハ郵便物ノ差出地又ハ名
宛地ヲ區別スルコトナク書狀及郵便葉書ノ全體重量並其ノ他ノ物品ノ全體重量ヲ閉塞名宛交換
局宛書狀目錄ニ記載ス全體重量ハ包裝ノ重量ヲ包含スルモノ別箇ノ行塞ニ仕立ツル空行塞ノ重量
ハ之ヲ包含セス名宛交換局ハ此等ノ記載ヲ検査シ差立局ノ告知中ニ於ケル各誤謬ニシテ重量ノ
相違五十「グラム」ヲ超過スル場合ニ關スルモノニ付テハ點檢狀ヲ以テ直ニ之ヲ差立局ニ通知ス
ルモノトス
三統計手續終了後成ルヘク速ニ名宛局ハ差立郵政廳ヲ包含スル關係郵政廳ノ數ニ等シキ通數ノ表

(M號離形)ヲ作成ス該表ハ之ヲ作成シタル交換局ニ於テ借越郵政廳ノ交換局ニ送付レ共ノ承認
ヲ求ムルモノトス借越郵政廳ノ交換局ハ此ノ表ヲ承認シタル後該局ノ屬スル中央郵政廳ニ之ヲ
送付シ同屬ハ之ヲ關係郵政廳ニ分配スヘキモノトス
四聯合ノ一國ト聯合外ノ一國トノ間ニ一箇又ハ數箇ノ聯合郵政廳ノ媒介ニ依リ交換スル閉塞ニ關
シテハ聯合國交換局ハ差立テタル又ハ到着シタル閉塞ニ對シM號離形ノ表ヲ作成シテ聯合疆域
ヲ出テ又ハ聯合疆域ニ入ル地ノ郵政廳ニ之ヲ送付シ同郵政廳ハ統計期間ノ終ニ於テ自廳及借越
郵政廳ヲ包含スル關係郵政廳ノ數ニ等シキ通數ノ總統計表ヲ作成スルモノトス該表ハ一通フツ
借越郵政廳及閉塞ノ遞送ニ干與シタル各郵政廳ニ之ヲ送付スルモノトス
五權越閉塞ヲ差立テタル郵政廳ハ各統計期間後該閉塞ノ目錄ヲ媒介ニ干與シタル諸郵政廳ニ送付
ス

六一郵船ニ依リ到着シ他ノ郵船ニ轉載セラルヘキ閉塞ヲ一港ニ於テ單ニ保管スルモ保管地郵政廳
ノ爲ニ陸路繼續料ノ支拂ヲ生セサルモノトス
七軍艦ヨリ差立テ又ハ之ニ宛ツル閉塞ニ關スル表(M號離形)ヲ作成スルハ軍艦所屬國郵政廳ノ任
務トス該閉塞ハ統計期間中ハ其ノ標札ニ左ノ記載ヲ有スルヲ要ス
甲 包有品ノ種類及本條第一項ノ規定ニ依ル全體重量
乙 通過シ又ハ通過スヘキ線路

統計期間中軍艦宛閉塞ヲ再發スル場合ニ於テハ再發郵政廳ハ軍艦所屬國郵政廳ニ之ヲ通知
ス
第三十五條 閉塞郵便物
一統計期間中閉塞ニテ遞送スル普通及書留郵便物並價格表記書狀ニ付テハ差立交換局ニ於テ書狀
目錄ニ左ノ事項ヲ記入ス

開 票 郵 便 物	箇 數
書 狀
郵便書
其ノ他ノ物品

條約第四條第八項ノ規定ニ依リ總テノ繼越料ヲ免除セラルル郵便物ハ此ノ箇數中ニ包含セサルモノトス

一 關係交換局ハ書狀目錄ニ於ケル記入ヲ検査シタル後郵便物ヲ受取り自局ノ郵便物ト混淆シテ其ノ名宛地ニ向ケ之ヲ遞送スルモノトス

二 差立交換局ノ告知中ニ於ケル各誤謬ハ點檢狀ヲ以テ直ニ同局ニ通知スルモノトス

四 開票郵便物ナキトキハ差立局ハ書狀目錄ノ頭部ニ左ノ記載ヲ爲スモノトス

[Pas de correspondances à convertir]

第三十六條 繼越料計算書

一 開票遞送ノ郵便物數及開票ノ重量ニ夫夫十三ヲ乘シテ各郵政廳ニ歸屬スル繼越料ノ年額ヲ法、山ニテ算出シ特別計算書ノ基礎ニ供スルモノトス此ノ乘數カ業務ノ定期度數ニ適應セサル場合又ハ統計期間中非常ノ差立アリタルトキハ關係郵政廳ハ他ノ乘數ヲ採用スル爲協議スルモノトス計算書ヲ作成スルノ任務ハ貸越郵政廳ニ屬シ同應ハ之ヲ借越郵政廳ニ送付ス認容セラレタル乘數ハ同一統計期間ノ六年ニ對シ毎回其ノ效力ヲ有ス

二 行發及包裝條約第四條第八項ノ規定ニ依リ總テノ繼越料ヲ免除セラルル各種郵便物ノ重量ヲ計算スル爲開票計算書ノ合計額ヨリ百分ノ十ヲ減ス

三 特別計算書ハ成ルヘク本規則附録N號、O號及P號雛形ニ從ヒ二通ヲ作成スルモノトス

四 特別計算書ノ作成及送付ハ成ルヘク速ニ遲クトモ統計調査ノ翌年ノ終了前ニ之ヲ爲スヲ要ス

如何ナル場合ニ於テモ計算書ヲ送付シタル郵政廳カ其ノ送付ヨリ六月ノ期間内ニ何等ノ訂正意見ヲ受領セサルトキハ該計算書ハ當然承認セラレタルモノト看做ス

五 關係郵政廳ノ間ニ反對ノ協定アルニ非サレハ陸路及海路ノ繼越料ヲ包含スル總計算書ハ總理局ニ於テ之ヲ作成スルモノトス

六 是カ爲兩郵政廳間ノ相互ノ特別計算書作成セラレタル後直ニ兩郵政廳ノ雙方ニ於テ該計算書ノ合計額ヲ指示スル表(Q號)ヲ作成シ兩局ヨリ遲滞ナク遅クトモ統計調査ノ年ニ次々第二年ノ終了前ニ之ヲ總理局ニ送付スルモノトス

郵政廳ノ一方カ右ニ定ムル期間内ニ該記載ヲ送付セサル場合ニ於テハ他方ノ郵政廳ノ記載ヲ有シトス

兩郵政廳カ特別ノ精算ヲ爲スコトヲ協定シタル場合ニ於テハ該表ニ「Compte réglé à part à titre d'information」ノ文字ヲ記載スヘシ該表ハ總計算書ニ包含セラレサルモノトス

兩郵政廳ノ關係記載ノ間ニ相違アル場合ニ於テハ總理局ハ之ヲ一致セシメ且其ノ確定額ヲ通知セシムル爲兩局ニ催告ス

本條第四項第二節ノ場合ニ於テハ該表ニ「Aucune observation de l'Office débiteur n'est parvenue dans le délai réglementaire」ノ文字ヲ記載スルヲ要ス

七 總理局ハ萬國郵便條約第四條第九項ニ規定セル計算廢止ヲ爲シ之ヲ關係郵政廳ニ通知ス

八 千九百九十九年及次ノ各年ノ最初ノ三月ノ終ニ於テ總理局ハ其ノトキ迄ニ受領セル表ヲ繼越料ノ年次計算書ニ集記ス此ノ計算書ニハ左ノ事項ヲ記載ス

甲 各郵政廳ノ借高及貸高ノ合計

乙 各郵政廳ノ借越差額又ハ貸越差額即チ總借高ト總貸高トノ差額ヲ表示スルモノ

丙 借越郵政廳ニ於テ支拂フヘキ金額

丁 貸越郵政廳ニ於テ受領スヘキ金額

甲乃至丁ニ掲ケル兩種ノ差額ノ合計ハ必ス等一ナルヲ要ス
總理局ハ借越郵政廳ノ爲スヘキ支拂口數ヲ成ルヘク制限スルコトヲ期スヘシ
九年度計算書ハ成ルヘク速ニ總理局ヨリ聯合郵政廳ニ送付スルヲ要ス

第三十七條 借越料ノ精算

一 總理局ノ計算書ヨリ生スル毎年ノ差額ハ借越郵政廳ヨリ貸越郵政廳ニ手形ヲ以テ之ヲ支拂フモ
ノトス貸越郵政廳カ法ヲ貨幣ノ單位トスルトキハ手形ハ借越郵政廳ノ意思ニ依リ貸越國ノ或ル
地ニ宛テ正貨法ニテ之ヲ振出スモノトス貸越郵政廳カ法ヲ貨幣ノ單位トセザルトキハ手形ハ借
越郵政廳ノ意思ニ依リ正貨法ニテ巴里若ハ貸越國ノ或ル地ニ宛テ又ハ貸越國ノ貨幣ニテ同國ノ
或ル地ニ宛テ之ヲ振出スモノトス後段ノ場合ニ於テハ關係郵政廳ハ其ノ手續ニ關シ且必要ナル
トキハ支拂フヘキ差額ヲ貸越國ノ硬貨ニ換算スル割合ニ付協定ヲ爲ス支拂ノ費用ハ借越郵政廳
ニ於テ之ヲ負擔スルモノトス

一 毎年ノ差額ノ支拂ハ成ルヘク速ニ遲クトモ計算書受領後歐羅巴諸國ニ在リテハ三月其ノ他ノ諸
國ニ在リテハ四月ノ期間満了前ニ之ヲ爲スヲ要ス此ノ期間經過スルトキハ一郵政廳ヨリ他郵政
廳ニ支拂フヘキ金額ハ年五分ノ割合ヲ以テ該期間満了ノ日ヨリ利子ヲ生ス

第三十八條 總理局經費ノ分擔

一 總理局ノ經常費ハ年額十二萬五千法ヲ超過スルヲ得ス但シ大會議又ハ小會議ノ開設ヨリ生スル
特別ノ費用ハ之ヲ包含セス
一 瑞西郵政廳ハ總理局ノ經費ヲ監査シ必要ナル立替拂ヲ爲シ且毎年ノ計算書ヲ作成ス此ノ計算書
ハ總理局ノ他ノ郵政廳ニ通知セラルルモノトス

三 經費分擔ノ爲聯合國ハ之ヲ七等ニ分チ每等左ノ部數ノ割合ニテ出金スルモノトス

- 第一等 二十五部
- 第二等 二十部
- 第三等 十五部
- 第四等 十部
- 第五等 五部
- 第六等 三部
- 第七等 一部

四 此ノ部數ニ各其ノ等ノ國數ヲ乘シ其ノ積ノ和ヲ以テ總部數ヲ得之ヲ以テ經費ノ總額ヲ除シ其ノ
商ヲ經費ノ一部ニ對スル金額トス

五 聯合諸國ハ經費分擔ノ爲左ノ如ク區分セラルルモノトス

- 第一等 獨逸、埃地利、亞米利加合衆國、佛蘭西、大不列顛、洪島利、英領印度、深太利利聯邦、加那
利、日本、露西亞、土耳其
- 第二等 西班牙
- 第三等 白耳義、伯西兒埃及、和蘭、羅馬尼、瑞典、瑞西、亞爾是利、印度支那、佛蘭西殖民地及保護
國其ノ他ノ佛蘭西殖民地全體、亞米利加合衆國屬島全體、蘭領印度
- 第四等 丁抹那威、葡萄牙、亞非利加、葡萄牙殖民地其ノ他ノ葡萄牙殖民地全體
- 第五等 亞然的音(共和國)、ボスニア、ヘルゼゴヴィナ、勃爾瓦利、智利、古倫比亞、希臘、墨西哥、白
露、塞爾維、突尼斯
- 第六等 「ボリヴィー」、古西多利加、玖瓊、「ドミニカ」共和國、「ニクアートル」、「ガテマラ」、「ハイチ」、「ホン

第七等 公果獨立國、韓、クレート、ギネー、海西班牙殖民地、伊太利殖民地全體、リベリア、滿得涅各羅

第三十九條 總理局ヘノ通報

一 總理局ハ國際關係ニ利益アル定期及一般ノ通知ノ媒介ニ任ス

二 聯合ニ加入スル郵政廳ハ相互ニ總理局ノ媒介ニ依リ左ノ諸件ヲ特ニ通報スルヲ要ス

第一 條約第五條ヲ適用シ海路離越料又ハ特殊送送ノ費用トシテ聯合郵便料ノ外ニ徵收スル増郵便料ノ記載及此ノ増郵便料ヲ徵收スル關係ノ諸國ノ名稱並増郵便料ノ徵收ヲ必要トスル線路アルトキハ其ノ名稱

第二 郵便切手三組及從前發行ノ郵便切手ノ效力消滅スヘキトキハ其ノ日附ノ指示

第三 諸郵政廳カ條約及本規則ノ或ル一般規定ヲ適用シ又ハ適用セサルコトニ付郵政廳ニ附與セル權能ヲ行使セムトスルヤ否ヤノ通知

第四 條約第二十一條ヲ適用シテ締結スル特別ノ約定ニ依リ又ハ條約第二十條ヲ實施シテ採用シタル低減郵便料及此ノ低減郵便料ヲ適用スヘキ關係ノ指示

第五 輸入又ハ離越ヲ禁止スル物品及條件ヲ附シテ夫夫其ノ業務内ニ於ケル遞送ヲ許ス物品ノ目錄該目錄ニハ左ノ遞送方法毎ニ該物品ヲ各別ニ記載スルヲ要ス

甲 通常郵便ニ依ルモノ(書狀、印刷物、商品見本)

乙 小包郵便物ノ方式ニ依ルモノ(締約國又ハ非締約國トノ關係ニ於テ)

丙 其ノ他ノ方式ニ依ルモノ(郵政廳又ハ他ノ遞送業者ノ媒介ニ依リ)但シ隨意トス

三 前記ノ五件ニ關シ其ノ後變更アルトキハ同一ノ方法ニ依リ遲滞ナク之ヲ通知スルヲ要ス

四 總理局ハ又聯合各郵政廳ヨリ內國業務及國際業務ニ關シ同廳ノ發行スル各文書ヲ二部ツツ受領ス

第四十條 一般ノ統計

一 各郵政廳ハ附錄R號及S號雛形ニ適合又ハ類似スル諸表ニ從ヒ前年ニ關スル成ルヘク完全ナル統計報告ヲ作成シ毎年七月ノ終ニ之ヲ總理局ニ送付ス

二 記帳ヲ爲ス業務ノ情況ハ其ノ實際ノ記録ニ從ヒ定時製表スルモノトス

三 總テ其ノ他ノ業務ニ付テハ書狀郵便、印刷物業務用書類及商品見本ノ間ニ區別ヲ設クルコトナク毎年各種郵便物ノ總數ノ計算ヲ爲シ遲クトモ三年毎ニ一回郵便物ノ種別計算ヲ行フモノトス

統計ハ毎日交換ノモノニ付テハ十月ノ第二火曜日ヨリ一週間毎日交換ニ非サルモノニ付テハ同月一日ヨリ四週間之ヲ行フ

特別統計期ヨリ特別統計期ニ至ル迄ノ間ニ於テハ種別計算ハ前同ノ特別統計ニ依リ得タル數ノ割合ニ從ヒ之ヲ爲スモノトス

四 總理局ハ各郵政廳ニ於テ記入スヘキ統計式紙ヲ印刷配付スヘキモノトス同局ハ又成ルヘク統計手續ノ均一ヲ確保スル爲メ郵政廳ノ請求ニ應シ遵守スヘキ規則ニ關スル必要ノ指示ヲ爲スヘキモノトス

第四十一條 總理局ノ職務

一 總理局ハ毎年ノ一般統計ヲ作成ス

二 總理局ハ寄贈ヲ受ケタル文書ニ依リ獨、英、佛ノ三語ニ於ケル特別ノ一新聞紙ヲ編輯ス

明治四十年九月 告示 逓信省第五十五號 萬國郵便條約施行規則

一六二九

三總理局ハ第三十九條ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル通報ニ從ヒ聯合各國ニ於ケル條約及本規則ノ施行上一般ノ利益ニ關スル各報告類聚ヲ發行ス其ノ後ノ變更ハ每半年ノ附録ヲ以テ之ヲ通知スルモノトス然レトモ至急ノ場合ニ於テ郵政廳カ共ノ業務中ニ生シタル變更ノ即報ヲ特ニ請求スルトキハ總理局ハ特別ノ回章ヲ發ス

聯合ノ特殊約定ノ實施ニ關スル同様ノ類聚ハ該約定ニ加入スル郵政廳ノ請求ニ依リ總理局ニ於テ之ヲ發行スルコトヲ得

四總理局ニ於テ發行スル總テノ文書ハ第三十八條ニ依リ聯合各郵政廳ノ負擔スル出全部數ニ比例シテ同郵政廳ニ配付スルモノトス

五此等ノ郵政廳ヨリ請求スルコトアルヘキ規定外ノ部數及文書ニ付テハ別ニ共ノ實費ヲ支拂フモノトス

六總理局ハ又聯合ノ諸員ヨリ國際郵便業務ニ關スル問題ニ付必要ナリトスル特別ノ通報ヲ請求セラルルトキハ常ニ之ニ應スヘキモノトス

七總理局ハ聯合ノ規定ノ修正又ハ解釋ニ關スル請求ヲ通知シ且其ノ結果ヲ通知ス總テ可決セシ修正又ハ決議ハ通知ヨリ少クトモ三月ノ後ニ非サレハ實施力ヲ有セサルモノトス

八總理局ハ第四十二條ニ定ムル條件ニ依リ同局ノ媒介ヲ望ムコトヲ通告スル聯合郵政廳ノ間ニ於ケル各種計算書ノ差引決算ヲ行フ

九總理局ハ大會議又ハ小會議ノ業務ヲ準備ス同局ハ修正案、議事録其ノ他ノ通報ノ必要ナル膠寫及印刷、編輯並配付ヲ擔當ス

十總理局長ハ大會議又ハ小會議ニ出席シ討議ニ參加スルモ表決ノ權ヲ有セス

十一總理局長ハ其ノ事務ニ付年報ヲ作成シ之ヲ聯合各郵政廳ニ通知ス

十二總理局ノ官用語ハ佛蘭西語トス

十三總理局ハアルファベント順ニ依リ萬國郵便局名字書ノ發行ヲ擔當シ未ダ一般ニ施行セラレサル業務ヲ取扱フ局ニハ特別ノ記號ヲ附ス此ノ字書ハ附録又ハ總理局カ適當ト認ムル總テ其ノ他ノ方法ニ依リ常ニ之ヲ現行ノモノト爲ス

本項ニ記載スル局名字書ハ之ヲ請求スル郵政廳ニ實費ヲ以テ交付スルモノトス

十四總理局ハ萬國郵便條約第十一條ニ規定スル返信切手券ノ製造及供給竝本規則第七條ニ記載スル此ノ業務ニ關スル計算書ノ作成及決算ヲ擔當スルモノトス

第四十二條 聯合郵政廳間ノ計算書ノ決算中央局

一萬國郵便聯合總理局ハ法ヲ貨幣ノ單位ト爲シ又ハ自國貨幣ヲ正貨法、山ニ換算スル割合ヲ協定シタル聯合國郵政廳ノ間ニ於ケル國際郵便業務ニ關スル各種計算書ノ差引決算ヲ擔當スルモノトス

此ノ決算事務ニ對シ總理局ノ幫助ヲ請求セムトスル郵政廳ハ是カ爲相互間ニ及同局ト協議ヲ爲ス

各郵政廳ハ其ノ加入ニ拘ラス諸種ノ業務ニ對シ隨意ニ特別ノ計算書ヲ作成シ且總理局ノ媒介ヲ經スシテ其ノ關係者ト適宜ニ決算ヲ爲スノ權利ヲ留保ス各郵政廳ハ前節ノ規定ニ依リ何種ノ業務及何國ニ對シテ總理局ノ幫助ヲ請求スルヤ同局ニ通知スヘキモノトス

關係郵政廳ノ請求ニ依リ電信ノ計算書モ亦差額ノ相殺ニ組入ルル爲總理局ニ通知スルコトヲ得

總理局ノ媒介ニ依リ計算書ノ差引決算ヲ爲ス郵政廳ハ同局ニ通知ノ後三月ヲ經テ其ノ媒介ニ依ルコトヲ廢止スルコトヲ得

二特別計算書ハ互ニ之ヲ審査決定シタル後借越屬ハ各種ノ業務ニ對シ承認書ヲ貸越屬ニ送付ス該承認書ニハ二箇ノ特別計算書ノ差引殘額ヲ法、山ニテ記載シ貸越ノ目的及其ノ關係期間ヲ附記

然レトモ爲替ノ交換ニ關スルモノニ付テハ借越應ハ自應ノ特別計算書ヲ作成シ且關係郵政廳ヨリ特別計算書ヲ受領シタルトキハ詳細ナル點檢ヲ待タスシテ直ニ承認書ヲ送付スルヲ要ス其ノ後發見スル相違ハ次ノ最初ノ計算書ニ記入スルモノトス

内國會計ノ爲總計算書ヲ欲スル郵政廳ハ自ラ之ヲ作成シ關係郵政廳ノ承認ヲ求ムヘシ但シ反對ノ取極アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郵政廳ハ相互ノ關係ニ於ケル他ノ方法ノ實施ヲ協議スルコトヲ得

三各郵政廳ハ毎月又特別ノ事情ニ依リ必要トスルトキハ三月毎ニ特別計算書ニ於ケル自應ノ貸高及各締約郵政廳ニ對シ貸越ト爲レル金額ノ合計ヲ記載スル計算表ヲ總理局ニ送付ス此ノ計算表ニ記載スル各貸越高ハ借越應ノ承認書ヲ以テ證明スルヲ要ス

此ノ計算表ハ運クトモ毎月又ハ毎三月ノ第一月ノ十九日ヲ期シ總理局ニ到達セシムルヲ要ス之ニ違フトキハ翌月又ハ次ノ三月ノ決算ニ繰越サルヘシ

四總理局ハ承認書ニ基キ計算表ノ正否ヲ審査ス必要ナル各訂正ハ之ヲ關係郵政廳ニ通知スルモノトス

各郵政廳ノ他ノ郵政廳ニ對スル借高ハ簡約計算表ニ之ヲ轉記ス各郵政廳ノ借越ト爲レル金額ノ合計ハ該簡約計算表ノ各欄ノ合計ニ依リ之ヲ算出ス

五總理局ハ計算表及簡約計算表ヲ總差引計算表ニ集記ス該表ニハ左ノ事項ヲ記載スルモノトス

甲 各郵政廳ノ總借高及總貸高

乙 各郵政廳ノ借越差額又ハ貸越差額即チ總借高ト總貸高トノ差額ヲ指示スルモノ

丙 聯合ノ諸員ノ一部ヨリ一郵政廳ニ支拂フヘキ金額又ハ後者ヨリ前者ニ支拂フヘキ金額

甲及乙ニ記載スル兩種ノ差額ノ合計ハ必ス等一ナルヲ要ス

成ルヘク各郵政廳ヲシテ債務履行ノ爲一口又ハ二口ノ別箇ノ支拂ヲ爲サシムルニ止マルコトヲ期スヘシ

然レトモ郵政廳カ他郵政廳ニ對シ常ニ五萬法ヲ超過スル貸高ヲ有スルトキハ其ノ内拂ヲ請求スルノ權利ヲ有ス

此ノ内拂額ハ總理局ニ送付スヘキ計算表(第三項參看)ノ下部ニ貸越應及借越應ニ於テ之ヲ記入スルモノトス

六計算表ト共ニ總理局ニ送付スル承認書(第三項參看)ハ郵政廳毎ニ之ヲ區分スルモノトス

承認書ハ關係各郵政廳ノ決算表作成ノ基礎ニ供ス此ノ決算表ニハ左ノ事項ヲ記載スルヲ要ス

甲 各種ノ交換ニ關スル特別計算書ノ金額

乙 關係各郵政廳ニ關スル各特別計算書ノ金額ノ合計

丙 各種ノ業務ニ對シ各貸越應ニ歸屬スル金額ノ合計及其ノ總計

此ノ合計ハ簡約計算表ニ記載スル借高ノ合計ト同額ナルヲ要ス

決算表ノ下部ニハ郵政廳ヨリ總理局ニ送付スル計算表(第三項參看)ノ總借高ト總貸高トノ間ニ於ケル差額ヲ記入スルモノトス純借高又ハ純貸高ハ總差引計算表ニ記載スル借越差額又ハ貸越差額ト同額ナルヲ要ス又決算表ハ決算ノ方法ヲ定ム即チ借越應ヨリ支拂ヲ爲スヘキ郵政廳ヲ指示スルモノトス

決算表ハ運クトモ毎月二十二日總理局ヨリ關係郵政廳ニ送付スルヲ要ス

七決算表ニ依リ一郵政廳ヨリ他ノ郵政廳ニ歸屬スヘキ金額ノ支拂ハ成ルヘク速ニ運クトモ借越應ニ於テ決算表ヲ受領シタル後十五日内ニ之ヲ爲スヲ要ス支拂ノ其ノ他ノ條件ニ付テハ第三十七條第一項ノ規定ニ依ル所定期間内ニ差額ノ支拂ヲ爲ササル場合ニ於テハ同條第二項ノ規定ヲ適用スルモノトス

五百法ヲ超過セサル借越差額又ハ貸越差額ハ關係郵政廳カ總理局ト毎月關係ヲ有スルトキニ限リ翌月ノ決算表ニ繰越スコトヲ得此ノ繰越高ハ貸越廳及借越廳ニ對スル簡約計算表及決算表ニ之ヲ記載ス借越廳ハ此ノ如キ場合ニ於テハ次回ノ計算表ニ記載セラルル爲借越差額書ヲ貸越廳ニ送付スルモノトス

第四十三條 國語

一聯合郵政廳カ共ノ相互ノ關係ニ於テ使用スル書狀目錄、諸表其ノ他ノ式紙類ハ關係郵政廳カ直接ノ協議ヲ以テ別段ノ取極ヲ爲スニ非サレハ佛蘭西語ニテ記載スルヲ要ス但シ他國語ニ於ケル對譯ヲ附スルモ妨ナシ

二業務上ノ通信ニ付テハ現狀ヲ維持ス但シ關係郵政廳ノ間ニ後日協議ヲ以テ別段ノ取極ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條 聯合ノ疆域

一左記ノモノハ萬國郵便聯合ニ屬スルモノト看做ス

- 第一 清國及「マロク」ニ設置セル獨逸郵便局ハ獨逸郵政廳ニ屬スルモノトス
- 第二 「リヒテンスタイン」公國ハ奧地利郵政廳ニ屬スルモノトス
- 第三 「イストラント」及「フニコ」諸島ハ「丁抹」一部トス
- 第四 亞弗利加北海岸ノ西班牙所領地ハ西班牙ノ一部ト看做ス「ヴァル、ダン、ドール」共和國及「マロク」ニ設置セル西班牙郵便局ハ西班牙郵政廳ニ屬スルモノトス
- 第五 「モナコ」公國及「マロク」及清國ニ設置セル佛蘭西郵便局ハ佛蘭西郵政廳ニ屬スルモノトス
- 第六 印度支那佛蘭西殖民地及保護國郵政廳カ清國ニ保持スル郵便局ハ同郵政廳ニ屬スルモノトス

第七 「シブラル」郵政廳カ「マロク」ニ保持スル郵便局所

第八 香港英國殖民地郵政廳カ清國ニ保持スル郵便局

第九 亞丁「マスカット」波斯灣及「グアジール」ノ印度郵便局所ハ英領印度郵政廳ニ屬スルモノトス

第十 「サン、マラン」共和國及「トリポリ」、ド、バルバリー」ノ伊太利郵便局ハ伊太利郵政廳ニ屬スルモノトス

第十一 日本郵政廳カ清國ニ設置セル郵便局

第十二 「フアンランド」大公國ハ露西亞帝國ノ完全ナル一部トス清國ニ設置セル露西亞郵便局ハ露西亞郵政廳ニ屬スルモノトス

第十三 「バストラント」ハ喜望峯殖民地郵政廳ニ屬スルモノトス

第十四 「ウオルフアイツシュ、ベイ」ハ喜望峯殖民地ノ一部トス

第十五 「スピッツベルグ」ノ西部ナル「アドヴァン、ベイ」ニ設置セル那威郵政局ハ那威郵政廳ニ屬スルモノトス

一會議ヨリ會議ニ至ル迄ノ間ニ於テ聯合國郵政廳ハ聯合ニ屬スルモノト看做サルヘキ郵便局ヲ聯合外ノ國ニ開設スルトキハ總理局ヲ經由シ聯合ノ他ノ各國郵政廳ニ之ヲ通報ス

第四十五條 會議ト會議トノ間ニ於テ爲ス發議

一聯合各國郵政廳ハ會議ヨリ會議ニ至ル迄ノ間ニ於テ總理局ヲ經由シ本規則ノ規定ニ關スル發議ヲ他ノ締約郵政廳ニ提出スルノ權利ヲ有ス

二各發議ハ左ノ手續ニ依リ取扱フモノトス

一發議ヲ審查シ且意見アルトキハ之ヲ總理局ニ送付スル爲六月ノ期間ヲ郵政廳ニ附與ス修正ハ之ヲ許サス總理局ハ回答ヲ取極メ可否ノ宣言ノ催告ト共ニ之ヲ郵政廳ニ通報スルモノトス總理局ハ其ノ受領シタル意見ヲ通知スル第二章ノ日附ヨリ六月ノ期間内ニ投票ヲ送付セサル郵政廳

ハ棄權シタルモノト看做ス

三 發議カ實施力ヲ有スルニハ左ノ同意ヲ得ルヲ要ス

第一 新規定ノ追加又ハ本條第三條第四條第八條第十三條第三十一條第三十二條第三十三條第三十七條及第四十六條ノ規定ノ修正ニ關スルモノナルトキハ投票ノ全體

第二 第一條 第二條 第五條 第六條 第十一條 第十二條 第十四條 第十五條 第十六條 第十七條 第十八條 第十九條 第二十條 第二十一條 第二十二條 第二十五條 第二十六條 第二十七條 第三十六條 第四十條 第四十二條 第四十三條 及 第四十四條ノ規定ノ修正ニ關スルモノナルトキハ投票ノ三分ノ二

第三 前記ノ規定ヲ除キ諸規定ノ修正又ハ規則ノ諸規定ノ解釋ニ關スルモノナルトキハ單ニ過半數但シ條約第二十三條ニ規定スル爭議ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

四 有效ノ決議ハ單ニ總理局ヨリ聯合各郵政廳ヘノ通知ニ依リ確定スルモノトス

五 總テ可決セシ修正又ハ決議ハ通知ヨリ少クトモ三月ノ後ニ非サレハ實施力ヲ有セサルモノトス

第四十六條 規則ノ有效期間
本規則ハ千九百零六年五月二十六日ノ條約實施ノ日ヨリ實施スヘシ本規則ハ關係郵政廳間ノ協議ヲ以テ之ヲ改正スルニ非サレハ該條約ノ有效期間ヲ同シウスヘシ
千九百零六年五月二十六日羅馬ニ於テ作成ス

獨逸及獨逸保護國

ギ ー ゼ ン
ク ノ フ ケ
エヌ、エム、ブルンクス
エドゥアード、ローズウオーター

亞米利加合衆國及亞米利加合衆國屬島

亞 然 的 音 共 和 國	ア ル ベ ル ト、ブ ラ ン カ ス
埃 地 利	ス チ ン、ブ ラ ン
白 耳 義	エ ベ ン、フ ラ ン
	ジ、ス テ ル、パ ン
	エ ル、ウ オ ド シ
	ア、フ ム、ビ ン
ホ リ ヴ ァ イ	ジ、ド、ル、モ、ア、ー、ヌ
ホ ス ニ ー、ヘ ル ゼ、ゴ ヴ ァ イ ス	シ、ユ、ラ、イ、エ、ル
伯 西 兒	コ、ウ、ア、ル、レ、ク
勃 爾 瓦 利	ヨ、ア、キ、ム、カ、ル、ネ、イ、ロ、デ、ミ、ラ、ン、ダ、エ、オ、ル、タ
	イ、ヴ、ス、ト、ヤ、ノ、ヴ、イ、ア、チ
	テ、ツ、オ、ン、チ、エ、フ、フ
智 利	カ、ル、ロ、ス、ラ、ル、レ、ン、ク、ラ、ー、ロ

清 帝 國	エム、ルイス、サントス、ロドリゲーズ
古 倫 比 亞 共 和 國	ゲ、ミ、ヘルゼン
公 果 獨 立 國	シ、ステルパン
	エル、ウオドン
韓 帝 國	ア、ラ、ム、ピン
古 西 多 利 加 共 和 國	松 木 幹 一 郎
	川 村 竹 治
	ラファエル、モンテアレীগレ
	アルフ、エスキヴェル
	エリオ、モルブルゴ
	カル、ロ、ガ、モン
	ピ、ロ、ネ
	シ、ゼン、ベ、グレ、ポリオ
	エ、テ、ル、マ、ー、チ
玖 瑪 共 和 國	

丁 抹 及 丁 抹 殖 民 地	ドクトル、カルロス、デ、ペドロオン
ド ミ ニ カ 共 和 國	キ、エ、ル、ボ、ー
埃 及	ワ、イ、サ、バ
エ ク ア ト ー ル	エクトル、エル、ゴメス
西 班 牙 及 西 班 牙 殖 民 地	カルロス、フロレス
ニ チ オ ビ ー 帝 國	シヤ、コ、テ、イ
佛 蘭 西 及 亞 爾 是 利	リ、ユ、シ、ア、ン、セ、イ、ン
	ヘ、ル、マ、ン
印 度 支 那 佛 蘭 西 殖 民 地 及 保 護 國	シ、エ、シ、ユ、ミ、ツ、ト
其ノ他ノ佛蘭西殖民地全體	モ、ル、ガ、ー
大 不 列 顛 及 大 不 列 顛 諸 殖 民 地	エイチ、バ、ピ、ン、グ、ト、ン、ス、ミ、ス

英領印度	エ、ビ、ウオークレイ エイチ、デヴィス エイチ、エム、キャンレ イ、エ、ドーラン
濠洲刺利聯邦	オースチン、チャップマン
加那太	アル、エム、クールター
新西蘭	ジエ、シ、ウオード代オースチン、チャップマン
南亞弗利加大不列顛殖民地	サマーセット、アル、フレンチ スベンサー、トッド ジエ、フランク、ブラウン エ、フアルルタ
希臘	クリスト、ミッソブロー セ、エヌ、マリノ
ガテマラ	トーマス、セガリーニ
ハイチ共和國	

ホンヂニラス共和國	ルッ、フイ
洪曷利	ジアン、シオルダーノ、デニックドラチーノ ピエール、ド、サライ ドクトル、ド、ヘンニエイ
伊太利及伊太利殖民地	エリオ、モルブルゴ カルロ、ガモン ピロ、ネ ジュゼッペ、グレボリオ エ、デルマリーチ
日本	松木 幹一郎 川村 竹治
リベリア共和國	エル、ド、リユシー
歴山堡	エム、モンゲナスト代ア、ウニ、キムメル
墨西哥	グ、ア、エステウア エヌ、ドミンゲーズ
滿得涅各羅	

A 號

國際返信切手券

(甲)..... (乙)

局出印

(圖)

局引換印

(丁) 此ノ切手券ハ價格二十五山又ハ本制度加入國ニ於ケル此ノ金額ノ相當額ノ郵便切手ト引換フルコトヲ得

(發行國名)

- (甲) 發行國ノ國語ニ於ケル數字ノ翻譯
- (乙) 發行國ニ於ケル貨幣
- (丙) 此ノ所ニハ發行國ノ國語ニ於ケル(丁)ノ文字ノ翻譯ヲ記入スルモノトス
- (丁) 此ノ說明ハ數國ノ國語ニ於テ裏面ニ反覆スルモノトス

B 號

R

ローザンヌ 第一四六〇號

C 號

郵政廳

到達證

局立印

寄留郵便物 () () 年 月 日

局ニ於テ第 號ニ登録(二)

兵送出

兵宛

地(完全ナル所)

下名ハ前記名宛ノ..... 發(價格表記書狀)カ

千九百...年...月...日正ニ到達セラレタルコトヲ宣言ス

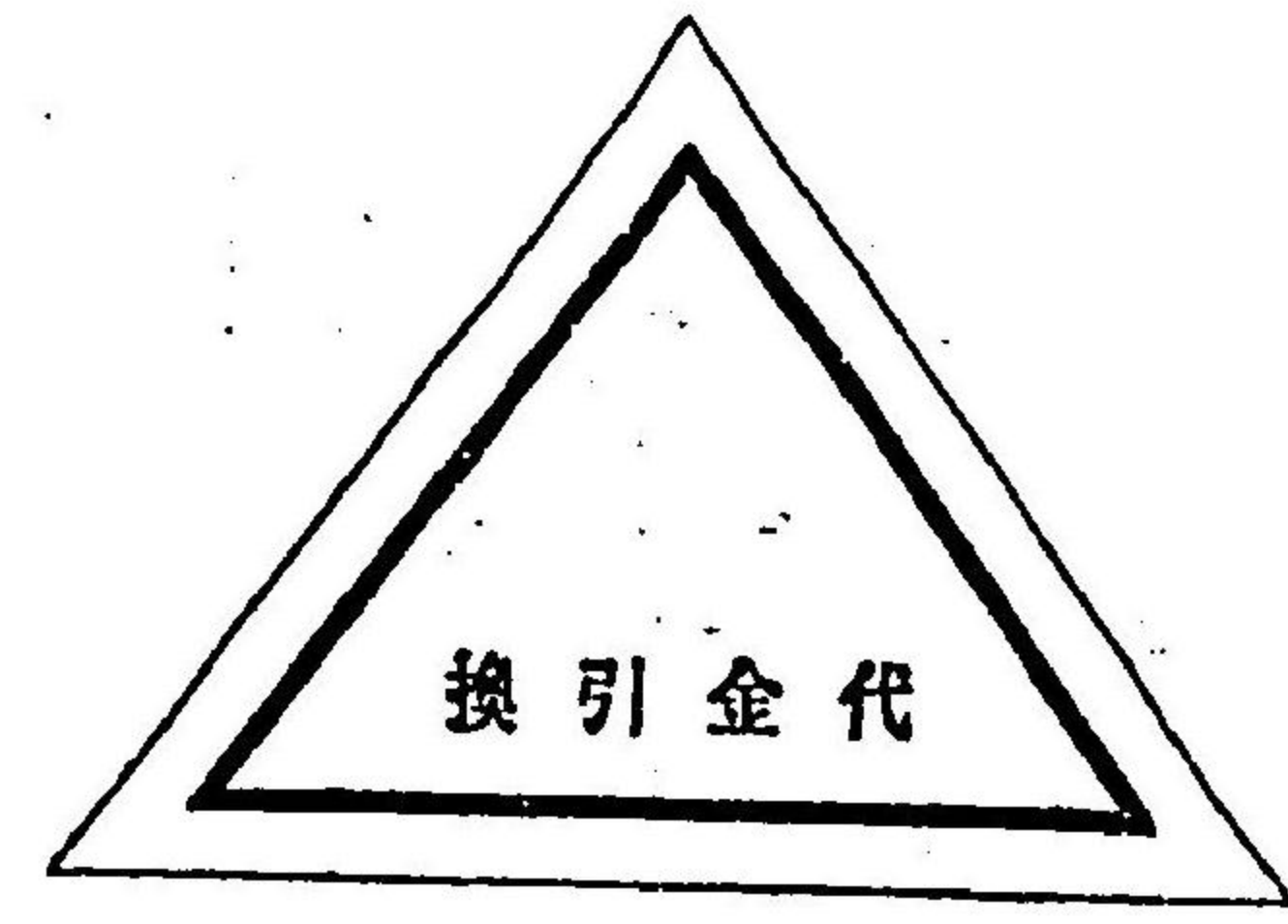
署名(三) 名宛人..... 配達員.....

郵便物ノ種類(書狀、見本、印刷物等)

差出局、同局ニ差出シタル日附、同局ニ於ケル登記番號

附註 此ノ到達證ハ名宛人ニ於テ又名宛國ノ規則カ必要トスルトキハ配達員ニ於テ署名シ封皮ニ納メ次便ニテ關係郵便物ノ差出局ニ送付スルヲ要ス

D 號



E 號(表面)

郵政廳

書狀目錄

郵便番號

送立番名

局印

送立

千九百

千九百

郵政廳ノ關係

郵便ヲ組成スル行書又ハ包束物ノ數

交換局宛郵便(第:次價)

年:月:日午前

年:月:日午後

時:分著

局名印

(左表ニ記入セルモノ)

別箇ノ目錄ニ記入セルモノ

書留郵便物ノ包束物又ハ行書

價格表記郵便物ノ包束物

場合ニ依リ「Explosives」印ヲ押捺ス(キ場所)

書留郵便物ノ包束物ニ添附セルモノ

書留郵便物ノ行書ニ納メタルモノ

一 書留郵便物目錄

運次番號	差出局	差出局登記番號	名宛地	備考
二十				
十九				
十八				
十七				
十六				
十五				
十四				
十三				
十二				
十一				
十				
九				
八				
七				
六				
五				
四				
三				
二				
一				

E 號(裏面)

二 本便差立閉塞目錄

差 出 局 名 宛 局 閉 塞 箇 數 備 考

返送空行送	事務用記事	内	郵便用及	書留郵便物用
差立交換局員	名宛交換局員			

F 號

差立局印

郵便局發
 交換局宛郵便ニ付認メタル各種ノ誤謬及違
 例ヲ訂正證明スル爲ノ

郵政廳トノ關係
名宛局印

點檢狀

千九百...年...月...日...時...分差立第...次便

諸般ノ誤謬又ハ違例

(行號ノ不著留郵便物又ハ封狀目錄ノ不著行號ノ差離誤損又ハ異狀等)

千九百...年...月...日...ニ於テ

名宛交換局員

千九百...年...月...日...ニ於テ

右點檢承認ス

差立交換局長

G 號(裏面)

郵政廳
郵便局

差立局印

不達普通郵便物取調請求ノ場合ニ於テ提供スヘキ通報

一 請求人ヨリ(差出人又ハ名宛人)